

本資料のうち、黒塗りの箇所は営業秘密及び
個人情報に該当するため公開できません。

調査データのトレーサビリティの確認結果

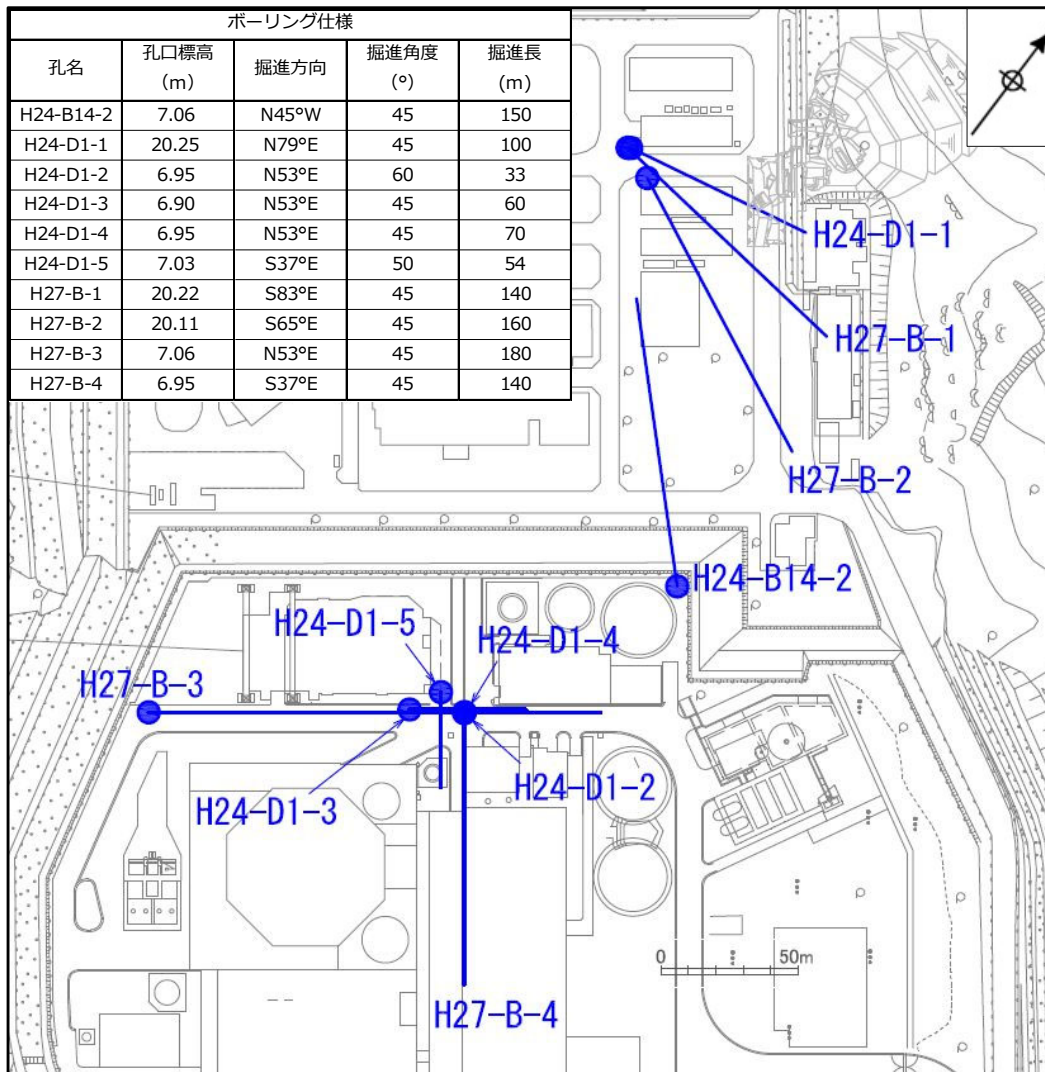
ボーリング柱状図 (技術設計資料柱状図)

令和4年12月9日
日本原子力発電株式会社

余白

目次

ボーリング孔名	頁
H24-D1-1	3-3-5
H27-B-1	3-3-27
H27-B-2	3-3-57
H24-B14-2	3-3-91
H24-D1-3	3-3-123
H24-D1-2	3-3-137
H24-D1-4	3-3-145
H27-B-3	3-3-161
H27-B-4	3-3-199
H24-D1-5	3-3-229



ボーリング調査位置図

余白

H24—D1—1

ボーリング柱状図

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	H24-D1-1	調査位置	X:338.353, Y:1103.283	北緯	35° 45' 19.30"
発注機関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2013 年 3 月 7 日 ~ 2013 年 4 月 22 日	東経	136° 1' 1.43"
調査業者名		主任技師		現代場人	コ定者
ボーリング責任者		コ定者		ハンマー	落下用具
孔口標高	20.25 m	角	100° 上 90° 下 45.0°	万	北 0° 270° 西 90° 東 90° 南 90°
総掘削長	100.00 m	度	0° 45.0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 0.0°
使用機種	試験機	エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L (V)	岩級区分	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験		原位置試験 (孔内本数)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (m/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
															(N 値)	(深度)													
											0.00~4.33m: 盛土 中粒砂~砂礫からなり、下部ほど礫を多く含む。礫は径2~30mmの花崗岩質や石英の硬質礫主体である。ルーズな部分が多い。	0 50 100			0 10 20 30 40 50														
1																													
2																													
3											2.66m: ビニール紐を含む。																		
4																													
	17.19	4.33									4.33~12.15m: 砂礫主体 4.33~4.97m: 砂礫 径2~5mmの石英粒、径5~80mmの花崗岩質の歪円~歪角礫を含み、硬質礫が多い。基質はややルーズな中~粗粒砂。礫率30~40%。 4.75m、4.89mに長さ10~20mm、幅5mmの炭化物片を含む。																		
	16.74	4.97																											

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平応力)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)				
														(N 値)	(N 値～深度)	図																	
	13.00	10.25		砂礫	にぶい 橙					10.25～11.00m：中砂 10.25～10.40mは若干の粘土分を含む。 10.30～10.38mは傾斜45°程度で炭化物片を含み有機質である。暗緑灰色を呈する。 10.38m以深は径2～3mmの石英粒。径15～20mm以下の花崗斑岩の半クサリ～クサリ礫を少量含み、よく締っている。10.53～10.55mに炭化物片を含む。																							
11	12.47	11.00		中砂	にぶい 黄橙					11.00～12.15m：砂礫 径2～5mmの石英粒。径10～160mmの花崗斑岩の垂円～亜角礫を多く含み、よく締った中～粗粒砂の基質からなる。礫率は40～50%。 11.00～11.05mと11.20～11.27mの基質の一部はマンガン鉱染により黒褐色化する。																							
12	11.66	12.15		砂礫	にぶい 黄褐					11.90～12.15mでは径10～20mmの半クサリ礫が主体となる。																							
13				花崗斑岩	にぶい 黄橙	Eg	Vg	cg	δ	3		D'																					
14						Bg	IVg			14.78～15.10m：珪質のため硬質部として残留する。																							

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載重)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コ ア チ ュー ／ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)		
													(N 値)	(N 値～深度)	図															
16						Bg	IVg		15.54m：傾斜85° で幅0.5mmの軟質な白色粘土を挟む。 15.60～15.74m：傾斜60～90° で湾曲して連続する割れ目に幅0.5mmの軟質な白色粘土を挟む。 15.82m：径8mmの大型な長石斑晶が1つ分布する。	0 50 100	D'			0 10 20 30 40 50																
						Eg																								
						Dg																								
						Eg																								
17						Dg	Vg	cg	16.07m：傾斜50° の割れ目は石英斑晶を横断する。割れ目には細粒部が認められず。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 16.71m：傾斜24° で幅0.5～1mmの石英脈を挟む。	0 50 100	CL'			0 10 20 30 40 50																
						Eg																								
						Dg																								
						Eg																								
18						Dg		δ 3	17.69～17.80m：強く風化・変質し軟質で、やや黄色味を帯びる。傾斜40° 程度の割れ目沿いにマンガン汚染が見られる。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																
						Eg																								
						Dg																								
						Eg																								
19						VIg	dg		18.10～19.00m：風化により、大半の割れ目が消滅しかかっている。 18.16m：傾斜40° の消滅しかかっている割れ目沿いの一部で幅5～10mmが淡緑色化するが、粘土化は伴わない。 18.37m：傾斜20° で幅2～15mmがマンガン鉱染を受け黒褐色化する。	0 50 100	D'			0 10 20 30 40 50																
						Eg																								
						Vg	cg																							
						Dg																								
						Eg	VIg	dg	19.00～19.88m：傾斜10～25° の割れ目が残留するが、風化により、一部で消えかかっている。 19.60～19.83m：傾斜10～20° の割れ目が残留する。 19.88～20.25m：割れ目や原岩組織は大半が消滅する。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コ ア長 → R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平 載重)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保 護	コ ア チ ュー ブ ／ピ ット	給 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)		
													(N 値)	(N 値～深度) 図													
26					明褐色	Dg			25.05m：傾斜35° の割れ目沿いに幅10～20mmが砂状化で一部粘土も含む。 25.12m：傾斜40° の割れ目で交差する微細な割れ目は止まっている。周囲幅10mmに径0.5mm以下の微細な黄鉄鉱が晶出する。また、割れ目に幅0.5mmの軟質な褐色粘土を挟む。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 25.33m：傾斜36° で幅5～15mmが砂状化する。白色粘土が混じり、一部マンガン鉱染を受け黒色化する。	4 (0)																	
																											CL'
27					Eg				26.50m・22° と27.04m・35° の割れ目で囲まれた部分は、全体に軟質化が著しい。一部で幅0.5mmの軟質な白色粘土脈を伴う。原岩組織は残留する。	7 (0)																	
																											D'
28				花崗斑岩	にんげい褐色	Vg cg δ 3			27.21m：傾斜34° の割れ目で交差する割れ目は止まっている場合と横断する場合がある。割れ目沿いに幅1～3mmが砂状化する。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 27.43m：傾斜20° 程度で幅2～5mmの石英脈を挟む。 27.54～27.64m：傾斜40° 前後の割れ目沿いに風化が進み、著しく軟質化し、一部砂状を呈する。 27.81m：傾斜32° の割れ目と交差する高角度割れ目が横断する。割れ目は幅1～2mmで砂状化する。割れ目に挟在物は伴わず、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。 27.81～27.98m：幅0.5～2mmの軟質な白色粘土が長さ5～10cmで分布する。 28.14m・34° と28.23m・20° の割れ目で囲まれた部分は風化で著しく軟質化し砂状化～細片化する。一部でマンガン鉱染を伴う。28.14mに幅1～3mmの赤褐色粘土を挟む。	2 (0)																	
29				明褐色					28.68m：傾斜43° の割れ目で交差する割れ目は止まっている場合と横断する場合がある。下端側に幅1～2mmの石英脈を伴う。割れ目には細粒部が認められず、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。 28.76m：傾斜44° の割れ目で交差する石英脈や割れ目が止まっている場合がある。割れ目には挟在物が認められず、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。	16 (16)																	
																											CL'
				にんげい褐色	Eg				29.38～29.93m：傾斜10～30° の割れ目沿いに風化で軟質化が著しくなり、割れ目周辺では砂状化する。	4 (0)																	
																											D'
					明褐色	Dg																					

標尺	標高	深度	柱状	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)
														(N) 値															
					明黄褐	Dg				35, 26~35, 96m : 割れ目沿いに薄く砂状化する。	</																		

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチップ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																								
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																						
41				花崗斑岩	明褐灰	V _E	CG	IV _E	cg	40.08m・40°・40.14m・35°の各割れ目沿いに著しく軟質化する。 40.17～40.69m：上下に比べ、割れ目は少なくなる。	CL'		0	10	20	30	40	50																																		
42				花崗斑岩	明褐灰	D _E	V _E	cg	41.19～41.45m：ごく一部で割れ目は残留するが、大半は風化で消滅する。原岩組織は明確に残留するが、コア全体が著しく軟化する。 41.45～42.23m：傾斜30～40°の割れ目が主体で、割れ目沿いに砂状化し、一部では砂状部の幅が広がる。	CL'			0	10	20	30	40	50																																		
43				花崗斑岩	明褐灰	E _E	VI _E	dg	41.86m：傾斜42°の割れ目沿いに幅3cm程度で褐色化が顕著である。幅2mm程度の砂状部を挟む。 42.23～42.50m：幅1～3mmの軟質な白色粘土脈が網状に分布し、全体に軟質化が著しい。 42.27m：傾斜42°で幅5～8mmの軟質な褐色粘土脈を挟む。粘土の境界は不明瞭で、下端側に注入する。粘土中の粒子の定向配列は認められない。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	CL'			0	10	20	30	40	50																																		
44				花崗斑岩	明褐灰	D _E	V _E	cg	42.23～42.50m：幅1～3mmの軟質な白色粘土脈が網状に分布し、全体に軟質化が著しい。 42.27m：傾斜42°で幅5～8mmの軟質な褐色粘土脈を挟む。粘土の境界は不明瞭で、下端側に注入する。粘土中の粒子の定向配列は認められない。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 42.49m：傾斜37°で幅1～2mmの軟質な白～赤褐色の粘土脈を不連続に挟む。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 42.50～44.56m：傾斜10～40°の割れ目や低密着割れ目が主体で、割れ目沿いに弱く風化し、一部に幅1～2mmの白～褐色の軟質な粘土を挟む。 43.15m：傾斜15°の割れ目で高角度割れ目が止まっている。幅2mmの風化砂状部を挟む。 43.20m：傾斜36°の割れ目は他の割れ目を止めている。幅3mmの軟質な白～褐色粘土を挟むが、高角度割れ目にも流入する。いずれの割れ目周辺の岩壁に原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 43.74～44.56m：傾斜10～40°の割れ目と、これに斜交～直交する60～90°の割れ目が分布し、径10～20mmに岩片化する。割れ目沿いに砂状化することが多い。 44.05m・10°と44.08m・10°ないし75°の割れ目で囲まれた部分は、砂状～径5～10mmの細岩片状を呈する。粘土化はない。 44.41～44.43m：珪質部で、硬質岩片として残留する。	CL'			0	10	20	30	40	50																																		
45				花崗斑岩	明褐灰	E _E	VI _E	dg	44.56～45.91m：傾斜20～40°と60～80°の割れ目が交差し、径5～10mmの岩片状と岩片間の砂状部の基質からなる。基質はやや粘土化が進み、全体は著しく軟質化する。	D'			0	10	20	30	40	50																																		

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風割れ目の状態	変質化	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m) 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN ・ MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)						
				花崗斑岩	にぶい 黄緑				3																							
56					灰褐						55, 52～55, 80m: 傾斜60° と40° の割れ目が交差し、交差部周辺は径3～5mmに細片化する。岩片自身は硬く、粘土化などの劣化はない。	4 (0)																				
										2	56, 11～56, 48m: 上下に比べ軟質となり、割れ目は消滅しかかっている。一部幅1mmの軟質な白色粘土脈が分布する。		CL'																			
											56, 48～56, 90m: 全体に珪質のため硬質で、傾斜50～60° の割れ目や低密着割れ目が10～30mm間隔で平行に分布する。粘土脈などは分布しない。	4 (0)																				
57										56, 90～57, 13m: 割れ目の一部に幅0.5mmの軟質な白色粘土が付着する。割れ目沿いに砂状～細片化する。																						
				明褐灰					δ	57, 13～58, 96m: 著しく軟質化し、原岩組織は残留するが、割れ目はほぼ消滅している。幅1～2mmの軟質な白色粘土脈が網状に分布することが多い。	2 (0)																					
58											58, 00m: 傾斜70° で幅2～3mmの軟質な淡緑色を帯びる灰白色粘土脈を挟む。 58, 62m: 傾斜75° で幅2～10mmの軟質な白色粘土脈が径5mm前後の粘土化岩片を含み、やや波打って連続する。 ●58, 96～59, 30m: 破砕部 58, 96～59, 05m: 粘土混じり岩片状部 (H) 上端50° で不明瞭。下端45° で直線的にシャープに連続。幅1mmの軟質白色粘土脈を伴う全体が粘土化して軟質化している。明褐色色を呈する。幅63mm (45°)。 59, 05～59, 16m: 粘土質礫状部 (Hb) 上端45° で直線的にシャープに、下端40° でやや波打って連続。径1～2mmの石英粒と径5mm前後の粘土化した岩片を多く含む。やや硬質。石英粒と岩片の一部はマンガン鉱染により斑点状に暗褐色化する。淡黄色を呈する。幅80mm。 59, 16～59, 18m: 粘土状部 (Hc-1) 上端40° でやや波打ち、下端35° で一部凸部があるが、直線的にシャープに連続。径1mm程度の石英粒、長石粒を含み、岩片は殆んど含まない。軟質。灰赤～灰白色を呈する。幅5～14mmで下端が凸部をなすため膨縮する。 59, 18～59, 30m: 粘土質礫状部 (Hb) 上端35° で一部凸部があり、下端50° でやや波打ちながら連続。下端には幅5～10mmの軟質な灰白～灰赤色粘土を伴う。全体的には径1～5mmの石英粒、径5～10mmの粘土化した花崗斑岩の岩片を多量に含む。やや軟質。灰黄～橙色を呈する。幅90～170mm。 59, 30～59, 62m: 傾斜70～80° とこれに斜交～直交する20～30° の割れ目が主体で、大半が消滅しかかっている。一部の割れ目に幅1mmの軟質な白色粘土脈が分布する。 59, 33m: 幅0～3mmの黒褐色のマンガン汚染を挟む割れ目で、割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 59, 62～59, 98m: 割れ目沿いに風化が進み、砂状～細片化する。59, 95mに傾斜80° で幅0.5mmの軟質な白色粘土脈がほぼ直線でシャープに分布する。 59, 98～60, 11m: 全体が著しく軟質化する。60, 09mに傾斜70° で幅0.5～1mmの軟質な白色粘土脈がほぼ直線でシャープに分布する。	1 (0)																				
59																																
					明褐色																											

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 質 化	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																													
														(N 値)	(N 値～深度) 図																																								
66				花崗斑岩	灰褐	Vg	cg	δ	2	65.69～67.43m: 上位に比べ割れ目は少ない。風化は66.49m以浅では割れ目の面がごく薄く風化褐色化する程度で、66.49m以深では割れ目周辺まで風化が進み淡褐色化する。粘土化部や粘土脈がわずかに分布する。傾斜20～40°とこれに斜交～直交する50～70°の割れ目が主体で、割れ目の一部はマンガン鉱染を受け、面は黒褐色化するが、軟質化は伴わない。 66.10～66.65m: 傾斜2～5mmの白濁した長石斑晶が多く分布する。	19 (10)	CL'																																											
67				花崗斑岩	に濃い黄橙	Vg	bg	γ	2	67.08～67.22m: 径5～10mmの大型な石英斑晶が多く分布する。	1 (21)	CM'																																											
68				花崗斑岩	花崗斑岩	Dg	Vg	cg	2	67.43～67.70m: 上位よりも割れ目や低密着割れ目が多くなる。 67.55m: 傾斜65°で幅0.5mmの軟質な白色粘土脈を挟む。 67.70～68.32m: 傾斜40～50°の互いに交差する割れ目が主体で、一部に幅0.5～1mmの浅黄色粘土脈を挟む。 67.78～67.85m: 上下端60°の割れ目に挟まれて、やや軟質化するが、粘土化は伴わない。	9 (0)	CL'																																											
69				花崗斑岩	灰褐	Eg	Vg	dg	3	68.32～68.52m: 軟質化が著しく、幅1～3mmの軟質な灰白～灰赤色粘土脈が網状に分布する。 68.52m: 傾斜70°で幅2～5mmの軟質な白～明黄褐色粘土を挟む割れ目でやや波打って連続性・直線性に乏しい。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。 68.52～68.84m: 全体に粘土化が進み軟質化が著しい。白色粘土が網目状に分布する。 ●68.84～69.00m: 破砕部 68.84～68.93m: 粘土混じり岩片状部(Hj) 上端50°で不明瞭。下端55°でやや波打って連続。径5～10mmの粘土化した岩片主体。明灰褐～灰白色を呈する。幅32mm。 68.93～68.95m: 粘土質線状部(Hb) 上端55°、下端50°でともにやや波打って連続。径5～18mmの粘土化した岩片を多く含む。やや硬質。石英は殆んど含まない。上下端は幅1～4mmでマンガン鉱染を受け灰黄褐色化。これ以外は灰白色を呈する。幅20～30mm。 68.95～69.00m: 粘土混じり岩片状部(Hj)	4 (0)	D'																																											
				花崗斑岩	花崗斑岩	Dg	Vg	cg	2	上端50°、下端45°でともにやや波打って連続。径5～10mmの粘土化した岩片主体。下端は幅2mmの硬質な淡褐色粘土脈を伴う。灰褐色を呈する。幅32～35mm。 69.00～69.73m: 大半の割れ目は消滅するが、69.42mに傾斜68°、69.67mに傾斜70°で直線的でシャープな割れ目が残留する。 69.06～69.18m: 傾斜60～80°で幅2～8mmの灰赤色粘土脈が湾曲しながら連続する。 69.73～71.21m: 大半の割れ目が残留し、傾斜10～30°と、これに斜交～直交する50～80°の割れ目が主体で、割れ目沿いに薄く砂状化することが多い。 69.89m・50°の割れ目は面の凹凸が著しいが、そのかみ合わせは良い。69.97m・65°の割れ目は交差する割れ目を止めている。両者とも挟在物はなく、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	3 (0)	CL'																																											

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)					
						Dg	Vg	cg	2	70.10～70.40m：割れ目はほぼ消滅する。粘土脈の分布は少ない。																					
71						Eg	Vlg	dg	3	71.21～71.35m：著しく軟質化し、割れ目はほぼ消滅するが、原岩組織は大半が残留する。幅1～2mmの軟質な白色粘土脈が傾斜40～60°で平行に分布する。上端側はマンガン鉱染で黒褐色化する。 71.35～74.28m：傾斜20～40°と、これに斜交～直交する傾斜40～70°の割れ目が主体で、一部は、割れ目沿いに薄く砂状化～径5mmに細片化する。粘土脈の分布は少ないが、73.40m以深では、割れ目の一部に幅1～8mmで軟質な灰白～白色粘土脈を挟む。																					
72				花崗斑岩	灰褐	Dg	Vg	cg	2		CL'																				
73						Dg	Vg	cg																							
74					にぶい黄橙	Eg	Vlg	dg	3	74.04m以深では傾斜40°の割れ目沿いに幅10～40mmで径5mm前後の細片状を呈する。岩片間の一部に径10mm前後の斑点状に白色粘土化部を伴う。 74.28～75.50m：著しく軟質化し、幅1～5mmの軟質な白～灰赤色粘土脈が傾斜50～80°で多数分布する。大半の粘土脈は湾曲したり波打ったりしてシャープな直線性は示さない。74.48mの傾斜55°の割れ目には幅0～4mmの軟質な灰赤色粘土を不連続に挟む。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。 74.70～75.50m：傾斜80°以上の高角度割れ目が多く、灰白色粘土を伴う。	D'																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)																						
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																	
76				花崗斑岩	に強い黄橙	Eg	VIg	dg		75.10～75.50m：幅1～5mmの軟質な白色粘土脈が網状に分布する。	0 50 100	D'																																				
			Dg			VIg	cg	2 (0)		75.50～77.75m：やや硬質な岩片も多く含む。傾斜10～30°が主体で、これらと斜交～直交する傾斜50～70°の割れ目と低密度割れ目が分布する。割れ目の一部は砂状化し、一部には幅1mm前後の軟質な白色粘土脈を挟む。粘土化で白濁した径2～5mmの長石斑晶が多い。	4 (0)																400	QL'																				
77			Cg			δ	4 (0)	77.10～77.25m：全体に軟質化し、一部で軟質な白色粘土が径2～3mmの斑点状～幅1mmの脈状で分布する。77.25～77.75m：割れ目に幅1mmの軟質な白色粘土脈を挟むことが多い。		4 (0)	400																QL'																					
			Eg			VIg	dg	1 (0)		77.75～78.77m：径10mm前後の硬さ「D」のない「C」の岩片を含むが、全体には著しく軟質化する。原岩組織は一部で残留するが、割れ目はほぼ消滅する。78.20～78.40m、78.70～78.77mに径5～10mmの硬さ「C」のない「D」の岩片が残留し、傾斜10～30°と60～70°の消滅しかかった割れ目がわずかに残留する。残留する岩片間には幅1～2mmの軟質な白色粘土が脈状に分布するが、直線的でシャープなものは、78.48mの傾斜63°で幅1mmの粘土脈のみである。	1 (0)																400	D'																				
79				明青灰	灰褐	Cg	VIg	cg		●78.77～79.19m：破碎部粘土質凝状部 (Hj) 上端32°でやや湾曲して、下端63°で直線的にシャープに連続。岩組織は明瞭であるが、割れ目は78.97mの54°以外は消滅する。全体に変質しており、著しく軟質化する。79.15m以深に幅1～3mmの約60°で軟質な灰赤色粘土脈を3箇所伴う。灰褐～明青灰色を呈する。79.25～79.85m：傾斜10～30°と60～70°の割れ目が約10mm間隔で細かく分布し、径10mm程度の岩片に分離し易い。一部で幅0.5mmの白色粘土が付着する。	3 (0)	QL'																																				
			Eg	VIg						dg	3																		79.85m：傾斜50°で幅2mmの軟質な白色粘土脈を挟む。79.85～80.08m：全体に著しく軟質化し、幅1～3mmの軟質な白色粘土が網状に分布する。																			

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入 (N 値～深度) 試験	原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コア チ ュー プ ／ピ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																										
86				花崗斑岩	灰褐	Ⅴ _g	Ⅳ _g	γ	2	85.46m・75° と 85.49m・55° の割れ目に幅0.5～1mmの軟質な白～橙色粘土脈を挟む。 85.53m 傾斜65° で幅3～5mmの石英脈が母岩に密着して連続する。 85.65～85.68m 傾斜20° と 50° の割れ目が交差し、径5～15mmの岩片状を呈する。粘土は伴わない。	8 [9]	OL'																																																																																								
	86.04m・40° , 86.30m・60° , 86.43m・55° の各割れ目沿いに幅2～5mm程度砂状化する。	9 [4]								D'																																																																																										
87	87.14～88.28m：径5～40mmの硬さ「C」の岩片と砂状に軟質化した基質からなる角礫状を呈し、基質中には岩片間を縫うように幅1～2mmの軟質な白色粘土脈が分布するが、長さ50mm未満で連続性は悪い。岩片密集部には傾斜10～30° と60～80° の2系統の割れ目が残留する。																																																		11 [11]																																																	
	87.69～87.84m：硬質部が中石状に残留する。																																																																										9 [4]																									
88	88.00～88.35m：基質部は殆んど分布しないが、径5mm前後の岩片状を呈する。																																																																																																		9 [4]	
	88.28～89.91m：傾斜30～40° とこれに斜交～直交する傾斜60° の割れ目が主体で、割れ目の一部に幅1～2mmの軟質な白色粘土脈を挟む。特に、89.68m以深で粘土脈を多く含む。	4 [0]		OL'																																																																																																
89	89.31m：傾斜40° の割れ目で、直線的にシャープに連続し、交差する割れ目を止めている。割れ目に細粒部の挟在は認められず、割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。																											4 [0]																																																																								
	89.38m：傾斜55° で幅0.5～2mmの軟質な明赤灰色粘土を挟み、下端側は89.44mまで実幅40mm程度で粘土化が進み軟質化する。																																																				4 [0]																																															
	●89.91～89.95m：破砕部 89.91～89.93m：硬質粘土状部 (Hb) 上端50° で直線的に、下端45° で波打って連続。径5～10mmの岩片を30%程度含む。やや軟質。明赤灰色を呈する。幅12～15mm。 89.93～89.95m：粘土状部 (Hc-1) 上端45° で波打って、下端45° で直線的でシャープに連続。径1～2mmの石英粒をわずかに含む。軟質。明赤灰色を呈する。幅2～5mm。 89.95～89.98m：硬さ「C」の中石である。 89.98～90.00m：上端23° , 下端25° とともに直線的でシャープに連続。径1～2mmの石英粒と径5mmの大半が粘土化した花崗斑岩の岩片を含む隙混じり粘土状を呈する。粘土は軟質～やや硬質である。灰白色を呈し、幅15～18mmである。																																																																													4 [0]																						

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアの形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)					
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																
91				灰褐	Dg	Vg	cg	2		90.00~90.26m: 傾斜30~50°とこれに斜交~直交する50~60°の割れ目が分布し、径5~50mmの硬さ「C」の岩片状を呈することが多い。 ●90.26~90.84m: 破砕部 90.26~90.31m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端50°で波打ち、下端70°で直線的にシャープに連続。径5~10mmの大半が粘土化した花崗斑岩の岩片と岩片間の一部に幅0.5~1mmの軟質な白色粘土脈が分布する。にぶい黄橙色を呈する。幅15~20mm。 90.31~90.37m: 粘土質礫状部 (Hb) 上端70°, 下端70°とともにほぼ直線的でシャープに連続。径1~2mmの石英粒とほぼ粘土化した径5~10mmの花崗斑岩の岩片を多く含む。やや軟質。上端には幅1~2mmの灰赤色軟質粘土脈を伴う。灰白色主体で縞状に灰赤色呈する。幅20~35mm。 90.37~90.66m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端70°, 下端75°とともにほぼ直線的でシャープに連続。ほぼ粘土化した岩組織も消滅した径5~30mmの花崗斑岩の岩片からなり、岩片間を幅0.5~1mmの軟質な白~灰赤色粘土脈が分布する。にぶい黄橙~灰白色を呈する。	OL'																				
	灰白	Eg			Vfg	dg	3																								
	灰褐	Cg		Vg	2																										
		Eg		Vfg			cg																							3	3 (0)
		Cg		Vg	2																										
		褐灰		Eg																										Vfg	dg
	Cg			Vg	3																										
	灰褐			Eg																									Vfg	3	
				Cg	Vg	3																									
		灰褐		Eg	Vfg																									3	
				Cg	Vg	3																									
	灰褐			Eg	Vfg																									3	
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
	灰褐		Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																										
		灰褐	Eg	Vfg																									3		
			Cg	Vg	3																	</									

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	変 質 化	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平 載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ rpm MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)										
														(N 値)	(N値～深度) 図																					
91				花崗斑岩	灰褐	Dg	Vg	cg	2	92.00～92.15m: 上位より岩片は細片化し、径5～10mmの岩片が主体で粘土化することが多い。岩片間を幅1～3mmの軟質な白色粘土脈が網状に分布し、粘土混じり岩片状を呈する。 92.15m以深では更に粘土化が進み、傾斜5°で幅40mmで軟質な礫質粘土状を呈する。全体ににぶい黄褐色を呈する。 92.19～92.94m: 92.48～92.66mを除き、原岩組織と割れ目はほぼ消滅し、著しく軟質化する。幅1～2mmの軟質な白色粘土脈を伴う。 92.31～92.41m: コア掘削時の供回りによる攪乱で粘土化する。 92.43～92.66m: 傾斜30～40°とこれに斜交する60～70°の割れ目の一部が残留し、その一部に軟質な白色粘土を挟む。 92.94～93.12m: 傾斜10～20°とこれに斜交する40～60°の割れ目が分布する。割れ目の一部に幅0.5mmの軟質な白色粘土を挟む。また、一部の割れ目は薄く砂状化する。 ●93.12～93.24m: 破砕部 93.12～93.20m: 粘土質礫状～粘土混じり礫状部 (Hb) 上端65°、下端30°とともに直線的でシャープに連続。径1～3mmの石英粒、粘土化した径5～10mmの花崗斑岩の岩片主体で岩片間に幅1mmの白色粘土を挟む。やや軟質～やや硬質。にぶい黄褐色を呈する。幅50～100mmと膨縮する。 93.20m: 粘土状部 (Hc-1) 傾斜30°で幅2mmのやや軟質な灰赤色粘土からなる。ほぼ直線的に連続する。 93.20～93.24m: 粘土混じり礫状部 (Hj) 上端30°、下端55°とともに直線的に連続する。径1～2mmの石英粒、粘土化した径5～10mmの花崗斑岩の岩片からなり、岩片間に幅1mmの白色粘土を挟む。やや軟質～やや硬質。にぶい黄褐色を呈する。幅30mm。 93.24～93.43m: 硬さ「C」ないし「D」の岩片が残留するが、岩片間の基質は著しく軟質化する。基質中には幅1～2mmの軟質な白色粘土脈が多く分布する。 93.41～93.43m: 一部は軟質な白色粘土化部となる。 93.43～94.40m: 94.00～94.14mは風化により不規則な形状で著しく軟質化するが、これ以外はやや硬質である。割れ目沿いに幅0.5～5mmの軟質な白色粘土脈を挟む。特に、94.14m以深では、傾斜70～80°の粘土脈が多数分布する。傾斜10～30°と70～80°の割れ目が主体で、上記の粘土脈のほか、割れ目の一部は風化で薄く砂状化する。 94.40～95.23m: 著しく軟質化し、一部で硬さ「C」、「D」の径10～30mmの岩片を含む。94.76m・55°と95.07m・65°の割れ目は直線的でシャープに連続する。前者は幅0～2mmの軟質な白色粘土を不連続に伴い、後者は幅1～2mmの軟質な灰赤色粘土を連続的に伴う。両者とも面を境として変質の程度が異なる。いずれの割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められる。	OL'																									
					灰白	Eg	Vfg	dg	3					D'																						
							Cg	Vg			2				OL'																					
							Eg	Vfg	cg																											
							Cg	Vg			3																									
							褐灰	Eg	Vfg		dg	2			D'																					
								Cg	Vg																											
								Eg	Vfg																											
							灰褐	Cg	Vg						OL'																					
								Eg	Vfg		dg	3																								
								Cg	Vg																											
								Eg	Vfg		cg				D'																					

[illegible]

H27-B-1

ボーリング柱状図

ボーリングNo.						
----------	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	H27-B-1		調査位置		X:338.353 , Y:1103.283				北 緯		35° 45' 10.30"		
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社					調査期間	2015 年 5 月 23 日 ~ 2015 年 8 月 11 日			東 経		136° 1' 1.43"	
調 査 業 者 名						主任技師			現 場 代 理 人	コ 鑑 定 者		ボーリ ン グ 責任者	
孔 口 標 高	20.22 冊	角 上	180° 90°	方	北 0° 270° 西 90° 南 180° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試 錐 機	ハンマー 落下用具			
総 掘 削 長	140.00 冊	度 下	90° 0° 90°	向	西			エンジン	ポン プ				

[illegible]

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m)／ 測定月 日	(標準貫入) 試験 (N値～深度) 図					原 位 置 試 験 (孔内水平 載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm)／ 孔壁保護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)			
													(N) 値																	
6		15.55	6.60	砂礫	灰褐				5.40～5.60m付近には一部明赤灰色、 明褐灰色、極暗赤褐色の礫が認めら れる。 5.72～5.74m：暗褐色シルト（スライ ム） 6.15～6.30m付近は礫が著しく減少す る。 6.30～6.60m付近は径1cm以上の半ク サリ礫の礫が多く含まれる。 礫種は花崗斑岩。礫径は2～50mmの垂 角礫～亜円礫主体、一部最大径200mm の礫あり。 6.60～6.80m：スライム シルト混じり細～中粒砂からなる。																					
		15.41	6.80	コ ア 欠 如	明 褐 灰	礫 混 じ り 砂			6.80～7.15m：礫混じり砂 礫率5～10％で半クサリ礫を多く含む。 砂は径0.5～2.0mmの極粗粒～粗粒 砂。礫種は花崗斑岩。礫径は2～30mm の垂角礫主体。 7.15～7.30m：有機質土 有機物を多く含む。 7.30～7.55m：礫混じり砂 礫率5～10％で半クサリ礫を多く含む。 砂は径0.5～2.0mmの極粗粒～粗粒 砂。礫種は花崗斑岩。礫径は2～30mm の垂角礫主体。 7.55～8.60m：スライム シルト混じり細粒砂からなる。																					
7		15.16	7.15	有機質 土	黒 褐	に ぶ い 黄 礫																								
		15.06	7.30	礫 混 じ り 砂																										
8		14.88	7.55	コ ア 欠 如	灰 黄 褐																									
		14.14	8.60	礫 混 じ り 砂					8.60～9.50m：礫混じり砂 礫率10～15％でクサリ礫や半クサリ 礫を多く含む。砂は径0.5～1.0mmの 粗粒砂。礫種は花崗斑岩。礫径2～30 mmの垂角礫～亜円礫。 8.75～8.85m付近はスライムを挟む。																					
9		14.03	8.75	コ ア 欠 如	明 黄 褐																									
		13.96	8.85	礫 混 じ り 砂	褐 灰				9.25～9.35m付近に黒色土（土壌）に挟 まれた砂層が認められる。黒色土層、 砂層共に55°傾斜し全体の幅は10cm（ 真幅は黒色土2cm、砂4cm、下2cm）。 黒色土層（上下）中に植物片が認めら れる。 9.50～10.00m：スライム シルト混じり細～中粒砂からなる。																					
		13.50	9.50	コ ア 欠 如	灰 黄 褐																									
		13.15	10.00																											

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
														(N) 値	(N 値 ~ 深度) 図											
11		12.69	10.65	砂礫	黄褐					10.00～10.65m：砂礫 礫率50%以上で半クサリ礫を一部含む。砂は径0.5～2.0mmの極粗粒～粗粒砂。径0.5～1cmの石英が多く含まれる。礫種は花崗斑岩で一部アブライト含む。礫径2～200mmの亜角礫～亜円礫。																
		12.41	11.05	コア欠如	灰黄褐					10.65～11.05m：スライム シルト混じり細粒砂からなる。																
		11.84	11.85	砂礫	にぶい褐					11.05～11.85m：砂礫 礫率50～60%でクサリ礫～半クサリ礫を含む。砂は0.5～2.0mmの極粗粒～粗粒砂。径0.5～1cmの石英が多く含まれる。礫種は花崗斑岩。礫径2～100mmの亜角礫～亜円礫。																
		11.66	12.10	コア欠如	にぶい黄褐					11.85～12.10m：スライム シルト混じり中粒砂からなる。																
12		11.39	12.49	粗砂	明褐					12.10～12.49m：粗粒砂 礫率5%未満でクサリ礫を含む。砂は0.5～1.0mmの粗粒砂。礫種は花崗斑岩。礫径2～30mmの亜円礫。																
	13									12.49～94.07m：花崗斑岩 12.49～14.84m：D 強く風化した土砂状を呈するが、原岩組織は残留する。割れ目は一部消滅しているが、多くは残留している。所々、幅1mm程度の灰白色の粘土が脈状に分布する。割れ目は10～30°の低角度系が主体。																
14																										
												</														

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定 月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原 位 置 置 試験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ラ ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)
						Dg	δ		15.22~15.44m : 硬さCの硬質岩片が 残留している。	0 50 100			0 10 20 30 40 50									
						Cg	γ			1 100												
16										(11)												
						Vg			16.00~17.62m : 割れ目周辺に硬さ「 E」が部分的に分布する。	2 100												
17									16.75~16.84m : 径30~40mmの硬さ「 C」の硬質岩片が礫状に分布。	(0)												
										8 100												
18						Dg	δ	3	17.44m : 傾斜15° の割れ目沿いに幅1 ~4mmが砂状化する。	(0)												
									18.10~22.19m : 上下に比べ割れ目少 なくなる(コアの形状IV)。	10 100												
									18.31m : 傾斜10° で幅10mmマンガ ン鉱染が脈状に分布、黒褐色化する。	(10)												
19								IVg	19.60m : 傾斜12° の割れ目沿いに幅1 0mm砂状化する。	4 100												
										(0)												

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	化	質	事	0 50 100				0 10 20 30 40 50												
— 21			花崗斑岩 にぶい橙			Dg	IVg			20.37～20.42m：傾斜10° の割れ目沿いに幅2～10mmで暗褐色の岩片混じり粘土を挟む。一部は不規則な割れ目に流入する。	14 (14)																
— 22					Cg		cg	δ	3	21.16～22.01m：割れ目沿いに幅10～30mmで砂状化する部分がある。	7 (7)																
— 23					Dg	Vg				22.01～22.19m：硬さ「C」の硬質部が残留。	14 (14)																
— 24							Eg	VIg	dg	ε	23.05～23.80m：20～30° と70～90° 割れ目が交差し一部で交差部周辺で径10mm程度に細片化。岩片も硬さ「E」まで軟化している。割れ目面にマンガン汚染がみられる。 23.16m：傾斜12° の割れ目沿いに幅15mmで緑色化する。	3 (3)															
										24.16m以深では硬さ「E」も含む。全体に脆い岩片多い。																	
						Eg	VIg	dg	ε	24.44～24.71m：D 風化で土砂状を呈する。岩組織や割れ目はほぼ消滅している。	5 (5)																
						Dg	IVg	cg	δ	24.71～26.62m：CL 10～30° 割れ目が主体で割れ目沿いの一部は砂状化する。																	

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)	
26				花崗斑岩	にぶい橙	Dg IVg	cg	δ	3	25.03m : 傾斜18° の割れ目沿いに幅7mmの石英脈。マンガン脈を伴う。周辺は黄褐色化する。														
27	1.13 1.06	27.00 27.10		コア欠如						26.00m以深では割れ目沿いの砂状化が更に進む。														
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Eg VIg	dg			26.62～27.60m : D 27.00m以浅では割れ目や原岩組織は残留するが、27.10m以深では両者ともほぼ消滅し砂礫状で採取されている。														
				花崗斑岩	にぶい橙	Dg IVg	cg	δ	3	27.00～27.10m : コア欠如。														
28	0.42 0.29	28.00 28.19		コア欠如						27.60～28.00m : CL 一部で密着度の低い割れ目やゆる割れ目を含み細片化し易いものも含んでいる。														
				花崗斑岩	明褐灰	Dg Vg	cg	δ	3	28.00～28.19m : コア欠如。														
	-0.01 -0.06	28.61 28.68		コア欠如						28.19～28.61m : CL 割れ目沿いの一部で砂状化する部分も含む。														
				花崗斑岩	明褐灰	Dg Vg	cg	δ	3	28.61～28.68m : コア欠如。 28.68～28.84m : CL 割れ目沿いで砂状化する。														
29	-0.29 -0.35	29.00 29.09		コア欠如						28.84～30.74m : D 締った砂状化を呈する。径10～30mm程度の硬さ「D」岩片が礫状に締った砂状部中に分布し砂礫状を呈する。														
				花崗斑岩	明褐灰	Eg Vg	cg	δ	3	29.00～29.09m : コア欠如。														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m)／測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 進 月 日 速 度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	給 水 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
— 31				花崗斑岩	明褐灰	Eg				30.17～30.50m：マンガン鉱染伴う。 30.30～30.53m：石英多く晶出(一部は変質による2次石英と推定される)。30.38m：傾斜5°で幅1～3mmの石英脈を不連続に挟む。 30.74～32.48m：CL 硬さ「D」主体だが部分的に硬さ「E」も含む。上端側の30.74～31.30m間は酸化汚染による黄褐色化が進むが軟化は伴わない。 31.05～31.23m：熱水変質による粘土化変質。連化変質が著しく、前者では白色系粘土、後者では石英が脈状～晶洞状に晶出している。また、マンガン鉱染と酸化汚染も伴い全体として黄褐色の濃い色調を呈する。 31.47m：傾斜35°で幅5～8mmの灰褐色の砂混じりシルトを挟む。 31.70～32.20m：割れ目沿いの砂状化が進み「砂混じり岩片状」を呈する。岩片は径10～30mm程度の硬さ「D」で残留するが全体にやや上下に比べ脆くなる。	0 50 100			0 10 20 30 40 50																
— 32						黄褐					3	32.48～32.70m：D 原岩組織と割れ目はほぼ残留している。 32.70～34.54m：CL 割れ目沿いに厚さ1～2mm程度で薄く砂状化部を挟む。一部で砂状化が進行する部分もある。白濁化した長石多い。割れ目は10～20°が主体、一部で70～80°割れ目と交差。																		
— 33						にぶい黄緑		Dg				33.17m：15°割れ目と75°割れ目が一部は交差し、一部は75°割れ目が15°割れ目で止まっている。15°割れ目には細粒部が認められず、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、15°割れ目に系統的な割れ目も存在しない。 33.40m：15°割れ目沿いに厚さ20mm砂状化。 33.76m：5°割れ目沿いに厚さ10mm砂状化。 34.00m以深、密着度の低い潜在割れ目多くハンマーの打撃で細片化する。また、割れ目も消滅しかかっている。 34.03m：40°幅2～3mm石英脈、密着して連続。																		
— 34						明褐灰		Dg	Vg	cg	3	●34.54～34.59m：破碎部 34.54～34.59m：粘土混じり岩片状部(H) 上端10～40°で大きく湾曲、下端11°で直線的に連続。径5mmの花崗斑岩岩片主体で岩片間は粘土状～砂状を呈する。にぶい黄褐色を呈する。幅40～50mm。 34.59m：砂混じり粘土状部(Hc-2) 上下端とも11°で直線的に連続。径1mmの石英粒を10%程度含む。灰黄褐色を呈する。幅3～4mm。 34.59～35.37m：CL 細片化し易い砂割れ目が多い。10～30°と50～70°の割れ目がみられる。																		
					にぶい黄緑	Eg	Vg	dg	4																					
					明褐灰	Dg	Vg	cg	3																					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 回 送 送 排 転 水 水 水 数 圧 量 量 (
----	----	----	-----	------	----	------	--------	-----	----	-----	---	------	---------------------	---------	-------------------------------	---------------------	------	------	------------------	----------------------	--------------	--

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)								
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																			
— 41				明褐灰	Dg	Vg	cg	3		40, 32~40, 77m: 割れ目沿いの砂状化進む。硬さ「D」ないし「C」の岩片がその中に残留し、全体として砂礫状を呈し、上下に比べやや脆くなる。低角度の割れ目の他、60~80°の割れ目も分布する。 41, 50m: 2" 割れ目沿い幅30mm淡緑色化(緑泥石化)し、径0, 5~1mmの微細な白雲母が晶出している。 41, 95~42, 00m: コアチューブ引上時に壊され礫状コア化したもの。硬さは「D」。 42, 00~42, 41m: D 一部の割れ目と原岩組織は残留している。 42, 24~42, 28m: 上端15°, 下端18°割れ目に囲まれ、厚さ30mm軟質・淡黄色粘土化(変質度4)。上端側は緑色化している。幅1mm白色粘土脈も所々に点在する。マンガン鉱染がみられる。 ●42, 41~42, 49m: 破砕部 42, 41~42, 43m: 礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上下端各々63° 54° で波打って連続。軟質で、径1~2mmの石英粒はわずかに、花崗斑岩岩片を計10%程度含む。にぶい黄褐色を呈する。幅10~15mm。 42, 43~42, 45m: 硬質粘土状部 (Hb) 上端54°, 下端35° でいずれも波打って連続。軟質で、径1~2mmの石英粒、径5~10mmの粘土化花崗斑岩岩片を計20~30%含む。灰白色を呈する。幅5~10mm。 42, 45~42, 49m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端35°, 下端18° でいずれも波打って連続。下端の一部はやや不明瞭。径5~20mmの岩片からなり、岩片の一部は粘土状~砂状。にぶい黄褐色を呈する。幅40mm。 42, 49~44, 24m: D 著しく軟化するが原岩組織と割れ目の一部は残留している。傾斜10~30° 及び60~80° 程度の割れ目がみられる。 43, 45~43, 48m: 厚さ25mm・23° の石英脈が硬質で分布。 ●44, 24~44, 53m: 破砕部 44, 24~44, 31m: 粘土質礫状部 (Hb) 上端、幅1mm灰赤色軟質粘土で5~13° で湾曲して、下端35° で直線的に連続。やや硬質で、径2~3mm石英粒、径5~10mm(最大25mm)花崗斑岩岩片を30%程度含む。灰黄色を呈する。幅45~65mm。 44, 31m: 粘土状部 (Hc-1) 上下端とも35° で直線的に連続。軟質で、径1mmの石英粒をごくわずかに (5%以下) 含む。灰黄褐色を呈する。幅1~2mm。 44, 31~44, 53m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端35° で直線的に、下端70° で波打って連続。径5mm前後の粘土化した花崗斑岩岩片と岩片間は白色軟質の脈状~網状粘土脈からなる。灰褐色~淡黄色を呈する。幅140~200mm。 ●44, 53~44, 83m: 破砕部 44, 53~44, 66m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端70° で波打って、下端65° で直線的に連続。径5~10mmの粘土化岩片と岩片間の軟質白色粘土 (脈状主体) からなる。にぶい橙色~灰白色を呈する。幅55mm。 44, 66~44, 68m: 粘土状部 (Hc-1) 上端65° で直線的に連続、下端65° で一部波打って連続。軟質で、径1mmの石英粒ごく少量 (5%以下) 含む。上下端側に直線的なせん断面と同方向に幅1~2mm、長さ5~10mmの脈状のマンガン鉱染部を伴う。灰黄褐色を呈する。幅4~5mm。 44, 68~44, 70m: 硬質粘土状部 (Hb) 上端65° で一部波打って、下端50~70° で湾曲して連続。やや硬質で、上位の軟質粘土と平行に分布し、径2mm石英粒、径3~5mm粘土化岩片を計20~30%含む。明赤灰色~灰白色を呈する。幅10~20mm。 44, 70~44, 83m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端50~70°, 下端75~85° でいずれも湾曲して連続。下端は幅1mm以下の灰黄褐色軟質粘土脈。径5~10mm粘土化岩片と岩片間の脈状~網状白色~淡黄色軟質粘土脈からなる。岩片間の基質部には黒褐色のマンガン鉱染部が点在する。灰褐色~淡黄色を呈する。幅20~50mm。 44, 83~45, 36m: D 強く実質し、網目状の灰白色粘土が分布する。原岩組織は残留する。	0	50	100																					
— 42											にぶい黄橙	Vlg	dg	δ	4				CL'															
— 43				にぶい橙	Vg	cg	3																											D'
— 44											灰褐	Vlg	dg	4																				
				灰白	Vlg	dg	4																											
											灰褐	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											
											にぶい橙	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											
											にぶい橙	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											
											にぶい橙	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											
											にぶい橙	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											
											にぶい橙	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											
											にぶい橙	Vlg	dg	4																				
				にぶい橙	Vlg	dg	4																											

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm / 時)	掘進月日	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチップ ／ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)								
														(N) 値	(N) 値	(N) 値	(N) 値																				
51										50.12～50.15m : 傾斜50° 程度。幅10～20mmで岩片化した赤褐色部を伴う。																											
52										51.06～51.94m : 割れ目や密着度が低い潜在割れ目が多い。潜在割れ目も褐色化している。 51.24～51.62m : 割れ目挟在物は殆んど分布しない。これ以外では割れ目沿いに幅1mm砂状化するものが多い。所々に幅0.5～1mmで密着した石英脈が分布。 51.63m : 15° 割れ目沿い厚さ10mmが砂状化。 51.94～52.72m : D 著しく軟化するが原岩組織と割れ目は残留している。 52.16m : 23° 厚さ3mmの軟質褐色粘土を挟む。上端にマンガンを伴う。 52.32～52.50m : 硬さ「D」が主体。																											
53										●52.72～52.81m : 破碎部 52.72～52.80m : 粘土混じり岩片状部 (H) 上端56° で直線的に、下端14° で波打って連続。径5～10mm岩片 (硬さ「D」主体) と岩片間の幅1～2mm脈状～径2～5mm斑点状粘土部からなる。明褐色色を呈する。幅40～90mm。 52.80～52.81m : 礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端14° で波打って、下端14° で直線的に連続。軟質で、径1～2mm石英粒。径2～3mm粘土化岩片を10～20%含む。灰白色を呈する。幅7～10mm。 52.81～53.17m : D 変質し、軟質化している。30～50° 程度の割れ目がみられる。 ●53.17～53.22m : 破碎部 53.17m : 礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上下端29° で直線的に連続。軟質で、径1～2mm石英粒を10%程度含む。灰褐色を呈する。幅2mm。 53.17～53.22m : 粘土混じり岩片状部 (H) 上端29°、下端27° でいずれも直線的に連続。径5mm前後の粘土化岩片と岩片間の粘土～砂状部からなる。全体に明褐色色を呈するが、上下端付近にはマンガン鉱染を伴い黒褐色化する。幅40mm。 53.22～53.45m : CL 20～30° の直線的な割れ目が多い。 53.45～53.54m : D 締った砂状を呈する。原岩組織と一部の割れ目は残留。 53.54～56.66m : CL 傾斜30～50° の割れ目が主体となる。 53.87～54.10m : 石英が多く晶出し径10～20mm斑点状～幅5～15mm・45～65° の脈状で分布する。 53.87～54.00m : 建質でレンズ状の石英も分布する。 54.00～54.60m : 石英脈ないし割れ目沿いに砂状化し、全体がやや脆くなる。また同区間ではマンガン鉱染も伴い黒褐色を帯びる。 54.82m : 傾斜50° で幅2mm以下の黄褐色粘土を挟む。周辺は一部緑色化する。																											
54																																					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	コア形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)				
														(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)															
61						Dg	Vg	cg	δ	3	60.54m以浅は割れ目沿いに風化が進み、硬さ「E」も含んでいる。 60.54m以深は硬質となり硬さ「C」が主体である。前者では、割れ目沿いにマンガン鉱染を伴う。 60.32～60.46m間は黄色味を帯びる。				8 (9)	CL'																	
62						Cg					60.99～61.39m : CH 堅硬。割れ目に挟在物挟まない。				13 (13)	CL'																	
63						Bg	IIIg				61.38～63.61m : CM 上端部の61.38～61.42m間と62.82m以深は、割れ目沿いに風化が進み砂状化する部分があるが、その他区間では割れ目に挟在物はほとんど分布しない。				19 (19)	CM'																	
64						Bg	IVg				62.53～62.57m : 互いに直交する割れ目交差部で一部細片化するが、砂状化や粘土化による劣化は伴わない。				19 (19)	CM'																	
65						Bg		cg	δ	3	62.82～63.61m : 岩片は硬いが(硬さ「B」)、割れ目沿いに幅2～10mm程度砂状～細かく片状化する。粘土化部や粘土脈は挟まない。				19 (19)	CM'																	
66						Bg	Eg	VIg	dg	ε	63.61～64.00m : D 割れ目沿いの風化が著しく進み砂状化する。径10～60mm硬さ「D」「C」岩片が残留し、「砂礫状」呈する。一部で割れ目が残留している。 63.90～63.94m : 60° 幅1～3mm石英脈が2条分布。 64.00～64.33m : CL 50～60° と70° 割れ目がほぼ直交し、交差部では径10mm程度に細かく岩片化する部分もある。				19 (19)	D'																	
67						Bg	Cg	Vg			64.33～66.07m : CM 割れ目の多くは割れ目沿いに薄く砂状化する。				16 (16)	CM'																	

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)	
														(N 値)	(N 値～深度) 図												
66				花崗斑岩 にふい橙		Bg	IVg	δ	2	65.22～65.30m：40° と70° 割れ目が交差し、幅10～20mmと風化砂状部が拡大している。また、わずかながら白色粘土や微細な黄鉄鉱、セリサイトも伴っている。																	
						Cg	Vg	δ		65.90m：径20mmと大型な石英斑晶が晶出。																	
						Eg	VIg	ε	3	66.07～66.62m：CL 風化したゆる割れ目や密着度の低い割れ目が多く、ハンマーの軽打で細片化する。																	
67						Dg	Vg	ε		66.62～67.14m：D 径5～20mm硬質岩片と風化による砂状部からなり、砂礫状を呈する。 66.85m以深では原岩組織や割れ目の一部も残留する。また、部分的に灰白～淡黄色粘土も点在する。 66.97m：傾斜55° で幅1～5mmの黄灰色粘土を挟む。																	
						Bg	IVg	δ	2	67.14～67.27m：CL 50° 割れ目沿いに軟化が進む。 67.27～67.80m：CM 割れ目沿いに砂状化するものが多い。 67.40～67.47m：径5～10mmに砕け角礫状化する。																	
68						Eg	VIg	ε	3	67.80～67.93m：D 50～60° 割れ目沿いに砂状化し、径10mm硬質岩片を含む砂礫状を呈する。 67.93～68.15m：CL 45° 割れ目沿いに薄い砂状化部を挟む。																	
						Cg	Vg	δ		68.15～68.60m：CM 割れ目に挟在物は分布しない。																	
						Bg	IVg	bg	γ	2	68.43～68.49m：コアチューブ引き上げ部の擾乱で、径5～20mm礫状～片状に砕けているが砂や粘土は挟まない。 68.60～69.05m：D 軟化著しい硬さ「E」であるが、原岩組織や割れ目は明瞭に残留している。 68.60～68.65m：コアチューブ引き上げ部の擾乱で砂状化している。 68.79～68.90m間は硬さCの硬質部を含む。 68.96～69.06m：風化が著しく明黄褐色を呈する。																
69						Eg	VIg	ε	3	69.05～69.56m：CL 30～50° 割れ目主体。密着度の低い潜在割れ目も多く含む。割れ目沿いに厚さ1mm程度と薄く砂状化することが多い。 69.07～69.10m：幅3cmでマンガンが濃集する。 69.56～69.70m：D 少量の白色粘土細脈を伴う。																	
						Dg	Vg	cg	3	●69.70～69.73m：破砕部 69.70m：粘土状部（Hc-1） 上下端55° で直線的に連続。軟質で、にふい黄褐色を呈する。幅1mm。 69.70～69.73m：粘土混じり岩片状部（Hj） 上端55° で、下端57° でいずれも直線的に連続。径3～10mm硬さE（粘土化）、Dの岩片で岩片間の一部は粘土化する。灰黄色を呈する。幅23mm。 69.73～74.10m：CL 硬さ「D」と硬さ「C」の区間が交互に出現する。硬さ「D」では割れ目に砂などの挟在物が分布するが、硬さ「C」区間では挟在物はほとんど分布しない。																	

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)			
															(N 値) 値	(N 値～深度) 図														
71				花崗斑岩	にぶい橙	Dg	Vg	cg	δ		70.06～70.59m : 45° 割れ目沿いに風化で砂状化する。	0																		
					灰褐	Cg		bg	γ	70.43～71.27m : 硬さ「C」のうち、70.49～70.59mでは径5mmの白濁化した長石が多い。70.59m以深では少ない。	10																			
					にぶい橙	Dg			δ	71.27～71.60m : 45～60° 幅1mm以下の軟弱な灰白色粘土が脈状に分布する。その一部は風化で褐色化する。71.37～71.50m : 径10mm前後の大型の石英斑晶が点在。岩片も硬さ「C」と周囲より硬質化している。	9																			
						Cg	IVg	cg	γ		10																			
72				花崗斑岩		Dg			δ	71.88m : 0～10° 幅1mm石英脈が密着して連続。		CL'																		
					Cg		bg	γ	72.10～72.24m : 硬さ「C」区間では割れ目挟在物はほとんど分布しない。長石の一部は白濁化する。	6																				
73				花崗斑岩						72.74～74.10m : 硬さ「D」主体だが、硬さ「C」の岩片も含んでいる。割れ目沿いに風化、砂状化することがある。		D'																		
					灰褐	Dg	Vg		cg	δ	73.35～73.38m : 厚さ25～40mmで締った砂状化を呈する。変質している。原岩組織は残留している。																			8
74				花崗斑岩						73.65～73.76m : 30° と60° の割れ目が交差し、径10～50mmの岩片状コアを呈する。	10																			
						Cg	IVg			74.10～74.36m : CM																				
					にぶい黄橙		Vg	dg	4	●74.36～74.50m : 破砕部 74.36～74.40m : 礫質砂状部 (Hb) 上端27° で直線的に、下端30° で不明瞭に湾曲して連続。軟質で、径2～3mm石英粒、粘土化した径5mm岩片を約10%含む。にぶい黄橙色を呈する。幅0～30mm。 74.40～74.41m : 粘土状部 (Hc-1) 上端30°、下端30° でいずれも湾曲して連続。軟質で、径1mm石英粒をわずかに (5%以下) 含む。灰褐色を呈する。幅7mm。 74.41～74.50m : 礫質砂状部 (Hb) 上端30° で湾曲して連続。下端はコアチューブ引き上げによる擾乱部で不明。軟質で、径2～3mm石英粒、粘土化した径5～30mm岩片を10～20%含む。にぶい黄橙色を呈する。幅75mm以上。 74.50～75.57m : D 74.50～75.00m : コアチューブ引き上げ部周辺で礫状コアで採取され、割れ目状況など不明。	6																			
					灰褐	Eg	Vg	cg	ε	3																				

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コ ア チ ュー ブ ／ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																							
														(N 値～深度) 図																																						
				花崗斑岩	灰褐色	Cg	IVg	γ	3	80.30～80.40m：割れ目沿いに砂状化が進む。 80.30～80.35m：コアチューブ引上げ時に発生した角礫状コア。	CL'																																									
81						Dg	cg			80.66～81.87m：硬さ「D」中に硬さ「C」の径2～3cm岩片が断片的に分布。80°前後の高角度割れ目が多い。																																										
						Vg	δ			81.17m：55°割れ目に厚さ10～15mmで砂と褐色粘土挟む。挟み物中と割れ目周辺に径0.5mm以下の微細な白雲母伴う。周辺は幅1cm程度緑色化している。																																										
82						Cg				81.82～81.87m：コアチューブ引上げ部で締った砂礫状呈する。 81.87～82.51m：割れ目沿いに砂状化する部分も含まれる。10～30°と50～70°程度の割れ目がみられる。																																										
						Eg	VIg	dg		ε																				82.51～82.62m：D風化で砂状化する。径0.5～1cmの花崗斑岩岩片が礫状に分布する。 82.62～82.94m：CL割れ目沿いに砂状化進む。一部で幅1～2mm白色粘土脈挟む。																						
83						Cg	Vg	cg		δ																				82.94～84.09m：CMゆ着割れ目や密着度の低い割れ目を多く含んでいる。割れ目の挟み物は少ない。30～50°と70～90°の割れ目が3～10cm間隔で分布する。 83.30～83.47m：長石の一部が白濁化する。																						
						IVg																																														
84						Bg		bg		γ																				2	84.07～84.09m：上端45°、下端65°割れ目で囲まれ、砂状化～細片状化する。厚さ1～10mmで厚さ3mmレンズ状の淡黄色軟質粘土とマンガン鉱染伴う。 84.09～84.92m：CH60～80°の高角度の「ゆ着割れ目」を伴うが、密着度は高くハンマーの打撃でも分離しない。 84.50m：36°割れ目の一部に厚さ2～3mmのマンガンを伴う。 84.82～84.92m：コアチューブ引き上げ時の擾乱により、割れ目交差部で一部片状コア。岩片自身は堅硬で劣化や挟み物は伴わない。 84.92～85.38m：CL下位破砕部の直線的なせん断面と同方向の50～60°割れ目やゆ着割れ目が多い。																					
							Cg	Vg																																												

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)								
														(N 値 ~ 深度) 図																							
	(m)	(m)									0 50 100			(N) 値	0	10	20	30	40	50																	
91				花崗斑岩	灰褐	B _g	IV _g	γ	2	90.70～91.00m : 傾斜80° の割れ目が発達する。 91.16～91.25m : 低角度割れ目と高角度割れ目が交差し、径10mm前後の細岩片状に砕けている。下端にマンガン鉱染伴う。 92.32m : 53° 割れ目沿いに径0.5mm前後の露母(セリサイト?)が晶出している。周辺は幅3mmで緑色化する。 92.60～94.07m : 傾斜30～90° の割れ目にマンガンを挟むことが多い。 93.53～93.61m : D 割れ目沿いに風化による砂状化が拡大し、一部で砂礫状を呈する。 94.00～95.85m : CL 94.07～94.88m : 上下端65° で貫入するアブライト。上下端とも割れ目化し、破碎や変質粘土は伴わない。貫入面(65°)に60° 斜交～直交する割れ目が発達するが密着しているものが多い。一部で層状の模様(65～60°)をもつ。直上の花崗斑岩と直下のアブライトに破碎や変質は与えていない。 94.88～97.00m : アブライト 94.88～95.67m : 傾斜30～60° の割れ目の一部に幅1～2mmの灰白色粘土やマンガンを伴う。	0	50	100																								
	C _g	V _g				δ	3																														
	B _g	IV _g				γ	2	0	50		100																										
	C _g	V _g				δ	3																														
92									B _g		IV _g	γ	2		0	50	100																				
									cg																												
									C _g		V _g	δ	3																								
93									B _g		IV _g	γ	2		0	50	100																				
						C _g	V _g																														
94						E _g	VI _g	dg			0	50	100																								
						D _g																															
							V _g	cg																													
						C _g																															

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチップ／ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)				
															(N) 値	0	10	20	30												40	50		
				アブライト	明褐灰				δ	3	95.22～95.25m : 割れ目沿いに砂状化マンガン伴う。 95.30～95.45m : 緑色帯びる。																							
96							Bg						95.85～96.58m : CM 硬さ「B」と硬いが、密着度の低い割れ目が多く、一部で細片化する。傾斜10～20°とそれと直交する50°の割れ目がみられる。 96.00～96.10m : 割れ目沿いに幅1～2mm砂状化し、灰白色粘土脈も挟む。																					
							IVg				γ		2	96.58～97.11m : CL 傾斜50°程度の割れ目が多く、一部に幅1mmの灰白色粘土や砂状化した部分を挟む。 96.71～96.76m : 傾斜50°の割れ目が密集し細片化する。コアは軟質である。																				
				花崗斑岩	灰褐						97.00～140.00m : 花崗斑岩全体に珪化し、組織が不明瞭になっている。所々、アブライトを挟む。																							
97	48.37	97.00					Bg						97.57～101.85m : アブライトを挟む。花崗斑岩との境界は上端45°の割れ目。下端90°で付着している。 97.57～97.88m : D 硬さ「C」の岩片も残留するが、全体は締った土砂状。下端付近の97.85mに40°幅1～5mm赤褐色鉱物脈が分布。全体にマンガン脈を挟み、97.71～97.85m間は大きくうねった割れ目が密集する。 97.88～100.51m : CM 硬質で風化と変質も弱くなる。密着度が低い割れ目やや着割れ目が多く10cm以上の柱状コアはごくわずか。割れ目挟在物はほとんど認められない。 97.88～101.00m : 割れ目沿いに酸化・マンガン汚染がみられる。																					
				アブライト	にぶい橙 (赤褐色)				ε	4																								
98							IVg				γ	2																						
							Bg						99.03m : 35°割れ目に微細な黄鉱鉱が晶出している。																					
99					褐灰																													

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)	
														(N) 値	0	10	20	30												40
101		-51.34	101.20	アフライト	褐灰	Bg	IVg	bg	γ	100.00～100.51m : ゆず割れ目や密着度の低い割れ目が多く細片化し易い。	0																			
		-51.62	101.60							Cg																				
			-51.80	101.85	アフライト	花崗斑岩	Bg	IVg	bg	γ	100.72～102.35m : CM 割れ目には挟在物はほとんど認められない。一部でゆる割れ目や密着度が低い割れ目が分布し、ハンマーの強打で細片化し易い。全体に径2～3mmの暗緑色鉱物(緑泥石?)が点在する。	CM'																		
		-51.62	101.60	101.20～101.60m間は斑晶がやや多く花崗斑岩となる。アフライトとの境界は漸移的である。	5						50																			
102		-51.80	101.85	アフライト	花崗斑岩	Bg	IVg	bg	γ	101.57～101.58mと102.00～102.05m間は割れ目沿いに片状～線状に砕けているが、粘土や軟化部は分布しない。 101.61～101.72m : 傾斜70～80° の割れ目の一部に白色脈(幅2mm以下)を挟む。	0																			
			-51.80							101.85																				
103		-51.80	101.85	アフライト	花崗斑岩	Bg	IVg	bg	γ	102.35～105.00m : CH 上下に比べ割れ目が少なくなる。部分的に割れ目沿いに薄く砂状化したり粘土脈やマンガンを挟むが全体では挟在物はほとんど含まない。径2～5mmの暗緑色鉱物(緑泥石)が点在する。	0																			
			-51.80							101.85																				
104		-51.80	101.85	アフライト	花崗斑岩	Bg	IVg	bg	γ	103.30m : 傾斜70～80° で互いに交差する幅1～5mmの石英脈を伴う。 103.52～103.54m : 割れ目沿いに薄く砂状化する。	0																			
			-51.80							101.85																				

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	掘進速度 (mm)／孔壁保護	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
															(N 値)	(N 値～深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
111		58.07	110.72								110.43～112.04m : CM 堅硬で割れ目に挟在物はほとんど分布しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																														花崗斑岩	褐灰	IIIg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
																																																										アブライト	灰褐	Bg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
																																																																																				暗緑灰	IVg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
112		58.65	111.54								111.13～111.37mは緑泥石化で暗緑色を呈する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																															花崗斑岩	灰褐																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
																																																												アブライト	にぶい黄	bg	γ	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
113											112.04～112.83m : CL 30～60°とこれに直交～斜交する50～70°割れ目が主体。割れ目交差部の一部では岩状化する。 112.04m以深は硬さ「C」主体で、一部の割れ目沿いは風化で薄く砂状化する。粘土化や粘土脈は分布しない。全体にマンガン鉱染を軽微に受け、割れ目の面沿いは薄く黒褐色化する。高角度割れ目が発達している。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																																	花崗斑岩																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																																															にぶい橙	Cg																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
114											112.83～113.51m : CL 割れ目沿いに砂状化が進むことが多い。 113.03～113.31m : 消滅したり、消滅しかかっている割れ目も分布する。 113.10～113.13m : コアチューブ引上げ時に乱され、礫状コア化している。全体に灰白～灰黄色の粘土脈を伴う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																																			花崗斑岩	明褐灰	Dg	cg	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
																																																																	灰褐	Eg	VIg	dg	δ	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
											● 113.51～113.60m : 破砕部 113.51～113.56m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端55°で、下端66°でいずれも波打って連続。径5～10mm硬さDの岩片で、岩片間は薄く粘土化～砂状化する。灰褐色を呈する。幅20～35mm。 113.56m : 粘土状部 (Hc-1) 上端66°、下端66°でいずれも小さく波打って連続。途中で幅1mmの粘土に分岐する。軟質で、径1mm石英粒わずかに含む。灰白色を呈する。幅1～2mm。 113.56～113.60m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端66°で小さく波打ち、下端63°、幅1mm以下のにぶい橙色の直線的な軟質粘土脈として連続。径5～10mm岩片と岩片間の粘土～砂状部からなる。このうち、113.58～113.60mは礫質砂状を呈し、灰褐色を呈する。幅15～20mm。 113.60～113.70m : D 径2～20mmの亜角礫を30%程度含む暗褐色砂状部。下端境界は2系統の割れ目に沿っており、一部は割れ目を充填している。やや軟質。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																																					花崗斑岩	明褐灰	Cg	VIg	cg	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																																																																				灰褐	Eg	VIg	dg	ε	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)							
															(N 値)	(N 値～深度) 図																		
116				花崗斑岩	明褐灰	Eg	Vtε	dg	ε	3	115.28m以深では割れ目の一部が残留している。	3 (0)	D'		0	10	20	30	40	50														
117				にぶい褐	Cg	Vg	cg	δ		2	115.52～118.63m: CL 60～70° の高角度割れ目と30° 前後の低角度割れ目が交差する。割れ目沿いの多くは砂状化する。一部は掘削時に岩片化したものを含む。	5 (0)	CL'		0	10	20	30	40	50														
118				にぶい橙	Dg					3	116.87～117.00m: 径10mm前後の礫状コア。これは掘削時に割れ目沿いの砂状部分が流失したためと推定される。 117.00～118.26m: 割れ目沿いに砂状化が進んでいる。岩片は径10～30mm 硬さ「C」主体。割れ目は60～70° とこれにほぼ直交する40° 前後が多く、交差部では径5mm前後に細片化するものもある。所々、幅1～3mmの灰白色粘土を挟む。 117.25m、117.82mなど、60～70° 割れ目は40° 割れ目を止めている部分がある。止めている割れ目に細粒部は伴わない。もしくは局所的にしか分布せず。割れ目周辺の原岩組織は明瞭に認められる。	3 (0)	D'		0	10	20	30	40	50														
119				にぶい黄褐	Eg	Vg				3	118.10～118.26m: 割れ目の一部は軽微なマンガン結染を受ける。 118.26～118.63m: 上位よりも更に割れ目沿いの砂状化が進んでいる。厚さ1～2mmの白色粘土脈を網目状に挟む。 118.63～118.94m: D 砂状化が著しくなり、糊った砂礫状を呈するものが主だが、硬さ「C」岩片のみかなる部分も残留。 ●118.94～119.12m: 破砕部 118.94～119.10m: 砂混じり岩片状部(Hj) 上端32°、下端60° でいずれも直線的に連続。直線的なせん断面に平行な割れ目とこれに60° 前後で斜交する割れ目が多く、径5～10mmに細片化した岩片と岩片間の一部に砂状化する。にぶい黄褐色を呈する。 119.10～119.12m: 礫混じり粘土状部(Hc-2) 上端60° で直線的に、下端60° で波打って連続。軟質で、径1～2mm石英粒、径3～10mm粘土化～硬さ「D」岩片を10～20%含む。粘土中には、表面がマンガン化した径1mmの石英粒が多い。浅黄色を呈する。幅13～15mm。 また、下端～上端へ斜交する幅2mmの軟質な黒色粘土脈が分布する。 119.12～119.30m: CL 60～70° 高角度割れ目とこれに斜交する40° 割れ目が多く細片化するが、挟在物はほとんど分布しない。一部は掘削時に岩片化したものを含む。 119.30～120.78m: CM 一部で密着度の低い割れ目やゆる着割れ目が多く、ハンマーの打撃で分離・細片化するが、割れ目の面はほぼ新鮮で未風化。 119.30～120.00m間は傾斜30～60° 程度の割れ目が1～5cm程度の間隔で分布し、120.00～120.78m間は傾斜10～30° 程度の割れ目が1～10cm程度の間隔で分布する。	4 (0)	D'		0	10	20	30	40	50														
				灰褐	Bg	IVg		bg	γ	2			CM'		0	10	20	30	40	50														

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
—121			花崗斑岩			IV _G			120.78~122.00m : CH		CH'																
—122				灰褐					121.09~121.16m : アブライト脈を挟む。上端20°、下端15°で屈曲した明瞭な境界をもち、面はゆ着している。		CH'																
—123						B _G	b _G	β 2	122.00~125.06m : CM 一部で密着度の低い割れ目やゆ着割れ目が多い。すでに開口割れ目化するものも多い。割れ目の面はほぼ新鮮で未風化。 122.36m : 傾斜52°、幅5~10mm程度で暗緑色を呈する。																		
—124									123.38m : 割れ目交差部で幅2~3mm細片状化するが、風化砂状部や粘土化部は挟まない。		CM'																
				褐灰					124.54m : 55° 割れ目面に厚さ0.5mm、軟弱灰緑色粘土がフィルム状に付着する。																		

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入)試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																											
													(N値～深度)	(N値)	(N値)	(N値)																																							
				花崗斑岩	褐灰	IV _g	β	bg	125.06～125.28m: CL ゆる割れ目などから分離・細片化している。砂や粘土は挟まない。 125.28～127.68m: CM 開口割れ目と平行方向のゆる割れ目や密着度の低い割れ目を含んでいる。ハンマーの強打で一部は分離・細片化する。ごく一部(下記127.16～127.25m間)でごく薄く風化する以外はほぼ新鮮、未風化。	0 50 100 8 [9]			0 10 20 30 40 50																																										
126						IV _g																									[10]																								
127						B _g																									γ	2	127.16～127.25m: 径10mm前後で角礫化している。下端の45°割れ目面には幅10mmが径2～5mmで細礫状化し、風化で淡褐色化する。	9 [9]	CM'																				
128						にぶい褐																									V _g	cg	δ	127.68～128.08m: CL 厚さ5～10mm程度の片状コア主体で、挟在物は下端部の128.05～128.08mが径3～5mm硬質岩片を含む「硬質砂」状を呈する以外、砂、粘土など挟まない。一部は掘削時に岩片化している。	8 [9]			0 10 20 30 40 50																	
				IV _g	γ		128.08～128.64m: CM 各割れ目面は薄く淡褐色化し直上よりも風化するが、砂や粘土など挟在物は認められない。																																																
129				灰黄褐	V _g		δ	128.64～128.88m: CL 径10mm前後に細かく砕けた角礫状コアで、各割れ目面には砂が付着することがある。割れ目沿いに風化が進行していると推定される。	8 [9]			0 10 20 30 40 50																																											
					bg		128.88～129.91m: CM 60～70°の高角度と30～40°の中角度割れ目の交差部では径10mm前後に片状～角礫状化するが、砂状部や粘土化部は挟まない。																																																
				褐灰	IV _g		γ		129.91～131.93m: CH 一部のコアにはゆる割れ目や密着割れ目を含むが、ハンマーの強打でも密着し、分離・細片化しないものが多い。	11 [11]			0 10 20 30 40 50																																										
				III _g	β	CH'																																																	

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 回 転 数 (kN・MPa rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)							
															(N) 値	(N 値～深度) 図	(N) 値	(N 値～深度) 図	(N) 値																	
—131							III E				130.00～140.00m：ゆず割れ目が約10mm間隔で分布。		CH'																							
—132							Bg	bg	β	2	131.40～131.59m：径20～30mmに角礫状化しているが、これはロッド引上時に生じた人為的な現象と推定される。																									
—133											131.93～138.07m：CM ゆず割れ目や密着度の低い割れ目を多く含んでいる。既に開口化しているものも多い。割れ目の一部は風化で薄く砂状部を挟むことがあるが、挟む物がない(b)割れ目が主体。 132.07～132.24m：径10～20mm角礫状化する。割れ目面に砂が付着するものが多い。微細な黄鉄鉱も伴う。同区間は珪質である。 132.18～132.33m：アブライト脈を挟む。上端はコアチューブ引き上げ部で不明、下端は0°で明瞭な境界をもち、面はゆずしている。																									
—134							IV E				133.20～133.25m：アブライト脈を挟む。上端、下端とも傾斜5°で明瞭な境界をもち、面はゆずしている。 133.40～134.00m：ゆずした密着割れ目沿いに開口化し、径10mm前後に細かく砕けている。 133.82m：60°割れ目沿い幅20mmが径3～5mmの細片状化しているが、風化に起因する砂や粘土は挟んでいない。 134.78m：傾斜35°で幅2mm以下の石英脈を挟み、一部に白色の細脈を伴う。 134.87～134.91m：傾斜56°、幅25mmで緑色化している。		CM'																							

余白

H27-B-2

[illegible]

事業・工事名

ボーリング名	H27-B-2	調査位置	X:344.180 , Y:1092.324			北緯	35° 45' 19.13"			
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	2015 年 5 月 25 日 ~ 2015 年 7 月 24 日		東経	136° 1' 1.87"		
調査業者名			主任技師	現代埋人		コ定者	ボーリング責任者			
孔口標高	20.11 m	角上			地盤勾配			使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘削長	160.00 m	度下			船直配			エンジン	ポンゴ	

[illegible]

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原 位 置 置 試験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 回 送 水 圧 (kN ・ rpm MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
		15.99	5.83	コア欠如	にぶい黄橙																			
6				盛土	にぶい黄				5.83~7.00m: 砂混じりシルト質粗粒砂主体で、6.80~7.00mは礫質極粗粒砂からなる。															
7		15.04	7.17	コア欠如	にぶい黄橙				7.00~7.12m: 合板が分布する。 7.12~7.17m: 径8cmの花崗斑岩の角礫を含む。 7.17~7.41m: スライム砂混じりシルトからなる。軟質。 7.41~8.53m: スライム径10cm以下の花崗岩類の亜角~角礫からなる。コアの形状をなしていない。基質部は流出している。															
8				コア欠如	にぶい褐				8.11~8.20m: スライムルーズなシルト質礫からなる。															
9				灰褐					8.53~9.70m: スライム砂・礫混じりシルトからなる。軟質。下部は植物片が混じる。															
				褐灰					9.70~9.80m: スライム径8cmの花崗斑岩の礫からなる。 9.80~10.42m: スライム砂・礫混じりシルト~礫混じり砂からなる。軟質。植物片混じる。礫は径3cm以下の花崗岩類の角礫からなる。															

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)		
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事	0 50 100			0 10 20 30 40 50													
— 21						Dg	IVg		δ		20.25m : 30° の割れ目に幅1～5mmの黄灰色砂状部を挟む。																	
											20.90m : 5° の割れ目沿いに幅約10mm砂状化を呈する。																	
— 22											Cg	IVg															21.67m : 0° の割れ目に幅1mmの暗灰色粘土を挟在する。上端側の幅10mmは淡黄褐色を呈する。21.79～26.82m : 硬さ「C」が主体であるが、硬さ「D」も含み両者が交互に出現する。割れ目沿いに風化で砂状化する部分が多い。	
											Bg	IIg														cg	21.90m : 径10mmの石英斑晶が80° の割れ目で横断される。80° の割れ目は1条ではなく、分岐しており、分岐したそれぞれの割れ目は不連続である。高角度割れ目には細粒部が認められず、割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められる。系統的な割れ目も存在しない。22.10～22.50m : 硬さ「B」で硬質。	
											Cg	Vg																
— 23			Dg								23.22m : 10° の割れ目に幅5mmで黄灰色のやや硬質な砂を挟在する。																	
											23.52m・30° と23.82m・20° の各割れ目に幅1mmのやや硬質な灰褐色粘土脈を挟む。																	
— 24							IVg			γ	23.89m : 25° の割れ目に幅5mmの黒灰色シルト質砂を挟在する。																	
							Cg																					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)					
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	化	事	0 50 100			(N) 値	0 10 20 30 40 50																			
— 26							IV _E	γ	25.41m：20° 割れ目沿いに径0.5～1mmと微細な雲母（セリサイト）が晶出している。																								
		C _g					V _E																										
— 27							IV _E						26.82m以深は硬さ「D」が主体となる。 27.04～27.90m：割れ目面にマンガンが付着する。																				
							c _g																										
— 28							D _g	δ	27.91m：20° で幅1mmの石英脈が交差する85° の割れ目を横断する。また、27.88mの低角度の潜在割れ目も85° の割れ目を横断する。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 28.02m以深、10mm間隔の風化した割れ目が発達し、片状～礫状化している。割れ目沿いに風化して砂状化することが多い。 28.24～28.94m：割れ目に沿った風化・変質が見られる。 28.55m：25° の割れ目に幅10mmの硬質な黄灰色シルト質砂を挟在する。																								
							V _E																										
— 29									29.19m：50° の割れ目に幅3mmの灰白色粘土を挟在する。																								

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)						
31				花崗斑岩	明褐色 Dg					30, 10～30, 82m : D 概ね径10mm以下に砕けている。風化で割れ目沿いに砂状化が拡大している。径5～30mmの硬さ「D」「C」岩片が多く残留し、硬質な砂礫状を呈する。基質は砂状部が主体であるが、灰白色粘土化部も散在している。原岩組織や上部の割れ目は残留している。																								
					明黄褐色 Eg	Vg	cg																											
					にぶい黄褐色 Dg						30, 82～31, 15m : CL 割れ目沿いに砂状化することが多い。																							
					にぶい褐色 Eg	Vg	dg				●31, 15～31, 66m : 破砕部 31, 15～31, 24m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端20°で直線的、下端15～28°で湾曲して連続。一部粘土化した径5～10mmの岩片と岩片間の粘土～幅1～2mmの粘土細脈からなる。にぶい黄褐色を呈する。幅90～90mm。 31, 24～31, 28m : 粘土質礫状部 (Hb) 上端15～28°で湾曲して、下端38°で波打って連続。径2～3mmの石英粒、径5～10mmの大半が粘土化した岩片を計20～30%含む。やや軟質。明赤灰色を呈する。幅20～30mm。 31, 28～31, 29m : 礫混じり粘土状部 (Hc-2) 傾斜38°で上端は波打って、下端は直線的に連続。径2～3mmの石英粒を10～20%含む。やや軟質。灰黄褐色を呈する。幅5～10mm。 31, 29～31, 66m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端38°で直線的に、下端43°で波打って連続。径5～20mmの硬さ「C」主体 (他に粘土化、硬さ「D」「E」含む) の岩片と岩片間の粘土からなる。にぶい褐色を呈する。 31, 78～34, 37m : D 風化で割れ目沿いに砂状化が拡大する。原岩組織は残留するが、割れ目は消滅するか、しかかっているものが多い。所々に幅1～3mmの白色軟質粘土脈を挟む。 31, 91～31, 96m : 25～30°の割れ目に軟質な幅1～3mmの褐色粘土を挟む。 32, 45～32, 59m : 8～48°の割れ目沿いに灰白色粘土を挟む。粘土は一部網目状に分布する。 33, 00～33, 25m : 粘土化が進み、原岩組織は不明瞭となる。 33, 35～33, 40m : 硬さ「D」の岩片主体。 33, 60m : 5°で幅1mmの軟質な赤灰色粘土脈を挟む。 33, 77m : 7°で幅5～8mmのマンガン鉱染部が脈状に分布する。 33, 79～33, 87m : 硬さ「D」の岩片主体。 33, 96m以深は原岩組織が不明瞭な硬質な砂状部主体。割れ目の一部は残留するが、消滅しているものが多い。 33, 97m : 25°の割れ目に幅2～4mmの褐色粘土を挟む。																							
32				花崗斑岩	灰褐色 Dg																													
						Vg	cg																											
					明褐色 Eg																													
						Vg	dg																											
33				花崗斑岩	浅黄				4																									
					にぶい褐色 Dg	Vg	cg			3																								
						Cg																												
34				花崗斑岩																														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コアの形状	風割れ目の状態	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																						
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																																	
														0 10 20 30 40 50																																																		
36				花崗斑岩	明褐灰	Cg	Vg	cg	3	●35, 36～35, 46m：破砕部 35, 36～35, 39m：粘土混じり岩片状～ 粘土質岩片状部（Hj） 上端やや不明瞭で47°で波打って、 下端47°で1箇所小さく湾曲するが、 これ以外は直線的に連続。径2～5mm の石英粒。径3～5mmの粘土化岩片か らなるが、岩片の粘土化が進むため 構造は不明瞭。灰黄色を呈する。幅2 5mm。 35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。	5 [4]	100	0																																																			
37						にふい橙	明褐灰	Eg					3	35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。	7 [3]	100	0																																															
38								にふい橙			明褐灰	Dg					3	35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。	19 [10]	100	0																																											
39												にふい橙			明褐灰	IVg				γ	2	35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。	8 [3]	100	0																																							
				にふい橙	明褐灰				Cg	IVg						γ			2	35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。			8 [3]	100	0																																							
						にふい橙	明褐灰		Dg				δ	2		35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。							8 [3]	100	0																																							
								にふい橙	明褐灰	Eg	Vg		δ				2	35, 39～35, 40m：粘土状部（Hc-1） 傾斜47°で上下端とも直線的に連続 する。上端の一部は不明瞭。径1～3m の石英粒を10%含む。軟質。灰白～ 灰褐色を呈する。幅12～15mm。 35, 40～35, 46m：粘土混じり～粘土質 岩片状部（Hj） 上端47°で直線的に、下端20～35° で湾曲して連続。径2～3mmの石英粒、 径5mmの粘土化岩片からなる。上端側 の一部は晶洞中に石英が多く晶出し、 マンガン鉱染も伴う。灰黄～褐色 を呈する。幅40～45mm。 35, 46～35, 68m：D 上下を破砕部に囲まれ粘土化が進ん でいる。 ●35, 68～35, 73m：破砕部 35, 68～35, 72m：粘土混じり礫状部（ Hj） 上端27°の褐色軟質粘土で波打って、 下端20°で不明瞭ながら波打って連 続。径3～5mmの粘土化岩片主体。明 褐色を呈する。幅35～50mm。 35, 72～35, 73m：粘土質礫状部（Hb） 上端20°で波打って、下端12°で直 線的に連続。径1～2mmの石英粒を20 %程度含む。やや軟質。淡黄色を呈 する。幅10mm。 35, 73m：粘土状部（Hc-1） 傾斜12°で上下端とも直線的に連続。 石英粒、岩片を殆んど含まない（5% 以下）。軟質。灰黄褐色を呈する。 幅1～2mm。 35, 68～35, 92m：D 上下を破砕部に囲まれ、粘土化が進 んでいる。 ●35, 92～35, 95m：破砕部 35, 92m：粘土状部（Hc-1） 傾斜35°で上下端とも小さく波打っ て膨縮しながら連続。石英粒、岩片 は殆んど含まない（5%以下）。やや 硬質。灰オリーブ色を呈する。幅1～ 5mm。 35, 92～35, 95m：礫質砂状～粘土質礫 状部（Hb） 上端35°、下端45°でいずれも小さ く波打って連続。径1～2mmの石英粒、 径2～5mmの粘土化岩片を20～30%含 む。やや硬質。上位のHc-1の粘土と 平行方向に幅1mm以下の灰赤色粘土細 脈が数条分布。灰白色を呈する。幅2 0mm。 35, 95～36, 76m：D 36, 05m以浅は粘土化が進み原岩組織 は消滅している。 36, 05m以深は割れ目、原岩組織とも に残留する。 36, 60～36, 70m：マンガン鉱染が著し い。 36, 76～37, 12m：CL 割れ目沿いに砂状化する部分もある。 37, 12～37, 60m：CL 岩片は硬いが（硬さ「C」）、一部の 割れ目は幅1～3mmで薄く砂状化する。 37, 60～38, 05m：CL 割れ目沿いに幅10mm程度で風化が進 行している。 38, 05～38, 46m：CM 岩片は硬質で割れ目が少ないが、割 れ目には粘土や砂を挟む。 38, 46～39, 78m：CL 39, 60～39, 69m：硬さ「D」ないし「E 」で、上端側は砂状化している。 39, 78～40, 23m：D 原岩組織と割れ目は残留。一部の割 れ目沿いに幅5～10mmで砂状化。					8 [3]	100	0																																							
										にふい橙	明褐灰																																																					
				にふい橙	明褐灰																																																											
						にふい橙	明褐灰																																																									
								にふい橙	明褐灰																																																							

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																									
													(N) 値																																					
46						Dg			45.10～45.25m：硬さ「C」の硬質岩片が分布。	0 50 100																																								
																										Cg			δ																					
47				明燐灰		Dg	Vg	cg	45.96～46.31m：硬さ「C」で硬質。 割れ目は幅1～3mm程度で砂状化する。	0 50 100																																								
																										Cg			γ																					
48				花崗斑岩		Eg	Vg	dg	46.73～47.50m：D 原岩組織と割れ目は消滅している。 硬さ「D」主体の径3～10mmに細岩片化している。 46.73～46.85m：割れ目沿いに砂状化が進み、硬さ「E」が主体。 46.90～47.06m：産化による二次石英が径1～3mmの斑点状～幅1～2mmの脈状で晶出し、全体が硬さ「C」と硬質。	0 50 100																																								
																											Cg	Vg	cg	δ																				
49				明燐灰		Eg	Vg	dg	47.50～48.09m：CL 47.85m以遠は硬さ「D」主体、47.85m以遠は風化で割れ目沿いの一部は砂状化が進み、岩片自身も軟質化している。	0 50 100																																								
																										Cg	Vg	cg	δ																					
50				花崗斑岩		Eg	Vg	dg	48.08～48.12m：破砕部 48.08～48.12m：粘土質燐状部（Hb）上端53°、下端56°でいずれも直線的に連続。径1～3mmの石英粒、径3～5mmの硬さ「D」岩片を20～30%含む。やや硬質。上端部にマンガン鉱染を伴う。灰黄褐～黒褐色（上端部のみ）を呈する。幅20mm。 48.12m：緑泥じり粘土状部（Hc-2）傾斜56°で上下端とも直線的に連続。径0.5～1mmの石英粒を20%程度含む。やや硬質。黒褐色を呈する。幅1mm。マンガン鉱染を伴っている。 48.12～52.42m：CL 概ね長さ5cm前後の短柱状コアが主体	0 50 100																																								
																												Cg	Vg	cg	γ																			
51				花崗斑岩		Eg	Vg	dg	48.12～48.51m：60～70°の割れ目が主体。割れ目に砂や粘土の挟在物が分布する。これらの割れ目は上位の破砕部と同方向に近い。 48.51～48.60m：硬質な砂状化を呈する。 48.84～48.88m：上端20°、下端38°の割れ目に囲まれ硬質な砂状化を呈する。 49.00～49.34m：割れ目沿いに風化・砂状化が進み、コアチューブ引上げ時に乱され、礫状コアを呈している。密着割れ目も風化してハンマーの打撃で分離し易い。硬さ「C」が主体であるが、風化で軟質化した硬さ「D」や逆に堅硬な硬さ「B」も含む。	0 50 100																																								
																												Cg	Vg	cg	δ																			

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																																											
51				花崗斑岩	に ぶ い 橙	IV _g				50.44~50.67m : 硬さ「B」で堅硬。 上下端は砂状化している。	10 [10]																																																															
			C _g			V _g																																																																				
			B _g			IV _g																																																																				
			C _g			V _g																																																																				
			D _g																																																																							
			C _g			IV _g																						δ				51.15~51.50m : 上下位よりも石英斑 晶が径5~15mmと大型化する (上下位 側は径5mm前後主体) 。	9 [9]																																									
52																																																																										
					に ぶ い 黄 橙	cg	V _g			51.51m以深は風化が進み、割れ目沿 いの砂状化が広がり、径10~30mmの 硬さ「D」岩片を含む「砂礫状」を呈 する部分もある。																																																																
																																																				D _g																						
																																																				B _g	IV _g	γ			52.18~52.22m : コアチューブ引き上 げ部で、細礫混じり粗粒砂状を呈す る。	11 [11]																
53																																																				D _g	V _g																					
						E _g	VI _g	dg	δ		52.99~53.20m : CL 割れ目沿いに砂状化が進む。消滅し かかっている割れ目が多い。 53.20~53.55m : D 原岩組織は残留するが、割れ目は消 滅するか、しかかっているものが多い。 硬さ「D」の径10mm程度の岩片が 散在している。	4 [4]																																																														
				D _g	IV _g	cg																																																																				
54				に ぶ い 黄 褐	E _g	dg	ε																						54.10~54.72m : D 風化で砂状化が著しい。 54.37~54.46m : 硬さ「D」の岩片が 残留する。	4 [4]																																												
					D _g																																																																					
					E _g																																																																					
				明 赤 灰				δ	4	●54.72~54.77m : 破砕部 54.72~54.77m : 粘土質礫状部 (Hb) 上端48°で波打ち、下端39°で直線 的に連続。径2~4mmの石英粒と粘土 化した径5~10mmの岩片を30~50%含 む。軟質。マンガン鉱染を一部に伴 う。明褐色を呈する。幅40~50mm。 54.77m : 粘土状部 (Hc-1) 傾斜39°で上下端とも直線的に連続。 石英粒。岩片は殆んど含まない (5% 以下)。軟質。灰褐色を呈する。幅3 mm。 54.77~55.24m : D 全体に粘土化が進む。																																																																

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 送 水 圧 (kN・ rpm ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																									
														(N) 値	(N 値～深度) 図																																				
56				花崗斑岩	明赤灰	Eg	VIg	dg	4	55.00m以浅は岩片やマンガン鉱染部を脈状に含む。 55.00m以深は白色粘土化部や赤灰色粘土細脈を多く含む。 55.24～57.70m : CL 硬さ「D」岩片が主体。割れ目沿いに風化が進む部分では硬さ「E」や硬質な砂状部も分布する。割れ目沿いにマンガン鉱染を受け、割れ目面とその周辺は黒褐色化することが多い。	D'																																								
					明褐灰																																														
					灰黄褐	Dg	VIg	cg		56.83～57.00m : 割れ目沿いの風化が進み、砂状化する。残留する硬さ「D」の径5～10mmの岩片とともに砂礫状を呈する。 57.00～57.45m : 密着度の低い割れ目が密集し、径10mm程度に細岩片化する。硬さ「C」の岩片も多く含む。																																									
					にぶい黄橙					57.45～57.70m : 割れ目沿いに砂状化が進み、全体に上位より軟質化が進む。 57.70～57.99m : CL 原岩組織と割れ目は残留するが、全体に風化による砂状化部が拡大し、一部は硬質な砂状部となる。																							CL'																		
57				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	IVg	bg	2	57.99～58.28m : CL 岩片は硬いが、20～30°の割れ目が10～30mm間隔で同方向に発達。マンガン鉱染も伴う。 58.28～58.73m : CM マンガン鉱染で割れ目は黒褐色化するが、砂や粘土などの挟在物は分布しない。																																									
58				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	IVg	bg	2	58.73～59.71m : CL 割れ目沿いに砂状化し、密着度の低い割れ目も多い。全体として脆い。																																									
59				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	IVg	bg	2	59.35～59.54m : 硬さ「C」主体。																																									
59				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	IVg	bg	2	59.71～60.00m : D 強風化で硬質な砂状部主体。径10mm前後の岩片が残留し、砂礫状を呈する。		D'																																							

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm/時)	孔徑 (mm) ／孔壁保護	コア チップ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)							
														(N 値)	(N 値～深度) 図																		
61				花崗斑岩	灰褐	Dg	Vg	cg	δ	2	60.00～60.26m: CL 50～55° の割れ目が主体。割れ目沿いにマンガン鉱染を受ける。	D'			0	10	20	30	40	50													
					にぶい黄橙					3	●60.26～60.69m: 破砕部 60.26～60.58m: 礫質砂状部 (Hj) 上端は28° で、一部消滅しかける直線的な割れ目。下端は18° で波打って連続。径5～10mmの硬さ「E」岩片と岩片間の風化で拡大した砂状化部からなる。下端側に下位のHc-1の粘土と同方向の細かい割れ目が発達。機械割れて全体が礫質砂状化している。にぶい黄橙色を呈する。																						
					明褐灰				ε		60.58～60.59m: 粘土状部 (Hc-1) 傾斜18° で上下端とも波打って連続。径1mmの石英粒を約20%含む。軟質。明褐灰色を呈する。幅10～12mm。 60.59～60.69m: 粘土混じり礫状部 (Hj) 上端18° で、下端37° の割れ目で見ても波打って連続。径5～20mmの硬さ「E」岩片と岩片間の粘土化～砂状化部からなる。明褐灰色を呈する。																						
					Eg	Vg	dg	3	60.69～61.29m: D 大半が風化で砂状化する。																								
62				花崗斑岩		Dg	Vg	cg	δ		●61.29～61.69m: 破砕部 61.29～61.41m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端45°、下端50° でいずれも直線的に連続。下位のHc-1の粘土とほぼ同方向の45° 割れ目とこれに斜交する割れ目で径5～10mmに岩片化した岩片と、一部の岩片間に分布する幅1mm以下の軟質白色粘土からなる。にぶい橙色を呈する。幅100mm。 61.41～61.43m: 粘土状部 (Hc-1) 傾斜50° で上端は直線的に、下端は波打って連続。径1～2mmの石英粒。径3mmの岩片を約5%含む。やや軟質。灰黄褐色を呈する。幅5～15mm。 61.43～61.69m: 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端50°、下端60° で不明瞭にいずれも波打って連続。硬さ「D」の径5mmの岩片と、岩片間の斑点状～細脈状 (幅1mm) の軟質白色粘土からなる。上端側は粘土化が著しい部分がある。にぶい橙～灰白色を呈する。	CL'																					
						Cg			3	61.69～62.39m: CL 45～60° とこれに斜～直交する割れ目が多いが、62.00m以浅ではこれらが消滅しかかっているものが多い。 62.39～63.75m: D 局所的に径5～20mmの硬さ「D」岩片が残留するが、大半が砂状化している。 62.95m以深では粘土化が更に進み、原岩組織は大半の部分で消滅する。幅1～2mmの白色軟質粘土脈が粘土化岩片間を縫うように分布する。一部でマンガン鉱染を伴い、薄く黒褐色化する。																							
					Dg						4																						●63.75～63.85m: 破砕部 63.75～63.80m: 粘土・砂混じり岩片状部 (Hj) 上端3° で波打つ割れ目で、下端46° で波打って連続。径5～10mmの岩片と岩片間の粘土状～砂状部からなる。にぶい橙色を呈する。幅30～50mm。 63.80～63.85m: 礫質粘土状部 (Hb) 上端46°、下端47° でともに波打って連続。径1～3mmの石英粒。径5～20mmの硬さ「D」岩片を20～30%含む。やや硬質。灰褐色を呈する。幅20～35mm。 63.85～64.49m: D 径10～20mmの硬さ「C」岩片が多く残留している (残留率30～40%程度)。全体に硬質な砂礫状を呈する。粘土状部は砂状部にわずかに散在する程度。 64.49～65.18m: CH 堅硬・塊状。 64.68～64.73m: 上端45°、下端30° の割れ目に囲まれ、片状～角礫状化する。粘土はなく、わずかな砂状部が分布する。
					明褐灰					3																							
63				花崗斑岩	明褐灰						上端50°、下端60° で不明瞭にいずれも波打って連続。硬さ「D」の径5mmの岩片と、岩片間の斑点状～細脈状 (幅1mm) の軟質白色粘土からなる。上端側は粘土化が著しい部分がある。にぶい橙～灰白色を呈する。	D'																					
					Eg	Vg	dg	ε	4	61.69～62.39m: CL 45～60° とこれに斜～直交する割れ目が多いが、62.00m以浅ではこれらが消滅しかかっているものが多い。 62.39～63.75m: D 局所的に径5～20mmの硬さ「D」岩片が残留するが、大半が砂状化している。 62.95m以深では粘土化が更に進み、原岩組織は大半の部分で消滅する。幅1～2mmの白色軟質粘土脈が粘土化岩片間を縫うように分布する。一部でマンガン鉱染を伴い、薄く黒褐色化する。																							
64				花崗斑岩	灰褐						●63.75～63.85m: 破砕部 63.75～63.80m: 粘土・砂混じり岩片状部 (Hj) 上端3° で波打つ割れ目で、下端46° で波打って連続。径5～10mmの岩片と岩片間の粘土状～砂状部からなる。にぶい橙色を呈する。幅30～50mm。 63.80～63.85m: 礫質粘土状部 (Hb) 上端46°、下端47° でともに波打って連続。径1～3mmの石英粒。径5～20mmの硬さ「D」岩片を20～30%含む。やや硬質。灰褐色を呈する。幅20～35mm。 63.85～64.49m: D 径10～20mmの硬さ「C」岩片が多く残留している (残留率30～40%程度)。全体に硬質な砂礫状を呈する。粘土状部は砂状部にわずかに散在する程度。 64.49～65.18m: CH 堅硬・塊状。 64.68～64.73m: 上端45°、下端30° の割れ目に囲まれ、片状～角礫状化する。粘土はなく、わずかな砂状部が分布する。	CH'																					
					明褐灰					3																							
				花崗斑岩		Bg	Ⅲg	bg	β	2		CH'																					
					灰褐																												

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
66				花崗斑岩	灰褐	Bg	IIIg	bg	β	65.00～65.17m : 柱状コア (コア長17cm)。 65.18～65.36m : D 割れ目沿いに砂状化が拡大し、硬質な砂礫状を呈する。 65.36～68.05m : CL 岩片は堅硬であるが、割れ目沿いに砂状化が進むことが多い。粘土化部や粘土脈は殆んど含まない。上端側と下端側は短柱状コア主体、中央部は片状コア主体で一部割れ目沿いに砂状化が進む。 65.96～66.01m : 砂状化が進んでいる。 66.20～68.01m : 上下位に比べ風化がやや進む。 66.39～66.65m : 割れ目沿いに砂状化が進む。 66.39～66.44m : コアチューブ引上げ時に乱され、径10mm前後の岩片状コアを呈する。 66.65～67.00m : 硬さ「B」の堅硬な岩片も多く含む。 67.00～67.46m : 落下コア回収のため岩片状を呈する。 67.48～67.63m : 柱状コア (コア長15cm)。 67.65～68.05m : 硬さ「D」の岩片主体で一部割れ目沿いに砂状化する。	CH'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(ｍ) 測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)								
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	形状	状	化	質	事	分		値	図																					
86						Dg	Vg	cg	3	85, 15m : 50° で幅5mmの軟質な灰白色粘土脈を挟む。 85, 24～85, 35m : 砂状化が進む。40°前後の割れ目が残留する。																										
						Eg																														
						Dg																														
						Eg	Vlg	dg	4	85, 50～85, 58m : D 粘土化が進む。 ●85, 58～85, 76m : 破碎部 85, 58～85, 63m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端40° で直線的に、下端48° で一部不明瞭ながら直線的に連続。径5～10mmの硬さ「D」岩片と岩片間の粘土状部からなる。上端付近に幅5mmの石英脈が下位のHc-2の粘土とほぼ同方向に分布するが途中で消滅する。灰黄色を呈する。幅35mm。 85, 63～85, 64m : 硬混じり粘土状部 (Hc-2) 傾斜48° で、上端は一部不明瞭ながら直線的に連続。下端は波打って連続。径2～3mmの石英粒、径5mmの硬さ「D」岩片を10%含む。軟質。淡黄色を呈する。幅5mm。 85, 64～85, 76m : 粘土・砂混じり岩片状部 (Hj) 上端48° で波打って、下端32° で、幅1～2mmの軟質な灰白色粘土脈として直線的に連続。上位のHc-2の粘土と同方向へ斜交する割れ目で径5～10mmに岩片化している。岩片間の一部は粘土・砂状化し、幅1mmの灰白色粘土脈が分布。85, 68m・53° のシャープなせん断面が分布し、これに深は一部でマンガン鉱染を受け黒褐色化する。淡黄～にぶい褐色を呈する。幅100～120mm。 85, 76～87, 47m : CL 86, 52m以浅は硬さ「D」、86, 52m以深は硬さ「C」の岩片主体で、後者では一部に短柱状コアも含む。前者では一部の割れ目沿いが砂状化する。 85, 76～86, 00m : 径10mmの斑点状や幅2mm、20° の脈状に石英を含む。 87, 47～87, 90m : CH 堅硬、長石の一部は白濁化する。一部でゆ着割れ目を含むが、密着度が高くハンマーの強打で分離しない。 87, 90～88, 38m : CL 一部の割れ目沿いは風化で薄く砂状化する。密着度の低い潜在割れ目が多く、ハンマーの打撃で潜在割れ目沿いに分離・細片化し易い。																										
87						Cg																														
						Bg	IIIg		2																											
						Cg	Vg	cg																												
						Eg	Vlg	dg	δ																											
						Cg	Vg	cg	2																											
88						Eg	Vlg	dg	ε	3																										
89																																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
														(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	</

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験		原位位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																											
														(N 値)	(N 値～深度) 図																																																						
101			花崗斑岩	緑 灰		Bg		β	2	100.52～101.32m：割れ目沿いの風化・砂状化が進む。岩片も軟質化し、硬さ「C」主体で部分的に硬さ「B」が残留。長石は白濁化する。 100.84～100.89m、 101.23～101.32m：割れ目沿いに砂状化が拡大。径5～10mmの岩片と共に砂礫状を呈する。	CL'																																																										
					Vg	cg		101.32～102.05m：CM ほぼ未風化で、挟在物は分布しない。一部に密着度の低い割れ目が分布している。	CM'																																																												
					Cg		δ																																											3	102.05～104.65m：CL 103.70m以浅では硬さ「B」主体で硬さ「C」「D」も分布。103.70m以深では硬さ「D」で軟質化が進んでいる。102.05～102.41m：約10mm間隔で細かく密着度の低い潜在割れ目が多い。 102.41～102.94m：硬さ「B」の岩片主体。割れ目沿いに幅1～3mm程度で薄く砂状化する。粘土化部は分布しない。	CL'																	
					Bg	IVg	bg																																											β																			
102				Cg		cg	2	104.65～107.15m：CM 105.14～105.19m間を除き、硬質で挟在物は殆んど分布しない。	CM'																																																												
				Bg		bg	γ																						107.15～108.99m：未風化。硬さ「B」の岩片主体。割れ目沿いに幅1～3mm程度で薄く砂状化する。粘土化部は分布しない。	CL'																																							
103				Dg		δ	3	108.99～110.79m：未風化。硬さ「B」の岩片主体。割れ目沿いに幅1～3mm程度で薄く砂状化する。粘土化部は分布しない。	CL'																																																												
				Bg		Vg	β																						2	110.79～112.59m：未風化。硬さ「B」の岩片主体。割れ目沿いに幅1～3mm程度で薄く砂状化する。粘土化部は分布しない。	CL'																																						
104				Dg		γ	3	112.59～114.39m：未風化。硬さ「B」の岩片主体。割れ目沿いに幅1～3mm程度で薄く砂状化する。粘土化部は分布しない。	CL'																																																												
				Bg		IVg	bg																						β	2	114.39～116.19m：未風化。硬さ「B」の岩片主体。割れ目沿いに幅1～3mm程度で薄く砂状化する。粘土化部は分布しない。	CL'																																					
				灰 褐																																																																	

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
														(N 値)	(N 値～深度) 図																				
(m)	(m)	(m)	図	分										(N 値)	0	10	20	30	40	50															
										105.14～105.19m：上下端とも40° の割れ目に囲まれて、硬質な砂状～径2～3mmに細片化する。下端面に白色粘土がフィルム状に付着。区間内全体に径0.5mm以下の微細な黄鉄鉱が点在する。	0 50 100																								
106										105.70～105.83m, 106.68～106.73m：割れ目が交差し、径10～30mmに岩片化する。各割れ目は砂や粘土が付着していないほぼ未風化な面をもつ。	24 100																								
										106.21～106.81m：ゆず割れ目が多くハンマーの強打でも分離・細片化しない。密着度の低いものは開口割れ目化している。	17 100																								
107										107.15～107.62m：CL 割れ目沿いに径3～5mmに細片化する部分があるが、割れ目に砂状～粘土状の挟入物は分布せず。ほぼ未風化な面をもつ。面の一部は緑泥石化変質により淡緑色化するが、粘土は伴わない。	14 100																								
										107.62～115.99m：CM 岩片は硬いが、割れ目が多い。110.10～114.06m間は10～30mm程度の間隔で密着度の低い潜在割れ目も含んでいる。ほぼ未風化で、割れ目に挟入物は殆んど分布しない。108.00～110.10m間は、30～50° の割れ目が主体で、一部は交差して岩片状を呈する。	6 100																								
108										108.57～108.60m：40° の割れ目沿いに幅1mm程度砂状化する。上端面には暗緑色砂がフィルム状に付着。微細な黄鉄鉱を伴っている。	6 100																								
109											5 100																								

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ン ／ ビ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
														(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
										110.40～110.51m：白色化したゆ着割れ目沿いに分離し、開口割れ目化している。	9 (9)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)	
													(N 値)	(N 値～深度) 図												
116				花崗斑岩	緑灰	Bg	IVg	bg	2	115.33～115.70m：暗緑色鉱物（緑泥石）が径1～2mmの斑点状～幅1mmの脈状で分布する。特に前者が多い。	CM'															
					にぶい橙					115.70～116.40m：ペグマタイト。径1～10cm程度の橙色のかり長石、灰白色の長石。石英が多く晶出し、全体の色調が橙色を呈する。																
						Cg	Vg	cg	3	115.99～116.49m：CL 割れ目が細かく分布し、径10～30mm主体に岩片化している。割れ目沿いの多くは幅1～3mmで砂状～細片状化する。116.18～116.37mでは石英の晶出が多く、全体が珪質となる。	CL'															
117										116.49～119.47m：CM 挟在物のない割れ目が多いが、一部で幅1～2mmで砂状化部や粘土部を挟む割れ目も分布する。また、割れ目交差部の一部では径5～10mm程度に細片状化する部分もある。																
				灰褐				β	117.21m：70° の割れ目に幅2mmで硬質な暗緑色鉱物脈（緑泥石）が断続的に分布する。その上端側約10mmは弱く風化し淡褐色化するが劣化は伴わない。																	
118					Bg	IVg	bg		2	118.12～119.10m：30° 前後と70～80° の割れ目が交差し、一部では径5～10mm程度で片状化している。砂状化や粘土化は伴わない。 118.23～118.53m：20～30° のゆ着割れ目が10～20mm間隔で同方向に分布。一部では密着度が低く開口割れ目化している。	CM'															
119	64.10	119.09		アブライト					119.09～120.79m：アブライト 花崗斑岩との境界は漸移的である。																	
					明褐灰	Cg	Vg	cg	γ	119.47m：40° の割れ目に幅1mmの暗緑色粘土脈（緑泥石）を挟む。径0.5mm以下の微細な黄鉄鉱を伴う。 119.47～120.00m：CL 30～40° の割れ目がほぼ同方向に1～3cm間隔で分布する。割れ目沿いに薄く砂状化するものが多い。 119.75～119.88m：幅1mm以下の緑灰～灰白色粘土を脈状に挟むことが多い。	CL'															
				灰褐																						

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (測定月日)	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)					
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																
		-65.30	120.79	ア ブ ラ イ ト		Bg	IVg	bg	2	120.00～120.63m：堅硬 30～50° の割れ目がほぼ同方向に分布する。白い筋状のゆ着割れ目が多いが周囲と同化し、ハンマーの強打でも分離しない。一部で開口化している。割れ目に挟在物は分布しない。 ●120.63～120.65m：破砕部 120.63～120.65m：粘土質礫状部（Hb） 上端12～32° で湾曲して、下端32° で直線的に連続。径2～3mmの石英粒。径3～10mmの岩片を計20%程度含む。やや軟質。オリーブ灰色を呈する。幅15～25mm。 120.65m：粘土状部（Hc-1） 傾斜32° で上下端とも直線的に連続。石英粒。岩片を殆んど含まない。軟質。オリーブ灰色を呈する。幅1～3mm。 120.65～121.03m：CM 堅硬。やや割れ目が多いが挟在物は分布しない。上端側は緑泥石化により緑灰色を呈する。劣化はない。白い筋状のゆ着割れ目は周囲と同化し、ハンマーの強打でも分離しない。 121.03～122.23m：CH 堅硬。割れ目が少なく、柱状～長柱状（コア長20cm以上）コアからなる。径1～3mmの暗緑灰色の緑泥石斑点が多く、全体に緑灰色を帯びる。																					
121						Bg	IIIg		β																						
122				灰 褐 花 崗 斑 岩		Cg			γ	122.23～122.42m：CL 上位より風化がやや進み、岩芯や割れ目の一部が褐色化する。白い筋状のゆ着割れ目もハンマーの打撃で分離・細片化し易いものが多い。 122.30～122.89m：高角度割れ目が連続する。 122.42～122.97m：CM 堅硬であるが、一部でハンマーの打撃で分離し易いゆ着割れ目も含む。割れ目は薄く褐色化するが、挟在物は分布しない。径5～10mmの橙色のカリ長石の斑晶が点在し、白濁化した長石は殆んど分布しない。 122.97～123.41m：CL 堅硬。風化や変質による劣化はないが、割れ目が多く、60～70° の割れ目が同方向に1～5cm間隔で分布する。割れ目に挟在物は殆んど分布しない。																					
123						IVg		bg	2																						
							Vg			123.41～125.38m：CM 一部で密着度の低い割れ目や潜在割れ目が分布し、ハンマーの強打で分離・細片化するものがある。ほぼ未風化・未変質で長石の白濁化は認められない。全体に径1～2mmの暗緑灰色の緑泥石を斑点状に含み全体に緑灰色を帯びる。																					
124						Bg		β																							
		-68.21	124.90	ア ブ ラ イ ト			IVg			124.30m付近は、コアチューブ引上げ時の擾乱によりコアが片状化する。 124.90～129.59m：アブライト 花崗斑岩との境界は漸移的である。																					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(N) 値	(N 値 ~ 深度) 図	標準貫入	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (KN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)		
						Bg	Ⅳg				125.00～125.38m：白い筋状のゆる割れ目が多いが、周囲と同化し、ハンマーの強打でも分離しない。																				
						Cg	Vg	bg	β		125.38～125.70m：CL 密着度が極めて低い割れ目やゆる割れ目が10mm程度の間隔で分布。ハンマーの軽打で分離・細片化する。開口化するものも多い。 125.38m：50° の割れ目沿いが幅10mmで径3～5mmの硬質細片状を呈する。粘土や砂は伴わない。 125.70～126.25m：CM 一部で密着度が低い割れ目やゆる割れ目を含む。割れ目に挟在物は分布しない。																				
						Bg	Ⅳg			2																					
											126.25～127.41m：CL 一部で50～60° の割れ目沿いに径5mm前後で細片化～砂状化する。また、幅1～2mmの緑灰～灰白色の軟質粘土も挟む。硬さ「C」の岩片主体部は灰褐色で残留し、細片化～砂状化部はにぶい橙色で、全体では後者の色調が主体。127.00m以深は挟在物は分布しない。																				
											</																				

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(N) 値	(標準貫入 N値～深度) 図	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)					
	-71.97	130.22		アブライト																												
				明褐灰	Bg	IVg	bg	γ		130.58m : 80° とこれと交差する40～50° の割れ目沿いで幅1～3mmの風化砂を挟む。粘土は伴わない。また、80° の割れ目は交差する一部の割れ目を止めている場合と横断する場合がある。割れ目周囲の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 130.79～131.95m : CL 割れ目沿いに風化が進み砂状化することが多い。また、部分的に幅1mm以下の淡緑灰～灰白色粘土細脈を伴う。	CM'																					
—131				花崗斑岩	にぶい黄橙			δ																								
	-73.08	131.79		アブライト				γ	2	131.79m : 55° の割れ目上端側は幅10～15mmで砂状化する。灰白色粘土細脈も伴う。 131.79～134.23m : アブライト 上端は55° の割れ目、下端は破砕部となっている。 131.95～132.89m : D 風化で硬質な砂状化が拡大し、径5～20mmの岩片を含む砂礫状を呈する。砂状部中には灰白色主体の粘土化部が幅1～2mmの細脈として分布。 131.95～132.18mと132.32～132.41mは硬さ「C」の岩片のみ採取され、風化砂状部は掘削時に流失したものと推定される。 132.41～132.60m : 硬さ「C」の岩片状コア。	D'																					
—132				明褐灰		VIg	cg	δ																								
				アブライト				γ		132.89～133.24m : CL 一部の割れ目沿いは幅1～2mm程度で砂状化の砂を挟む。																						
—133				アブライト				δ		133.15～133.24m : 一部で砂状化が拡大している。 133.24～133.49m : D 砂状化が拡大し、硬質な砂状～砂礫状を呈する。変質は弱い。																						
				アブライト				γ		133.49～133.75m : CL 20～30° と60～70° の割れ目が交差し、割れ目が多くなる。																						
—134	-74.80	134.23		緑灰	Eg	VIg	dg	δ	4	●133.75～133.92m : 破砕部 133.75m : 粘土状部 (Hc-1) 傾斜45° で上下端とも直線的に連続。石英粒や岩片を含まない。軟質。明緑灰色を呈する。幅0.5～1mm。 133.75～133.80m : 粘土質礫状部 (Hb)	CL'																					
				緑灰	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	Eg	VIg	dg	δ	4	上端45° で直線的に、下端35° で波打って連続。粘土化した硬さ「E」や硬さ「D」の岩片を20～30%含む。やや軟質。硬さ「D」岩片中には直線的なせん断面と同方向の割れ目が分布する。緑灰色を呈する。幅30～40mm。 133.80～133.92m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端35°、下端50° でともに波打って連続。大半が粘土化した径5～10mmの岩片で、岩片間は幅1～2mmの灰白～緑灰色軟質粘土が脈状に分布する。上端側が緑灰色、下端側がオリブ灰色を呈する。幅100mm。																						
				明褐灰	Cg	IVg	cg	γ	2	134.15～134.19m : 粘土状部 (Hc-1) 傾斜65° で上下端とも直線的に連続。石英粒、岩片は殆んど含まない。軟質。下端側に径0.5mm以下の黄鉄鉱が点在する。上端側はオリブ灰色、中央部は明オリブ灰色、下端側は暗オリブ灰色で、3色の織状を呈する。幅20mm。 134.19～134.23m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端65° で直線的に、下端はコアが砕けているため不明 (50° の可能性あり)。径5～20mmの岩片状に砕け、その割れ目面には灰緑色粘土が付着する。オリブ灰色を呈する。幅30mm以上。 134.23～134.77m : CL アブライト下端境界の直下部である。割れ目はやや多いが劣化は伴わない。 134.23～134.33m : アブライトと花崗斑岩が混在した岩相を呈する。緑灰色を呈する。 134.77～135.34m : D 土砂状～径10mmの細岩片状部が主体。	D'																					
				花崗斑岩	Eg	VIg	dg	δ	3																							

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記述	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級分区	孔内水位 (m) 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチップ／ビット	給圧 (kN ・ MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)					
(m)	(m)	(m)	図	区分	調	軟	ア形	状態	化	質	事	0 50 100	D'		0 10 20 30 40 50																	
—136—				花崗斑岩	明褐灰	Eg		δ	3	135.34～145.65m：CL 硬さ「C」を主体とした割れ目発達部。 硬さ「B」は135.34～136.50mに小さく分布。一部で密着度の低い潜在割れ目を含む。 136.50～136.64m、137.44～137.60m、139.87～140.04m間は、コア長15cm前後で、割れ目沿いに風化が広がり径5～10mmの岩片を含む砂礫状を呈し、硬さ「E」となる。	3 (0)	100																				
						Vg	cq	γ	2																							
						Bg																										
						Eg	vlg	dq	δ																					3		
						Cg	vlg	cq	γ																					2		
						Eg	vlg	dq	δ																					3		
—137—				花崗斑岩	明褐灰	Cg	vlg	cq	γ	2	136.40m以深は径2～3mmの暗緑灰色の緑泥石斑点が存在する。 136.54m：35° で幅10～15mmのアブライトが含まれ粘土に伴わない。両境界部も含め粘土は伴わない。	3 (0)	100																			
						Eg	vlg	dq	δ	3																						
						Cg	vlg	cq	γ	2																						
						Eg	vlg	dq	δ	3																						
						Cg	vlg	cq	γ	2																						
						Eg	vlg	dq	δ	3																						
—138—	-77.75 -78.40			アブライト	褐灰	Cg	vlg	cq	γ	2	137.44～137.53m：径5～10mmの細礫主体。連続する細粒部は伴わない。 137.53～137.60m：硬質な砂状部を含む。 137.68m以浅はカリ長石が多く、橙色を帯びる。 137.68m以深は緑泥石を多く含み淡緑灰色を帯びる。 137.82～137.97m：弱い変質を受け、やや軟質な砂～細礫状を呈する。 138.00～138.30m：割れ目の一部は砂状化し、幅1～2mmの灰白色粘土を脈状に伴うことがある。	3 (0)	100																			
						Eg	vlg	dq	δ	3																						
						Cg	vlg	cq	γ	2																						
						Eg	vlg	dq	δ	3																						
						Cg	vlg	cq	γ	2																						
						Eg	vlg	dq	δ	3																						
—139—	-78.32 -79.20			花崗斑岩	明褐灰	Eg		δ	3	138.40～139.20m：アブライト上下端とも割れ目で花崗斑岩と境される。 138.75m：80° の割れ目に幅1mmの方解石脈を挟む。 139.67m：75° の割れ目の一部が幅5mm程度砂状化する。 139.87～140.04m：30° と80° の割れ目が大きく交差し、径5～10mmの細礫状～粗粒状に砕ける。粘土は殆んど伴わない。	3 (0)	100																				
						Vg	cq	γ	2																							
						Bg																										
						Eg	vlg	dq	δ																							3
						Cg	vlg	cq	γ																							2
						Eg	vlg	dq	δ																							3

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N) 値	(標準貫入 N 値～深度) 図	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
—151				花崗斑岩	褐灰	Cg	bg	γ	2	150.22～150.52m：上下よりも変質し硬さ「D」に軟質化している。下端の150.52mは48°で幅1～2mmの砂～シルト状の緑泥石脈や微細な黄鉄鉱を伴う。 150.52～152.10m：硬さCで、一部で割れ目沿いに弱く風化するが、割れ目に挟在物は殆んど分布しない。 150.52m以深は径1～3mmの暗緑灰色斑点が点在したり、割れ目の面が緑灰色化するなど緑泥石化が認められるが、粘土化などの劣化はない。	CL'																						
			明褐灰		Dg																												
			褐灰		Vg	cg																											
			褐灰		Cg																												
—152				花崗斑岩		Eg	Vlg	dg	δ	4	CL'																						
						Vlg	cg			●152.10～152.15m：破砕部 152.10～152.11m：粘土混じり礫状部(Hj) 上端45°、下端68°でいずれも直線的に連続。下位のHc-2の粘土と直交する割れ目が多く、径5～10mmに硬さ「D」で岩片化している。にぶい橙色を呈する。幅15mm。 152.11m：礫混じり粘土状部(Hc-2)傾斜68°で上下端とも直線的に連続。径1～2mmの石英粒。岩片を約20%程含む。軟質。暗緑灰色を呈する。幅1mm。 152.11～152.15m：砂・粘土混じり岩片状部(Hj) 上端68°で直線的に、下端55°で波打って連続。径3～5mmの岩片主体（一部径10mm）。岩片間は砂状化～粘土化する。緑灰～明褐灰色を呈する。幅20～50mm。 152.15～153.59m：CL 風化で全体が硬さ「C」で、割れ目が多く、152.51m以深では30～50°程度の互いに交差する割れ目で径10～20mm程度の岩片が主体。割れ目の一部に砂を幅1mm程度挟む。 153.32～153.43m：緑泥石化が進み、一部の割れ目～岩芯は暗緑灰色化する。 153.59～154.53m：D 風化で割れ目沿いに砂状化が拡大。岩片沿いの割れ目は残留する。 153.60～153.76m：緑泥石化が著しい。粘土化は伴わないが、赤褐色の褐鉄鉱や径0.1mmのセリサイトを伴う。 154.00m以深は岩片量が多い。 154.00m以深では硬さ「C」「D」の岩片と硬質な砂状部からなり砂礫状を呈する。																							
			明褐灰		Cg			γ	2																								
			暗緑灰		Vg	cg																											
—154				明褐灰		Eg		δ	3		D'																						
						Vlg	dg			4		●154.53～154.71m：破砕部 154.53～154.58m：粘土質礫状部(Hb) 上端63°、下端36°でいずれも波打って連続。径2～3mmの石英粒、径3～10mmの粘土化～硬さ「D」岩片を20～30%含む。やや軟質。中央の緑灰色粘土は軟質である。上端は明緑灰色、中央部は緑灰色、下端は灰褐色で礫状を呈する。幅40～50mm。 154.58m：粘土状部(Hc-1) 傾斜36°で上端は波打って、下端は直線的に連続。径1～2mmの石英粒をわずかに(5%以内)に含む。軟質。上下端側が褐灰色、中央部が灰赤色で礫状を呈する。幅5mm。 154.58～154.71m：粘土混じり岩片状部(Hj) 上端は36°で直線的、下端は65～70°で湾曲しながら連続。50～70°とこれに斜交する割れ目が多く、径3～5mmに細かく片状化する。岩片間には幅1～3mmの明緑灰～緑灰色の軟質粘土脈が、また、わずかに幅1mmの軟質灰白色粘土脈が分布する。にぶい橙～明緑灰色を呈する。 154.71～155.00m：D 軟質化が著しいが、割れ目は残留する。																					
						Vg	cg			3																							

余白

H24-B14-2

ボーリング柱状図

ボーリングNo. 1

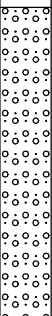
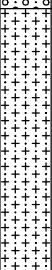
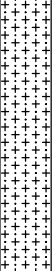
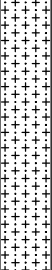
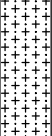
事業・工事名

ボーリング名	H24-B14-2	調査位置	X:355.111, Y:943.360	北緯	35° 45' 15.46"
発注機関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2012 年 7 月 28 日 ~ 2012 年 9 月 17 日	東経	136° 1' 5.76"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	7.06 m	角	180° 上 90° 下 0°	力	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘削長	150.00 m	度	0°	地盤勾配	鉛直 0°
				使用機種	試験機 エンジン
					ハンマー 落下用具 ポンプ

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟調	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 — cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内全断面)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)			
															(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図														
(m)	(m)	(m)	図	分											0 10 20 30 40 50															
1											0.00~6.66m : 盛土 0.00~3.47m : 礫・シルト混じり砂 径5~30mmの角~亜角礫を5~10%程度 含む。砂は粗~細粒砂で少量のシル トを含み不均質である。礫種は花崗 斑岩、安山岩 (玄武岩) 、石英で硬 質。礫に風化礫を含む。礫の分布は 不均質で、少ない部分と多い部分が 認められる。																			
2																														
3																														
4											3.47~3.93m : コンクリート 柱状コアで硬質である。																			
											3.93~4.28m : グリ石 径20~40mmの粘板岩の角礫からなる。																			
											4.28~6.66m : シルト混じり硬質砂 礫~粗粒砂からなる不均質な砂にシル トと礫が混じる。礫は径2~30mmの 亜角礫を主とし、礫率は10~20%程度 、風化礫やクサリ礫を含む。礫種は 花崗斑岩が主で、礫に安山岩礫を含 む。																			

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm)／孔壁保護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 回 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)				
													(N 値)	(N 値～深度) 図														
					明褐 褐灰									0 10 20 30 40 50														
6		2.35 6.66		盛土	明褐				5.23～5.29m：有機物混じり砂を挟む。 砂は中～粗粒砂でシルトや炭化物を含む。全体に若干有機質である。																			
7				礫質砂	褐灰				6.66～8.39m：礫質砂 6.66～6.82m：少量の粗粒砂を含む細粒砂。少量の未分解木片を含む。 6.82～8.08m：細～粗粒砂からなり、7.43m以深ではシルトが混じる。全体に径2～5mmの細礫が混じる。細礫は角～亜角礫を主とする。礫種は花崗斑岩、アブライト、石英からなる。 6.82～7.65m：上部はシルト質、下部は礫質となる。 7.10m付近まで径5～10mm程度の石英の細礫を多く含む。炭化物も礫状に含む。 7.10～8.08m：径5～30mmの風化礫及び半風化礫を含む。 7.30m付近、未分解の植物片を含む。 7.70m付近、炭化物を含む。																			
8		1.13 8.39		砂混じり有機質シルト	灰				8.08～8.39m：砂は石英、長石主体で細～中粒砂。均質であるが、8.30m以深は若干の有機物を含む。																			
9		0.82 8.83		有機物混じり砂	黒褐				8.39～8.83m：砂混じり有機質シルト 8.39～8.53m：径1.5cmの花崗岩類の角礫を含む粗粒砂。8.40～8.45mにかけて縦方向に炭化木片を含む。 8.53～8.83m：傾斜45～50°で有機物及び炭化木片を含む。所々、粗粒砂をブロック状に含む。 8.83m付近に粗粒砂の薄層を挟む。 8.83～9.54m：有機物混じり砂 8.83～9.10m：有機物混じり砂粗粒砂を主とし、石英細礫を5%未満含む。少量の炭化物を含む。 8.90～8.97m：生木を含む。 9.10～9.26m：有機物に富み、一部未分解の繊維が分布する。 9.13～9.15m間は極細粒砂を薄層状に挟む。下部は粒径がやや粗く、砂質シルト～シルト質砂状を呈する。 9.26～9.54m：細粒砂を主とするが不均質で、径0.5～1cmの石英角礫を含み、粘土分を少量～中位で含む。また、炭化物片、未分解繊維も少量含む。 9.54～11.12m：砂礫 径2～50mmの花崗斑岩礫が主体。基質は少量の粘土分を含む粗～中粒砂。 9.54～9.71mに径17cmの玉石を含む。																			
		0.31 9.54		砂礫	黄																							

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)				
															(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図															
11		-0.80	11.12	砂礫	黄 赤褐 黄						10.70～10.72m：細粒砂を薄層状に挟む。傾斜45°程度。	0 50 100			0 10 20 30 40 50																
12		-1.18	11.66	礫混じり砂	灰白						11.12～12.04m：礫混じり砂 径2～5mmの石英の角礫を5～10%程度含む。砂は粗～細粒砂が主で、少量のシルト分を含む。 11.40～11.42m：幅10mmの灰白色シルトを挟む。 11.53～11.55m：幅15mmの灰白色シルトを挟む。 11.66～11.79m：スライム 黄褐色のシルト混じり粗粒砂からなる。	0 50 100																			
		-1.28	11.79	コア欠知 礫混じり砂																											
13		-1.45	12.04	有 機 物 混 じ り 砂	灰						12.04～12.69m：有機物混じり砂 細～中砂を主とし、部分的に有機物混じりシルト質となる。有機物は傾斜20～30°を呈する。 12.13m付近、有機質シルトの薄層を挟む。 12.37～12.41m：厚さ4cmの有機質シルトを挟む。	0 50 100																			
		-1.91	12.69	有 機 物 混 じ り 砂	オリーブ黒						12.65～12.67m：有機質シルトを薄層状に挟む。 12.69～13.09m：有機物混じり砂質シルト シルト～中粒砂からなり、全体に有機物が混じる。 12.70～12.73m：有機質シルトを薄層状に挟む。 12.76～12.85m：径2～4cmの花崗斑岩の垂角礫を含む。 12.85～13.09m：砂混じり粘土で、下部は砂質粘土状である。 13.00m付近まで有機物を多く含むが、下部は少なくなる。 13.09～13.80m：シルト混じり砂 細砂を主とする砂に全体にシルトが混じる。	0 50 100																			
14		-2.20	13.09	有 機 物 混 じ り 砂	灰						13.17～13.60mはシルト～粘土分を含み、13.60～13.80mは均質な細～極細粒砂からなる。 13.40m付近、径5～7mmの石英礫を約5%含む。 13.80～16.24m：砂礫 径2～40mm（最大径330mm）の垂角～垂円礫を主とし、所々、径40～70mmの円～垂円礫を含む。礫種は花崗斑岩が主体で、礫率50～70%程度。基質はシルト混じりの不均質な砂からなる。半クサリ礫と硬質礫の割合は同程度である。	0 50 100																			
		-2.70	13.80	シルト混じり砂	褐 浅黄																										
14				砂礫	暗褐							0 50 100																			

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コ ア長 ← cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)			
														(N) 値																		
16	4.42	16.24		砂 礫	暗 褐					15.08～15.17m：花崗斑岩の玉石を含む。 15.42～15.50m：風化花崗斑岩の玉石を含む。 15.70～16.00m：花崗斑岩の岩塊を含む。 16.24m：砂礫と花崗斑岩の境界は密着しており、傾斜45°程度を示す。																						
17				花 崗 斑 岩	褐 灰					16.24～60.65m：花崗斑岩 斑晶は径3～8mmの石英、長石を主とし、 径2～5mmの黒雲母を含む。石基は 優白色である。 16.24～18.68m：強風化・変質部で、 全体に変質が認められ、コアは淡く 赤色を帯びた灰白色を呈する。局所 的にやや硬い所があるが、全体的に 針貫入可能である。 16.24～16.94m：傾斜30～50°の割れ 目跡が1～3cm間隔で発達する。白色 細粒物をフィルム状～幅1mmで挟む。 下位に比べて原岩組織を残す。 16.94～18.04m：割れ目が不明瞭とな る。																						
18				花 崗 斑 岩	灰 白	Eg	dg	δ		17.30～17.58m：原岩組織が不明瞭で、 指圧で砂混じりシルト状に崩せる。																						
19				花 崗 斑 岩	明 褐 灰	Dg	cg	γ	3	18.04～18.68m：割れ目沿いの変質が 著しく、硬質部を径5～20mmの礫状に 残す。軟質部は針貫入可能である。 傾斜50～70°及び90°程度の割れ目 跡に白色細粒物をフィルム状～幅1mm で挟む。 18.33～18.37m：強く変質する。上端 40°、下端は不明瞭である。																						
19				花 崗 斑 岩	灰 白	Eg	dg	δ	4	18.68～19.89m：変質が著しく、割れ 目と原岩組織が不明瞭である。全体 に指圧で変形するほど軟質である。 19.00～19.25m、19.55～19.89m：網 目状の変質粘土は淡黄褐色を呈する。 19.19～19.50m：傾斜75°で湾曲して、 幅1～2mmのシルト・砂混じり粘土 脈が分布し、粘土脈に沿って幅2cmが 灰白～淡黄褐色を呈する。																						
						Dg			3	19.89～20.29m：2～10mm程度の間隔 で網目状に割れ目が発達し、変質粘 土をフィルム状～幅1mmで挟む。岩片 はやや軟質である。																						

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (KN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)								
														(N) 値	(N値～深度) 図																			
26					明褐灰				2		0 50 100				0 10 20 30 40 50																			
27					褐灰					25.88～26.62m：土砂～礫状を呈する。 岩片は径5～15mm程度のもが多く、 25.88～26.12m間は径5～50mmのものを主体とする。基質はシルト混じり中粒砂で、不規則にマンガンに汚染されている。指圧で変形するほど軟質である。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																			
28					花崗斑岩					26.62～27.62m：5～15mm間隔で網目状に割れ目が発達し、割れ目沿いは土砂～細片状を呈する。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																			
29					にぶい黄橙				2	27.28～27.62m：上位に比べて割れ目沿いの岩質劣化は弱く、径1～3cmの岩片状を呈する。 27.47～27.62m：傾斜60～65°の割れ目が1.5～3.5cm間隔で発達する。 27.62m：傾斜65°で幅1～2mmの黄灰色砂混じりシルトを不連続に挟む。シルトの周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 27.62～27.97m：網状に割れ目が密集し、コアはやや脆弱となる。 27.92～28.21m：傾斜60～75°の密着割れ目が2～10mm間隔で発達するほか、傾斜20～25°の割れ目が12cm間隔で発達する。後者の割れ目はマンガン汚染を伴う。 28.21～28.50m：2～10mm間隔で微細な割れ目が発達し、全体に劣化する。 28.36～28.45m：傾斜30°程度の微細な割れ目が1～10mm間隔で発達する。 28.45～28.50m：上端55°、下端50°で原岩組織が不明瞭となる。 ●28.50～28.66m：破碎部 28.50～28.51m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端50°、下端50°。径5mm以下の岩片を10%程度含む。黄灰色を呈する。幅1～1.5mm。 28.51～28.53m：粘土混じり礫状部 (Hj) 上端50°で直線的に、下端40°で波打って連続。径10mm以下の岩片主体で岩片間に幅1～2mmの黄灰色粘土を伴う。にぶい黄橙色を呈する。幅23～30mm。 28.53～28.66m：粘土混じり角礫状部 (Hj) 上端40°で波打って連続。下端は不明瞭。径5～20mmの岩片からなり、細粒部が分布する。にぶい黄橙色を呈する。幅120mm。 28.66～28.71m：土砂状を呈する。 28.71～29.45m：傾斜40°及び60°の割れ目が2～6cm間隔で発達、交錯し、岩片状を呈する。割れ目面にはしばしばマンガンを伴う。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																			
					灰褐					29.16～29.45m：風化・変質が進み、脆弱である。 29.45～29.91m：原岩組織と割れ目は不明瞭となる。針貫入可能で指圧で容易に崩せる。 29.76～29.81m：硬質部を礫状に含む。 29.81～29.97m：マンガン汚染が拡がる。 29.91～30.21m：傾斜40～55°の割れ目が0.2～2cm間隔で発達し、割れ目沿いに原岩組織が不明瞭になるところもある。コアは全体に褐色を帯びる。	0 50 100				0 10 20 30 40 50																			

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入 (試験)	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチップ ／ ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)				
31				花崗斑岩 明褐色	Cg	Vg	cg	δ	3	30.13m：傾斜30° で幅1mmの黄灰色砂混じり粘土を挟む。上端側に幅10～15mmの細片状部を伴う。 30.21～32.40m：傾斜40～50° の割れ目が3～15cm間隔で発達し、割れ目沿いに黄褐色化、酸化汚染が認められる。 30.28～30.44m：長さ16cmの柱状コアである。 30.62～30.72m：傾斜40° 程度の割れ目が3～10cm間隔で発達し、上下位と比べてやや岩質劣化する。	0	50	100			0	10	20	30	40	50											
					Bg	IVg	bg					16																				
					Vg	cg						16																				
					Cg	IVg																										
									γ																							
					IIIg	bg						13																				
					IVg							13																				
					IIIg																											
					IVg																											
					Cg	Vg	cg	δ			2		15																			
					Bg	IVg	bg	γ					16																			
					Cg	Vg	cg	δ																								
				Bg	IVg	bg	γ				9																					
				Cg	Vg						16																					
				Bg	IVg						16																					
				Cg	Vg	cg	δ																									
				Bg	IVg	bg	γ																									
																		</														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位(ｍ)／測定月日	(N) 値	(標準貫入 N 値～深度) 試験 図	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(㎝／時)	孔径(㎜)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (圧 (㎏ ン ・ MPa)) (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)			
— 36			花崗斑岩	明褐色灰	B _g	Ⅲ _g	γ	2		35.14～35.74m：割れ目が不規則網目状に発達し、風化・変質により岩質が劣化する。全体に黄色味を帯びる。35.20～35.50m：不規則に劣化部が分布し、コアは砂礫～細片状を呈する。	0 50 100	CM'			0 10 20 30 40 50													
				灰白	D _g	V _g	cg	δ	3		35.59m：傾斜50°で幅1～3mmの黄褐～黄灰色粘土混じり砂を挟む。下端側にマンガン汚染が目立つ。35.64～35.91m：密着した網状割れ目に沿って酸化汚染が広がる。35.88～36.09m：密着割れ目沿いの酸化汚染が認められる。	9 100																
					明褐色灰							36.09～36.43m：傾斜40～50°の割れ目が5～10cm間隔で発達する。																
						IV _g							36.43～37.52m：傾斜50°程度の割れ目の他、不規則に割れ目が分布し、礫～細片状を呈する。割れ目面は黄褐色化する。コア採取時に軟質細粒物を流失している。	9 100	CL'													
— 37						C _g	V _g	bg	γ	2			37.20m：岩片に灰白色シルトが付着する。															
				にふい黄橙							37.52～37.89m：割れ目間の岩質劣化が進行し、コアは礫状～細片状を呈する。マサ状部では割れ目や原岩組織がやや不明瞭となる。	9 100																
					D _g	C _g	cg	3				37.89～38.10m：割れ目が幅1cm間隔で網状に発達し、割れ目沿いに酸化汚染が広がる。割れ目の多くは密着するが、ハンマーの軽打で分離する。●38.10～38.27m：破碎部																
— 38					E _g	VI _g	dg	4				粘土混じり礫状部 (Hj) 上端40°、下端50°とともに波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、下部ほどシルト～粘土分を多く含む。38.10～38.19mは灰白色、38.19～38.27mは淡黄灰色を呈する。幅110mm程度。38.10mにはフィルム状の暗緑灰色の細粒部を伴う。	4 100															
					浅黄橙	D _g	V _g	cg	δ	3		38.27～38.67m：微細に網目状割れ目が発達し、割れ目沿いに酸化・マンガン汚染が広がる。38.67～39.21m：全体に割れ目や原岩組織がやや不明瞭であるが、割れ目跡は残る。白～淡赤灰色粘土が不規則に分布する。全体に軟質で針貫入可能であるが、一部に硬質礫を残す。	4 100	D'														
— 39				E _g		VI _g	dg	4																				
			明褐色灰	D _g		V _g		3			39.21～41.29m：傾斜30～50°の割れ目と不規則な割れ目が発達する。割れ目沿いに岩質劣化し、岩片状を主とし、一部にやや硬質部を塊状に残す。割れ目の多くにフィルム状の白～黄褐色シルトを挟む。	5 100	CL'															
				C _g	IV _g	cg	γ				39.21～40.13m：割れ目面の多くは黄褐色化する。																	
					D _g	V _g	δ	2																				

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 送 水 圧 (kN・ r pm MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)			
														(N 値)	(N 値～深度) 図														
— 41				花崗斑岩	明褐灰	Bg		γ 2	δ 3	40.25～40.31m: 変質部。上端40°、 下端50°で斜交する。石英粒の粗砂 ～細礫を含む灰白色粘土質砂状を呈 する。上下位のコアは幅10～20mmで オリブ灰色を呈する。	5 [4]	CL'																	
			Dg			Vg	og																						
— 42						Bg	IVg	γ 2	δ 3	41.29～42.13m: 上下位と比べて風化 ・変質の程度が弱く、コア表面が滑 らかである。傾斜30～50°の割れ目 が1～10cm間隔で発達し、細片～短柱 状を呈する。	19 [10]	CM'																	
			Cg			Vg																							
						Bg	IVg	bg		42.13～42.71m: 風化・変質の影響を 強く受け、コアは軟質となる。特に、 42.37～42.47m間は上下端傾斜45°の 割れ目で壊され、原岩組織や割れ目 が消滅する。含まれる際に定向配列 は見られない。	5 [4]																		
						Cg	Vg	og																					
— 43				花崗斑岩	にぶい褐	Eg	IVg	dg	δ 3	43.00～43.51m: 不規則に岩芯まで風 化・変質が進行し、コアは褐灰～オ リーブ灰色を帯びる。	4 [0]	CL'																	
						Cg	Vg		γ 2																				
				花崗斑岩	灰黄褐	Dg			δ 3	43.51～43.81m: 強く風化・変質し、 一部に硬さ「D」の岩片を残すが、多 くは針貫入可能である。上端には傾 斜50°で幅8～10mmの明赤灰色の砂混 じりシルトが分布する。	4 [0]	CL'																	
						Cg	IVg	og																					
— 44				花崗斑岩	にぶい褐	Eg			δ 3	43.81～44.08m: 上位と比べて風化・ 変質の程度は弱い。傾斜80°以上の 割れ目に沿って土砂化するほか、 網状に割れ目が発達し、コアは脆弱 である。	9 [0]	CL'																	
						Dg	Vg																						
				花崗斑岩	褐灰	Cg	IVg	bg	δ 3	44.08～44.25m: 傾斜15°程度の割れ 目が2～3cm間隔で発達するほか、傾 斜80°以上の割れ目が分布し、細片 状を呈する。割れ目沿いに多少岩質 劣化するが、岩片は硬質である。下 端の傾斜52°の割れ目には幅4mmで明 褐色の砂・細礫混じり粘土を挟み、 周囲には白雲母が晶出する。	9 [0]	CL'																	
						Dg	Vg	og																					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
46				花崗斑岩	褐灰	Eg	VIg	dg	δ	3	45.00～45.20m：風化・変質を強く受け、割れ目や原岩組織の一部が不明瞭となる。	CL'																				
			Bg			IVg		γ	2	45.20～45.90m：傾斜50～60° の割れ目が2～10cm間隔で発達し、岩片状～柱状を呈する。割れ目には黄褐色土状物質を挟むことが多い。	12 (12)		100																			
			Cg							45.90～47.37m：風化・変質をやや強く受け、一部の割れ目や原岩組織はやや不明瞭となる。全体に1～3cm間隔で網状の割れ目が発達する。ほとんどの割れ目に灰白～黄褐色の変質粘土を挟む。 46.07m：傾斜35° で幅12mmの明黄褐色シルト質砂を挟む。 46.10～46.17m：マンガン汚染し、割れ目や原岩組織は不明瞭である。コアは硬い。 46.20m：傾斜83° で幅1～6mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。	3 (0)		100																			
47			Dg				cg	δ	3	46.74m以深は変質の程度がやや弱く、上位と比べて割れ目間隔が広がる。																						
										46.74m以深は変質の程度がやや弱く、上位と比べて割れ目間隔が広がる。																						
			Cg			IVg				47.03m：傾斜34° で幅3mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。																						
										47.03m：傾斜34° で幅3mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。																						
										47.03m：傾斜34° で幅3mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。																						
			Dg			VIg	dg			●47.37～47.40m：破砕部 粘土混じり礫状部 (Hj) 上端40°、下端45° でともに凹凸して連続。径2～5mm程度の岩片主体である。下端付近に幅1～3mmの暗灰色粘土を挟む。灰白～褐色を呈する。幅20～25mm。	5 (0)		100																			
										47.40～49.24m：全体に変質し、シルト混じり砂礫状を呈する。岩片は硬質であるが、網目状に灰白色の粘土～シルトが分布し、全体として脆弱である。																						
48								Dg	VIg	cg	γ		3	47.53m：傾斜50° で幅3mmの灰白色変質粘土を挟む。 47.70～48.87m：傾斜80～90° の割れ目沿いに著しく変質し、粘土～土砂化する。 48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。	CL'																	
										47.53m：傾斜50° で幅3mmの灰白色変質粘土を挟む。 47.70～48.87m：傾斜80～90° の割れ目沿いに著しく変質し、粘土～土砂化する。 48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。	2 (0)		100																			
			Eg	VIg	dg			48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
			Dg					48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
								48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
			Eg	VIg	dg			48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
								48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
								48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
								48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
								48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
								48.09m：傾斜72° で幅3～5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。 48.09～48.86m：網状に変質粘土脈が発達し、粘土質砂礫～細片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。																								
49						Dg			2		●49.24～49.55m：破砕部 49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。	CL'																				
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。	2 (0)	100																						
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 上端20° で凹凸する。下端35°、上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15～25mm。 49.26～49.42m：粘土混じり砂礫状部 (Hj) 上端35° で直線的に連続。下端50° で波打って連続。径2～10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細脈が傾斜40～60° で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。																								
								49.24～49.26m：礫混じり粘土状部 (Hc-2)<																								

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ビ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)		
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図													
		28.65	50.50	花崗斑岩	褐灰	Cg	Vg	cg	γ	2		QL'																
51		29.31	51.43	コア欠如						50.50～51.43m : コア欠如																		
52				花崗斑岩	褐灰	Dg	Vg	cg	γ	3	51.43～52.36m : 傾斜55～75° の割れ目が0.3～2cm間隔で発達し、細片～岩片状を呈する。全体にやや変質し、長石類は緑灰色化し、灰色を帯びる。 51.89～51.92m : 傾斜40° で幅17mmの緑灰色シルト・細礫混じり砂を挟む。																	
53				花崗斑岩	明褐灰	Dg	IVg	cg	γ	2	52.36～52.92m : 傾斜25～50° の割れ目が0.5～5cm間隔で発達する。 52.50～52.52m : 傾斜20° で幅10～20mmの暗灰色の礫混じり粘土を挟む。 スライムの可能性が高い。	QL'																
54				花崗斑岩	褐灰	Eg	VIg	dg	δ	3	52.92～53.33m : 上位と比べて風化・変質が進み、軟質である。特に52.92～53.13m間は割れ目や原岩組織が不明瞭である。 53.33～53.35m : 上下端15° 程度で幅20～25mmの変質部。上部は幅5～15mmの粘土質砂礫状、下部は幅5～15mmの砂・細礫混じり粘土状を呈する。いずれも灰白色で、粘土状部は網目状に分布し、上端境界・下端境界は不明瞭である。原岩組織が認められ、せん断構造・変形構造は認められない。																	
				花崗斑岩	褐灰	Bg	IVg	bg	β	2	53.35～53.82m : 傾斜25° 及び45° の割れ目が5～20mm間隔で交錯し、細片状を呈する。全体に変質し、ほぼ全ての割れ目にフィルム状の白色粘土を挟む。 53.82～54.48m : 傾斜30～50° 及び80° の密着割れ目が3～5cm間隔で発達する。割れ目沿いの酸化汚染は軽微である。	CM'																
				明赤灰		Cg			γ		54.48～55.40m : 上位に比べて割れ目沿いの褐色化が見られる。微細な割れ目も発達する。特に55.10～55.17mは微細な割れ目が密集し亀甲状を呈する。割れ目に沿って風化が進む。																	

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コ	ア	採取率	岩級	孔内	標準貫入	試験	原	室	掘	掘	孔	コ	給	回	送	送	排
尺	高	度	状	区	調	軟	形	目	化	質	事	取	取	率	級	内	値	図	置	内	進	進	径	ア	給	回	送	送	排
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	形	目	化	質	事	取	取	率	級	内	値	図	置	内	進	進	径	ア	給	回	送	送	排
56																													
57																													
58																													
59																													

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)			
														(N) 値	(深度)													
				花崗斑岩	赤灰	Cg		γ	2		0 50 100				0 10 20 30 40 50													
		35, 83 60, 65								60, 65～150, 00m : アブライト	3 [0]																	
61					明黄褐	Eg		δ	4	●60, 85～61, 12m : 破砕部 粘土混じり角礫状部 (H) 上端40° , 下端50° ともに直線的 に連続。径5～30mmの硬さ「C」の角 礫からなる。明黄褐～緑灰色を呈す る。 61, 12～63, 47m : 傾斜30～40° 及び70° の割れ目と、これらに斜交する微 細な割れ目が見られ、一部亀甲状を 呈する。連続する割れ目は全て酸化 汚染を受け、褐色化する。岩芯には 新鮮部が見られる。割れ目沿いに細 片化、一部で細粒化する。	3 [0]																	
								cg			3 [0]																	
								Vg				OL'																
62								Cg		γ																		
									2		5 [0]																	
63					褐灰	Dg		δ		62, 97～63, 09m : 割れ目が密集し脆弱 である。下端には傾斜45° で幅1～2m の緑灰色粘土を挟む。	1 [0]																	
								Cg		γ																		
								Bg		β	1 [20]																	
64								IVg	bg			CM'																
										64, 15～64, 82m : 傾斜40～50° の割れ 目が3～10cm間隔で分布し、これらと 平行もしくは斜交する潜在割れ目 が発達する。潜在割れ目は容易には分 離しないが、ハンマーの打診でやや 鈍い音を発する。 64, 26～64, 51m : 上端45° , 下端60° 程度で境されて変質が進む。	10 [10]																	
								Cg		γ																		
								Vg		2		OL'																
										64, 82～65, 32m : 傾斜30～45° と70° の割れ目が1～3cm間隔で発達する。 低角度割れ目沿いに変質し、白雲母 を伴う。																		

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m)／ 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ rpm MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
															(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
66				ア ブ ラ イト	褐 灰	Cg	vlg	bg	γ	2		0	50	100			0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コア チ ュー ブ ／ピット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							Vg				0 50 100				0 10 20 30 40 50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
71										70.03~70.33m: 割れ目が多く、それに沿って割れるため原岩組織は不明瞭となる。全体に灰白色粘土細脈が分布し、やや軟質となる。一部は指圧で崩せる。 70.03~70.14m: マンガンが濃集する。 70.16m: 傾斜70°の割れ目を確が横断する。割れ目には挟在物が認められない。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められる。 70.33~70.88m: 傾斜40°程度の割れ目が卓越し、0.5~4cm間隔で発達する。割れ目が密集するところでは変質がやや進む。 70.88~71.05m: 上位と比べて風化・変質し、軟質化する。 70.88~70.93m: 上端はコア昇降により不明。下端は傾斜45°で変質で指圧で変形するほど軟質化し、網目状粘土が発達するが、原岩組織は認められる。 71.32~71.79m: 上下位に比べて変質が進み、コアの表面は粗い。	OL'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平 載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)						
														(N 値)	(N 値～深度) 図																	
76							Bg IVg bg	γ		75.24～75.91m: 傾斜40° 及び75° 程度 の割れ目が発達し、それらと斜交 する潜在割れ目が分布する。割れ目 及び潜在割れ目沿いに岩質劣化し、 上下位と比べてやや脆弱である。 75.35m: 傾斜35° の割れ目沿いに幅8 ～20mmが土砂状を呈する。コア採取 時に細粒分を一部流失する。	0 50 100 14 [14] 100				0 10 20 30 40 50																	
77							IVg IIIg IVg IIIg			75.91～77.91m: 傾斜40～60° の割れ 目が5～20cm間隔で分布し、割れ目沿 いに脱色する。割れ目面はオリブ 灰色を呈し、白雲母を伴う。わずかに 黄鉄鉱も付着する。 76.27m以深は、潜在割れ目が少なく なる。 76.65m: 傾斜50° で幅3～5mmの石英 脈を挟む。	0 50 100 14 [38] 100	CM'																				
78							Bg IIg Vg IVg Vg IVg	β	2	77.38m: 傾斜40° の割れ目に黄鉄鉱が 濃集して晶出する。 77.91～78.25m: 傾斜40～60° の他、 不規則な高角度割れ目が発達し、細 片状を呈する。割れ目沿いに細片化 や脱色が認められる。 78.25～79.14m: 傾斜20～40° の割れ 目が2～10cm間隔で発達する。割れ目 面は褐色化もしくは緑灰色化し、多 くの割れ目に白雲母を伴う。割れ目 沿いに細粒化し、一部流失している ため割れ目のかみ合せが悪い。	0 50 100 20 [53] 100	CH'																				
79							Vg IVg Vg IVg Cg Vg cg Dg			79.14～79.79m: 傾斜40～50° の割れ 目が1～3cm間隔で発達する。割れ目 沿いに脱色・細粒化が進む。コア採 取時に細粒物を流失する。 79.42m: 傾斜20° で幅5～10mmの灰色 の石英脈を挟む。 79.64～79.79m: 割れ目沿いの褐色化 が目立つ。 79.77m: 傾斜40° , 幅8mmで灰白～暗 褐色のシルト質砂状に変質するが、 硬質である。 79.79～82.13m: 傾斜40～50° の割れ 目が3～8cm間隔で分布する。割れ目 面の一部はオリブ灰色を呈し、白 雲母を伴う。割れ目沿いに脱色する。	0 50 100 10 [10] 100 3 [0] 100	CL' CM' CL'																				
							Bg IVg bg	2				CM'																				

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図		原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ラ ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm) ／ 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)							
														(N 値)	(図)																	
81							IVg			80.63～81.47m：傾斜70° 以上の高角割れ目が発達する。割れ目は凹凸し、風化・変質、挟在物は認められない。		CM'																				
82							Bg IIg bg β 2			81.25m：傾斜40° の割れ目に幅1～2mmで黄鉄鉱が付着する。 81.40～81.76m：傾斜30～50° の割れ目が交錯し、コアは一部細片状を呈する。割れ目沿いに細片化し、コアのかみ合せが悪い。 81.60m：傾斜50° で幅2～5mmの石英脈を挟む。																						
83							IIIg IVg IIg			81.99m：傾斜45° で幅1mmの石英脈を挟む。 82.13～83.59m：上位と比べて割れ目が少ない。傾斜40～50° の割れ目が分布する。割れ目は緑灰～オリーブ灰色を呈し、白雲母、黄鉄鉱の付着が認められる。割れ目及び潜在割れ目沿いに脱色する。 82.33m、82.36m：傾斜40° で幅1～2mmの石英脈を挟む。		CH'																				
84							IIIg IVg Cg Vg cg γ 3			82.88～83.03m：傾斜30～40° の割れ目が密集し、割れ目沿いの一部で細片化する。白雲母、黄鉄鉱の付着が目立つ。 83.59～83.88m：傾斜30～50° の割れ目が4～10cm間隔で発達し、不規則な高角度の潜在割れ目が分布する。上位と同様に割れ目沿いの脱色が認められるが、より明確に認識できる。 83.88～84.54m：上位より割れ目が少なく、傾斜45° の割れ目を主とする。 84.16～84.45m：傾斜70° 以上の高角度割れ目が認められるが、連続性が悪い。 84.54m：傾斜45° の割れ目面に柱状の石英の微晶が晶出する。 84.54～85.14m：割れ目が多くなり、割れ目沿いに細片～細粒化する。 84.83m：傾斜40° の割れ目にフィルム～幅1mmの方解石脈を伴う。 84.83～85.06m：割れ目間隔1～2cm程度と密になり、上下位と比べて変質が進み、やや軟質となる。 84.91～84.94m：傾斜45° で幅25mm程度の変質し、灰白色粘土が網目状に分布する。		QL'																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)																	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質				(N 値)	0	10	20	30	40	50																										
— 86						Cg	Vg	cg	γ	3	85.06～89.74m：傾斜30～40°の割れ目が5～30cm間隔で分布し、長柱状を主体とする。 85.14～85.64m：割れ目面の裏質は認められない。 85.28m：傾斜35°で幅1.5mmの石英脈を挟む。	OL'																																		
		85.59～86.28m：傾斜60～70°の密着割れ目が発達し、それに沿って脱色する。一部は開口し、細片化を伴う。									30																					100 [66]														
		85.96～87.52m：傾斜80°以上で湾曲する割れ目が複数分布する。割れ目沿いに細片化～細粒化する。86.58～87.00m間は岩質劣化部を伴う。																															34	100 [59]												
		86.50～86.58m：高角度割れ目面に柱状の石英が晶出する。																																												
— 87										ア ブ ラ イト			Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																												
		88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。															22																				100 [63]									
		88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																				17	100 [42]							
		89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																												
— 88																			Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																						
		88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。																					22																					100 [63]		
		88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																											17	100 [42]
		89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																												
— 89						Bg	bg	β	2													87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
		88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。																				22																					100 [63]			
		88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																										17	100 [42]	
		89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																												
												Bg	bg	β	2							87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
																		Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
						Bg	bg	β													2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
												Bg	bg	β							2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
																		Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
						Bg	bg	β													2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
												Bg	bg	β							2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
																		Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
						Bg	bg	β													2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
												Bg	bg	β							2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
																		Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
						Bg	bg	β													2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
												Bg	bg	β							2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
																		Bg	bg	β	2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.73m：傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	GH'																							
	88.22m：傾斜43°の割れ目は暗オリブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。 88.22～88.30m：微細な有色鉱物を多く含み、コアは暗色を帯びる。	22																				100 [63]																								
	88.90～89.09m：傾斜45°程度の割れ目が0.5～3cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。 89.09m、89.42m、89.55m：傾斜43～50°の割れ目に径0.3～0.5mmの石英が晶出する。割れ目面は緑灰色化する。																																									17	100 [42]			
	89.74～90.56m：傾斜35～55°の割れ目が2～6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。																																													
						Bg	bg	β													2	87.61m以深、傾斜40～60°の割れ目が多くなる。 87.61～88.31m：傾斜40～60°の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリブ灰色を帯びる。 87.																								

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)				
														(N 値)	(0	10	20	30												40	50		
— 91									β 2	90.08～90.56m：傾斜45° 程度の割れ目が多く、岩片状を呈する。																							
		IV _E								1) (11)																							
		V _E																															
		IV _E								9 (4)																							
— 92		B _g bg								CM'																						16 (47)	
		III _E																															
— 93																																	9 (9)
		IV _E																															
— 94					7 (9)																												
		C _g V _E CG	OL'																														
		B _g IV _E bg																															

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)			
														(N) 値	(N 値 ~ 深度)	(N 値 ~ 深度)	(N 値 ~ 深度)															
101								Bg	Vg	Bg	2																					
								Dg	Vg	Dg	3																					
								Bg	IVg	Bg	2																					
								Dg	Vg	Dg	3																					
102								Dg	Vg	Dg	3																					
								Cg	Vg	Bg	2																					
								Eg	Vg	Dg	4																					
									Vg																							
103								Bg		Bg	2																					
									IVg																							
								Cg		Cg																						
								Dg		Dg	3																					
104								Cg																								
									Vg																							
								Cg																								
									Bg		2																					
										Bg																						
									IVg																							
								Bg																								
									Vg																							

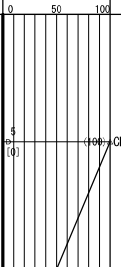
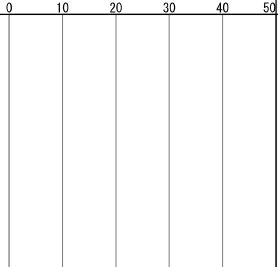
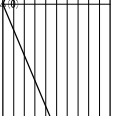
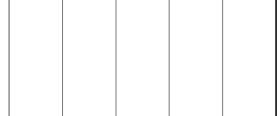
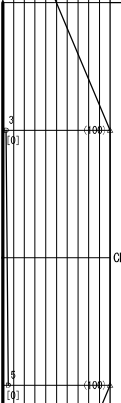
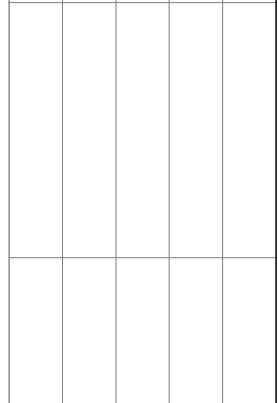
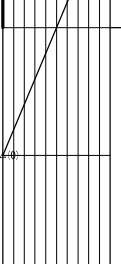
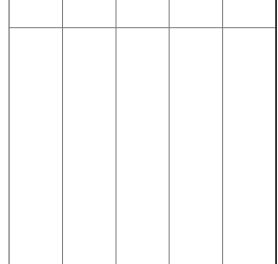
標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ rpm MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																								
											最大コア長 R Q D [%]			(N 値) (N 値～深度) 図																																				
106				褐 灰		Bg	Vg	bg	2		0				0	10	20	30	40	50																														
						Eg	Vlg	dg			4																		7	100																				
								bg			2																																							
						Bg	Vg				3																																							
107				ア ブ ラ イ ト			Vg		β		0				0	10	20	30	40	50																														
								cg			2																		4	100																				
						Dg	Vlg	dg			3																																							
						Bg					2																																							
108				明 褐 灰		Dg	Vg				0				0	10	20	30	40	50																														
								cg			2																																							
											3																																							
						Bg					2																																							
109				明 緑 灰			Vlg				0				0	10	20	30	40	50																														
											3																																							
						Eg	Vlg	dg			4																																							
						Dg	Vg	cg			3																																							
				明 褐 灰							0				0	10	20	30	40	50																														
											2																																							
											3																																							
											2																																							

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測定月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 回 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)				
											最大コア長 R Q D [%]			(N 値～深度) 図																		
											0 50 100 ← (%) → cm R Q D [%]				0 10 20 30 40 50																	
—111			* *<																													

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コア チ ュー プ ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)
116					B _g				115.24～115.52m：割れ目が密集し、主に糜状を呈する。	7 [0]	CL'												
					C _g																		
					V _g				116.04m：傾斜45°で幅1～2mmの灰色粘土を挟む。	9 [0]													
117					IV _g				117.00～117.30m：径5～10mmの橙色のかり長石、淡緑灰色の長石の斑晶が目立つ。	10 [10]	CM'												
					V _g	bg	β	2	117.37～117.58m：割れ目が多く、岩片状～糜状を呈する。 117.48m：傾斜45°、幅2～4mmで黄鉄鉱が晶出する。緑泥石、方解石を伴う。	7 [0]													
118					B _g	IV _g			117.95～125.10m：割れ目が多く、岩片状～細礫状を呈する。	7 [0]													
					V _g				118.83～118.92m：主に細礫状を呈する。	7 [0]	CL'												
119									119.32m：傾斜20°で幅1mmの灰白色粘土を挟む。	7 [0]													

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN ・ MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
														(N) 値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				ア ブ ラ イ ト		褐 灰	Bg			120.30～122.00m：傾斜10～40° と60～80° の割れ目が交差し、径1～3cmに岩片化する。 120.50m：傾斜72° で幅0.5mmの淡緑灰色粘土を挟む。	4 (0)	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	硬軟状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ ／ ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
															(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				ア ブ ソ リ ッ ト	褐 灰	Vg	bg	β	2		125.30m・35° と125.65m・30° の各割れ目面と割れ目周辺幅2～3cmが変質により暗緑色化する。後者の割れ目面には幅0.5mm以下の暗緑色粘土を挟み、若干の黄鉄鉱が晶出する。	CL'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平 載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ラ ／ ピ ット	給 回 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)						
														(N 値)	(N 値～深度) 図																
131	85.57	131.00		ア ブ ラ イト	褐 灰	Bg	Vg	bg	β	2	130.16m：傾斜35°の割れ目の一部が褐色に風化するが、劣化は伴わない。 130.16m以下では、径2～3mmの長石の一部が白濁化する。 130.50～130.54m：傾斜45°の割れ目沿いに暗緑色化する。粘土化はないが、幅1～3mmの石英脈を伴う。																				
132	86.28	132.00		コ ア 欠 如						131.00～132.00m：コア欠如																					
133	87.69	134.00		ア ブ ラ イト	灰 褐	Bg	Vg	bg	β	2	132.00～133.46m：割れ目と低密着割れ目が1～3cm程度の間隔で密に分布し、径1～3cm程度に岩片化した部分を多く含む。変質と風化による劣化はないが、133.46mの傾斜10°の割れ目には幅1mm程度の暗緑色粘土を挟む。 132.00～132.65mと133.10～133.30mは、径1～2cmの岩片状を呈する。 133.57～134.00m：割れ目沿いに長さ5mm前後の繊維状を呈する部分が多い。隙に粘土は付着しない。																				
134	88.40	135.00		コ ア 欠 如						134.00～135.00m：コア欠如																					

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原 位 置 試 験 (孔内水平 載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 回 送 水 圧 (kN・ r pm MPa)	送 水 量 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)					
														(N 値)	(0	10	20	30											40	50			
				ア ブ ラ イ ト	灰 褐	B _g	V _g	b _g	β	2	135.00～135.50m：傾斜10～30°の割れ目が1～2cm間隔で分布し、岩片状を呈する。割れ目に粘土付着や粘土脈の挟入はない。	CL'			0	10	20	30	40	50													
		88.75	135.50												2 (0)	100																	
136		89.11	136.00	コ ア 欠 如						135.50～136.00m：コア欠如																							
		89.46	136.50	ア ブ ラ イ ト	灰 褐	B _g	V _g	b _g	β	2	136.00～136.30m：径1～2cm程度の岩片状を呈する。岩片に粘土は付着しない。	CL'																					
		89.46	136.50			D _g	V _g	d _g		3	136.30～136.50m：スライムを多く含む。				3 (0)	100																	
		89.64	136.75	コ ア 欠 如						136.50～136.75m：コア欠如。部分的に粘土状のものを含む。																							
137										136.75～137.08m：径1～2cmの岩片からなる。																							
						C _g			CG	3	137.08～138.42m：全体に緑泥石化により緑色を帯びている。概ね1～3cm間隔で傾斜10～30°の割れ目と、これと斜交する傾斜40～50°の割れ目が発達する。微小の黄鉄鉱が晶出する。上記の両割れ目系の交差部の一部や、137.67～137.73mの傾斜45～50°の割れ目沿いでは、径1cm前後の礫状を呈し、暗緑色粘土が付着する場合があるが、礫の回転や移動は見られず、定向配列もしていない。				4 (0)	100																	
138				ア ブ ラ イ ト	灰 褐	D _g	V _g		β	4	138.21～138.42m：実質した割れ目密集部で原岩組織は認められる。割れ目には暗緑色鉱物が付着し、全体に緑色を帯びる。 138.38～138.42m：上位に比べて軟質で硬さ「E」となり、細粒化する。脈状の粘土は伴わない。 138.42～140.04m：傾斜50～60°と、これと斜交する30°程度の割れ目が発達する。 138.63～138.66m：上下位に比べて軟質で硬さ「E」となり、緑色を帯び細粒化する。脈状の粘土は伴わない。	CL'			5 (0)	100																	
139						B _g		b _g																									
						C _g			CG	2	139.21～139.50m：弱く実質し、割れ目沿いに緑色を帯びる。				4 (0)	100																	
						B _g		b _g																									

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コ ア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)
														(N 値)	(N 値～深度) 図										
141			* *<																						

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ ／ ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
															(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				アブライト	赤灰					2	145.46～146.17m：上位に比べて割れ目が多くなり、割れ目沿いの細片化が見られる。145.70～145.90m間には微細な割れ目も見られるが、連続性に乏しい。 146.17～146.71m：上位に比べて割れ目が少なくなり、割れ目沿いの劣化は軽微で、一部の割れ目沿いに細片化が見られる。 146.71～147.13m：上位に比べて割れ目が多く、微細な割れ目が亀甲状を呈する。 146.90m：割れ目沿いに変質し、割れ目周縁幅3cmが暗緑色を呈する。 147.13m：割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い、割れ目周縁は暗緑色を呈する。下縁側147.20m付近までが脱色し、硬さ「D」に軟質化する。この間、微細な割れ目が発達する。 147.13～149.30m：赤色を帯びる。傾斜50～70°の割れ目が卓越し、微細な割れ目が発達し、亀甲状を呈する。割れ目沿いの細片化、細粒化が見られる。 149.30～149.63m：割れ目沿いの細片化、細粒化が見られ、一部やや硬質部が残存するが、上下位に比べて軟質である。 149.63～150.00m：軽微な変質を受け、緑色を帯びる。上位に比べて硬質である。微細な割れ目が見られる。149.80～149.85m：傾斜40°、幅40mmで変質し、暗緑色の熱水変質脈を不規則に伴い、暗緑色を帯びる。上下位に比べて軟質で硬さ「D」となる。周囲の硬岩部との境界は明瞭である。	0 10 20 30 40 50	CM'	CL'	CM'	CL'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

余白

H24—D1—3

[illegible]

事業・工事名

ボーリング名	H24-D1-3	調査位置	X:257.570 , Y:898.500			北緯	35° 45' 12.41"		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	2013 年 5 月 14 日 ~ 2013 年 6 月 5 日		東経	136° 1' 3.72"	
調査業者名			主任技師	現代理人		コ 鑑 定 者	ボーリング責任者		
孔口標高	6.90 m	角	100° 上	方	北 0° 270° 西	地盤勾配	鉛直	使用機種	試錐機
総掘削長	60.00 m	度	下	向	180° 東	鉛直	水平	エンジン	ハンマー 落下用具 ポンプ

[illegible]

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入 (試験)	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)					
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	化	質	事	0 50 100				0 10 20 30 40 50																	
		-0.50 -0.52	10.47 10.50	コア大知	花崗斑岩	Eg	Vg	dg	δ	2		D'																				
11				明褐灰						10.47～10.50m：スライム 凝混じり砂質シルトからなる。	1 (0)																					
				花崗斑岩		Vg	dg			10.77～12.00m：著しく軟質化するが 割れ目の大半は残留する。また、 原岩組織も明瞭である。割れ目は傾 斜40～60°と、これと斜交～直交す る50～70°の2系統が見られ、割れ目 とその周辺が風化で砂状化する部分 もある。割れ目の一部はマンガン鉱 染を受け黒褐色化する。粘土脈は殆 んど挟まない。																						
					Eg			δ	2		1 (0)	D'																				
12		-1.59 -1.68	12.00 12.13	コア大知						11.90m：傾斜45°の消滅しかかった 割れ目沿いに断片的に緑泥石化によ り緑灰色化する。 12.00～12.13m：スライム シルト質砂からなる。 12.13～13.03m：原岩組織や割れ目 の大半は残留するが、コア全体が著 しく軟質化する。傾斜30～40°の割 れ目と低密着割れ目主体で、一部で60 ～70°の割れ目と斜交する。各割れ 目沿いは砂状化する。一部はマンガ ン鉱染を受け黒褐色化が著しい。粘 土化部はないが、12.13～12.17mは幅 1～3mmの緑灰色粘土が網状に分布し、 12.17m以深は割れ目の一部に幅1mm前 後の粘土脈を挟む。いずれも軟質な 粘土である。 12.57～12.61m：上端45°、下 端35°で緑泥石化により緑灰色を呈す る。 中央部に幅1～2mmの軟質な淡緑灰色 粘土を伴う。 13.03～13.32m：やや硬質で割れ目 はマンガン鉱染を受ける。	2 (0)																					
13				にぶい黄橙		Eg	Vg	dg		3		D'																				
					Cg	Vg	cg		2																							
					Eg	Vg	dg		3																							
14				花崗斑岩		Dg	IVg	cg	δ	2	6 (0)	CL'																				
				にぶい橙		Eg				上端60°、下 端55°でとも に直線的で シャープに連 続。径5～10 mmの粘土化 した岩片主 体で、岩片間 の基質（砂 主体）はマン ガン鉱染で黒 色化する。浅 黄色を呈す る。幅20～30 mm。 13.98～14.00 m：粘土状部 （Ho-1）上 端55°、下 端60°でとも に直線的で シャープに連 続。径1mm前 後の石英粒 を含む。軟質 。浅黄色を呈 する。幅10mm。 14.00～14.03 m：粘土混じ り岩片状部 （H）上端60° で直線的に シャープに連 続。径1mmの 石英粒と径5 mm前後の花 崗斑岩の岩片 を多く含む。 硬質。浅黄色 を呈する。幅 20mm。 14.03～14.06 m：粘土状部 （Ho-1）上 端55°、下 端60°で直 線的に連続。 軟質。浅黄色 を呈する。幅 10～15mm。 14.06～14.41 m：原岩組織 は残留するが 、割れ目は大 半が消滅する 。残存する1 4.30mの傾斜 60°の割れ目 のほか、岩片 間を縫うよう に幅1～2mm の軟質な白～ 明黄褐色粘土 が分布する。 ●14.41～14.52 m：破砕部 14.41～14.47 m：粘土混じ り岩片状部 （H）上端40° 、下端60°で ともに直線的 でシャープに 連続。大半が 粘土化する。 灰白～にぶい 橙色を呈する 。幅20～30mm。 14.47～14.48 m：凝混じり 粘土状部（Ho-2） 上端60°で直 線的にシャープ に、下端60° で波打って連 続。径1～2mm の石英粒、径 2～3mmや長さ 5～10mm、幅 2～3mmの偏 平な花崗斑岩 の礫を含む。 軟質。灰白色 を呈する。幅 15～18mm。 14.48～14.52 m：粘土混じ り岩片状部 （H）上端60° 、下端60°で ともに直線的 でシャープに連 続。約60°の 割れ目沿いに 幅1～2mmの 軟質な灰白色 粘土脈を挟む 風化岩片から なる。明黄褐 色を呈する。幅 20mm。 14.52～22.47 m：比較的割 れ目が少ない 。16.48～20.08 mと21.75～22.47 m間は風化が 弱い。これを 除く区間は やや風化が進 み軟質化する 。全区間で 粘土化や粘土 脈の分布は少 なく、変質は 弱い。割れ目 は傾斜10～40° が主体で、部 分的にこれに 交差する60～ 80°の割れ目 や低密着割れ 目が認められ る。	12 (2)																					
										上端55°、下 端60°で直 線的に連続。 軟質。浅黄色 を呈する。幅 10～15mm。 14.06～14.41 m：原岩組織 は残留するが 、割れ目は大 半が消滅する 。残存する1 4.30mの傾斜 60°の割れ目 のほか、岩片 間を縫うよう に幅1～2mm の軟質な白～ 明黄褐色粘土 が分布する。 ●14.41～14.52 m：破砕部 14.41～14.47 m：粘土混じ り岩片状部 （H）上端40° 、下端60°で ともに直線的 でシャープに 連続。大半が 粘土化する。 灰白～にぶい 橙色を呈する 。幅20～30mm。 14.47～14.48 m：凝混じり 粘土状部（Ho-2） 上端60°で直 線的にシャープ に、下端60° で波打って連 続。径1～2mm の石英粒、径 2～3mmや長さ 5～10mm、幅 2～3mmの偏 平な花崗斑岩 の礫を含む。 軟質。灰白色 を呈する。幅 15～18mm。 14.48～14.52 m：粘土混じ り岩片状部 （H）上端60° 、下端60°で ともに直線的 でシャープに連 続。約60°の 割れ目沿いに 幅1～2mmの 軟質な灰白色 粘土脈を挟む 風化岩片から なる。明黄褐 色を呈する。幅 20mm。 14.52～22.47 m：比較的割 れ目が少ない 。16.48～20.08 mと21.75～22.47 m間は風化が 弱い。これを 除く区間は やや風化が進 み軟質化する 。全区間で 粘土化や粘土 脈の分布は少 なく、変質は 弱い。割れ目 は傾斜10～40° が主体で、部 分的にこれに 交差する60～ 80°の割れ目 や低密着割れ 目が認められ る。																						

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm／時)	掘 進 速 度 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ラ ／ ピ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
															(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
														(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
						Cg									0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	掘 進 速 度 (mm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コ ア チ ュー ブ ／ ピ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)			
													(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)														
31				花崗斑岩	にぶい黄橙				30, 24m：傾斜60° で幅2mmの褐色の硬質な粘土を断片的に挟む。上端側幅5mmにマンガン濃染部を伴う。	4 (0)	CL'																				
32					明褐灰	Dg	Vg	cg	2	30, 74mの傾斜80～85° で湾曲した割れ目と30, 85mの傾斜55° の割れ目で囲まれた部分は周囲より風化が進み砂状化する。 30, 85m：傾斜55° の割れ目は風化でにぶい黄橙色の幅1～2mmの軟質粘土脈を挟む。	4 (0)																				
33				花崗斑岩	にぶい黄橙			δ	32, 30m：傾斜60° の割れ目は幅1mmのにぶい黄橙色の軟質粘土脈を挟み、交差する傾斜30° の割れ目を止めている。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 32, 63m：傾斜55° の割れ目は幅1～2mmの褐色の軟質粘土脈を挟むが、不連続である。これと直交する傾斜45° の割れ目を止めている。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められる。 32, 63～33, 30m：割れ目は残留する。 33, 00～33, 30m：割れ目、低密着割れ目に沿ってマンガン鉱染で黒褐色化する。	7 (0)																					
34						Eg			Vg	dg	33, 30～34, 23m：原岩組織と割れ目はほぼ消滅する。全体に傾斜40～50° で幅1～2mmの軟質のにぶい黄橙色粘土脈が分布する。 33, 40～34, 23m：傾斜40～50° の割れ目及び低密着割れ目の一部がわずかに残留し、その一部は幅1～2mmで軟質のにぶい黄橙色の粘土脈を挟むことが多い。 33, 91m：傾斜32° で幅2～8mmの径1～2mmの石英粒や径5mmの風化～粘土化した岩片を含むやや硬質な灰黄色粘土脈が分布する。	2 (0)	0'																		
				明褐灰	Dg	Vg	cg	3	34, 17～34, 23m：マンガン鉱染を受け黒褐色化する。 ●34, 23～34, 52m：破碎部 34, 23～34, 39m：粘土混じり岩片状部(H) 上端50°、下端55° でともに直線的でシャープに連続。径5～10mmの粘土化～硬さDの岩片と岩片間を幅1～2mmの灰黄色の軟質粘土が網状に分布する。岩片はマンガン鉱染により黒褐色化する。灰黄～灰黄褐色を呈する。また、34, 30mには傾斜30° で幅1～2mmのやや軟質な灰黄色粘土脈を伴うせん断面がある。	1 (0)	CL'																				
									34, 39～34, 40m：粘土状部(Hc-1)傾斜55° で直線的にシャープに連続する。径1mmの石英粒を含む。軟質。白色～灰黄色を呈する。幅5～7mm。 34, 40～34, 52m：粘土混じり岩片状部(H) 上端55°、下端55° でともに直線的でシャープに連続。径5～10mmの硬さDないし粘土化した岩片が主体である。岩片は岩組織が消えている。岩片間の一部に幅0.5～1mmの軟質な粘土が分布する。岩片はマンガン鉱染により黒褐色化する。全体に灰黄褐色を呈する。 34, 52～35, 81m：傾斜30～60° の割れ目、低密着割れ目が多い。35, 14～35, 27mでは傾斜40° 前後の割れ目が10～20mm間隔で平行に分布し、マンガン鉱染を受け、黒褐色化する。各割れ目には幅1～3mmの軟質な白色～灰黄色粘土脈を挟むことが多い。 34, 60m：傾斜60° で幅1～2mmの灰白色粘土を挟む。 34, 80～34, 95m：マンガンや灰白色粘土が網目状に分布する。																						

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)							
														(N 値～深度) 図																						
						D _G	V _G			3					0	10	20	30	40	50																
36				花崗斑岩	明褐色		IV _G		γ	35.81～36.53m：一部、硬質部も含み、全体がやや硬質である。傾斜40～60°の割れ目が主体で、一部で薄く砂状化するが、粘土脈は挟まない。																										
						V _G						36.53～36.82m：傾斜60～70°の割れ目、低密着割れ目が1～3cm間隔で分布し、コアは岩片状となる。 36.67m：傾斜50°の割れ目の上端側は幅5～10mmで緑泥石化により淡緑灰色化するが、粘土は伴わない。径0.5mm以下の微細な白雲母や金属鉱物が晶出する。 36.82～44.01m：傾斜40～60°の割れ目を主体とする。一部でこれらに斜交～直交する60～80°の割れ目が分布する。38.34～38.74mでは割れ目沿いに風化で褐色化が進むが、軟質化は伴わない。全体にやや硬質で、一部で硬質部を伴う。粘土化や粘土脈は幅1～2mmの軟質ないし硬質の白色～風化して明黄褐色粘土を伴うが、分布は少ない。																								
37							c _G					37.69m：傾斜80°の割れ目は、37.77m付近で傾斜45°で幅1mmの石英脈を止めている。割れ目には幅1mm以下の不連続な黄褐色粘土を挟む。割れ目周辺の岩盤は褐色化しているが、原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。																								
38							C _G	IV _G				38.34～38.41m：傾斜45°の割れ目が5～30mm間隔で平行に分布し岩片化する。38.38～38.41mでは傾斜40°の割れ目沿いに幅1～2mmの軟質な灰白色粘土脈を挟み、粘土脈間縁数mmが淡緑灰色化する。 38.41～38.72m：傾斜40°の割れ目周辺が風化～褐色化する。																								
39									γ	39.53m：傾斜40°で幅1～2mmの石英脈が母岩に密着して連続する。 39.82m：傾斜45°で幅5mmの軟質な灰白色粘土脈を挟む。周縁幅数mmは褐色化が顕著である。																										
						V _G																														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
41				花崗斑岩	明燧灰	VG	γ	2	40.61m: 傾斜45° の割れ目の下端側の一部は幅5mmで緑泥石化により淡緑灰色化し、幅2mmの石英脈を伴う。 40.87~44.01m: 傾斜40~50° の割れ目がほぼ平行に3~10cm間隔で規則的に分布する。割れ目面は薄く褐色化するのみで砂状化は伴わない。一部で幅1mm以下の軟質粘土脈を挟むが、分布は少ない。 40.92m・55° ~40.95m・60° は一部砂状化し、幅0.5mmの軟質な白色粘土を挟む。 41.40m・45° 、 41.57m・50° の割れ目は、いずれもほぼ直交する傾斜55° の割れ目を止めている。いずれの割れ目にも挟み物は見られず、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 41.50~44.30m: 一部の割れ目と割れ目沿いにマンガン鉱染が見られ、薄く黒褐色化するが、劣化は伴わない。 42.04m: 傾斜58° で幅2mmの石英脈が母岩に密着して連続する。 42.08m・50° 、 42.12m・40° の各割れ目に幅2mmの灰白色の硬質な粘土脈、幅2mmのいり黄褐色の軟質な粘土脈をそれぞれ挟む。 42.19m: 傾斜20° で幅1~2mmの石英脈が母岩に密着して分布する。 43.08m: 傾斜45° で幅8~10mmが緑泥石化により淡緑灰色化する。粘土化などの劣化は伴わない。 43.14m: 傾斜50° で幅1~2mmの軟質な灰黄色粘土脈を挟む。 43.60m・60° と43.61m・60° の割れ目に囲まれ、径2~5mmに細片~砂状化する。上端側の割れ目の一部に幅1mmの灰黄色の硬質な粘土が付着する。 44.01~44.29m: 軟質化し、割れ目の一部は薄く砂状化する。44.12m及び44.14mの傾斜50° の割れ目に幅2mmで風化し黄褐色を呈する粘土脈を挟む。 44.29~47.37m: 傾斜40~60° の割れ目が主体で平行に分布する。一部ではこれらに斜交する傾斜60~80° の割れ目も分布する。上記割れ目と同系統の低密着割れ目も多く分布する。割れ目の一部はごく薄く砂状化した。粘土脈を挟むが、いずれも分布は少ない。ただし、46.53~46.60mは硬質粘土化部で軟質である。 44.49m: 傾斜50° の割れ目は一部珪化と緑泥石化による淡緑灰色化を伴う。また、径0.5mm以下の微細な白雲母が晶出する。 44.91m: 傾斜52° で幅2~3mmの軟質な明黄褐色粘土を挟む。	7 (7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(ｍ) 測定月日	(N 値)	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)								
	51			明褐灰		Cg	Vg	cg		2	50.09～50.47m：傾斜50～55° の割れ目に幅1～3mmで褐色の砂状化が見られる。																								
						Bg	IVg	bg		γ	50.76～51.24m：堅硬である。傾斜50～60° の割れ目主体で、50.91mに傾斜55° で幅2mmの風化砂状化部が見られる以外は割れ目の挟在物はない。 50.87m：傾斜45° で幅2～3mmの石英脈を挟む。																								
						Cg	Vg	cg		3	51.24～52.13m：硬質な岩片も含むが、全体的にはやや硬質主体である。互いに直交する傾斜40～60° の割れ目、低密着割れ目が分布し、一部でこれら両者と交差する傾斜70～80° の割れ目も分布する。割れ目の一部は風化で砂状化したり、幅1～2mmの軟質な明黄褐色の粘土脈が数箇所分布する。 51.74m：傾斜40° で幅5mmの軟質な橙色粘土が直線的に連続する。下端側幅5～8mmは緑泥石化により淡緑灰色化する。 51.93～52.13m：やや硬質～やや軟質で径10mm前後に細片化し、岩片間の一部に幅0.5～1mmの軟質粘土が付着する。 ●52.13～52.28m：破砕部 52.13m：粘土状部 (Hc-I) 傾斜50° で幅4～5mmの軟質なにぶい橙色粘土で、径1mm前後の石英粒を含む。 52.13～52.16m：粘土質礫状部 (Hb) 上端50° で直線的にシャープに、下端46° で一部不明瞭で波打ちながら連続。径1～2mmの石英粒、径3～5mmの花崗斑岩の岩片を含む。含まれる粘土は灰白色を呈する。全体は灰褐色を呈する。幅5～20mmと膨縮する。 52.16～52.28m：粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端46°、下端60° でともに一部不明瞭で波打って連続。径5～10mmの粘土化～硬さ「D」ないし「E」の岩片が主体で、岩片間を軟質な灰白色粘土脈が網状に分布する。52.20m以降では、マンガン鉱染で黒褐色化部が多いため、粘土の存否が不明な区間がある。明褐灰～黒褐色を呈する。 52.28～52.51m：径5～30mmの硬さ「D」ないし「C」の角礫と硬質な砂状の基質からなる割れ目密着部で岩片化する。割れ目にマンガンが充填する。基質の一部に灰白色の軟質粘土が付着することがあるが、ごくわずかで ある。原岩組織が明瞭に認められ、角礫の移動や回転は見られない。 52.51m：傾斜48° の割れ目の上端側幅15～20mmは緑泥石化により淡緑灰色化する。 52.51～52.60m：上端48°、下端58° の割れ目で囲まれ、全体が著しく軟質化する。粘土化は殆んど伴わない。 52.60～52.85m：径10～30mmの硬さ「C」ないし「D」の岩片からなる割れ目密着部で岩片化する。上位に比べ砂状の基質は殆んど分布しない。粘土化はないが、岩片の一部は砂状化する。原岩組織が明瞭に認められ、角礫の移動や回転は見られない。 52.72m：傾斜45° の割れ目は多数の交差する割れ目を止めている。割れ目には挟在物が認められない。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 52.85～52.93m：上下端45° の割れ目で囲まれ、全体が著しく軟質化する。一部は硬さ「D」が残留する。傾斜45～50° の連続性が乏しく短い低密着割れ目の一部に幅1～4mmの白～にぶい橙色の軟質粘土が付着する。 52.93～53.29m：傾斜40～50° と70～75° の割れ目と低密着割れ目が分布する。割れ目沿いの一部は薄く砂状化する。 53.29～53.50m：互いに交差する傾斜50～70° の割れ目や低密着割れ目が分布する。割れ目の一部には幅1mm前後の灰白～風化による黄褐色の軟質粘土が付着する。岩片は硬さ「C」～「D」である。 53.50～53.62m：著しく軟質化し、灰白色の軟質粘土脈が幅1～3mmで網状に分布する。 53.62～54.20m：傾斜40～50° の割れ目がほぼ平行に分布する。割れ目に粘土脈は挟まないが、一部で薄く砂状化～径2～3mmの礫状化部を挟む。礫に定向配列は見られない。 54.20m：傾斜45° で幅3～6mmの粘土～シルト質の砂～礫を挟む。 54.20～55.18m：互いにほぼ直交する傾斜50～60° の割れ目が主体で、54.83mの傾斜50° の割れ目が幅2mmが風化で砂状化する以外は割れ目に砂状化部や粘土脈を挟まない。比較的割れ目は少ない。																								
						Dg																													
				花崗斑岩		Eg	VIg	dg		δ																									
						Cg	Vg	cg		2																									
						IVg			γ																										
						Dg	Vg																												
				にぶい褐		Eg	VIg	dg		δ																									
						Dg	Vg	cg		3																									
						Cg																													
						Bg	IVg	bg	γ	2																									
				灰褐																															

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m) ／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コア チップ／ビット ($\text{kN} \cdot \text{MPa}$)	給 水 圧 (rpm)	回 転 数 (MPa)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 ($\text{L} / \text{分}$)	排 水 量 ($\text{L} / \text{分}$)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
															(N) 値	(N 値～深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
56				花崗斑岩	灰褐	Bg	IVg	bg	γ	2	55.18～56.71m：傾斜40～60° の割れ目とこれらに斜交～直交する傾斜40～50° の割れ目が主体で、55.53m以浅では風化で割れ目沿いが砂状化することが多いが、以深では砂状化は少なくなる。粘土脈は分布しない。55.49m・55° と55.53m・48° の両割れ目に囲まれた部分は緑泥石化により淡緑灰色化し、各割れ目沿いに幅1mmが風化で褐色化した砂を挟む。また、断片的に幅1mmの黄褐色軟質粘土も付着する。	0	50	100	CM'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

余白

H24—D1—2

ボーリング柱状図

事業・工事名

ボーリングNo. 1

ボーリング名	H24-D1-2	調査位置	X:277.490, Y:897.401	北緯	35° 45' 12.77"
発注機関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2013 年 3 月 16 日 ~ 2013 年 4 月 4 日	東経	136° 1' 4.38"
調査業者名		主任技師		現代人	コアダテ
ボーリング責任者		コアダテ		ハンマー	ポンプ
孔口標高	6.95 m	角	180° 上 90° 下 0°	万向	270° 北 0° 東 90° 南 180° 西
総掘削長	33.00 m	度	0°	地盤勾配	鉛直 0°
使用機種	試錐機	エンジン			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 →(%) 最大コア長 →cm R Q D L(%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	() 試験		原位置試験(孔内水平断面)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチップ／ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(L／分)	排水量(L／分)		
														(N値～深度)	() 図													
					黒					0.00～6.81m：盛土 0.00～0.31m：礫 最大径30mmの黒色の細粒砂岩。泥岩片からなる。 0.31～2.84m：砂礫 最大径30×60mmの角礫であるが、径10mm以下の細礫～粗砂を主体とする。粒度は不均質であるが、細粒分は極少量であり、ルーズである。礫は花崗岩。アブライト主体であるが、まれに黒色泥岩を含む。					0	10	20	30	40	50								
1					黄褐						(100)+																	
2					盛土						(100)+																	
3					明黄褐					2.84～6.81m：シルト質砂礫 最大径160mmの花崗岩礫が主体で、アブライト礫も見られる。シルト分を含み、上位層よりやや締まりが良い。 3.30～3.45m：泥岩層が混じる。																		
4										3.82m：径40mmのモルタル片を含む。																		
					にんじや黄					4.35m：径50mmの炭質物片を含む。																		

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (KN・MPa) (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)			
										0 50 100			0 10 20 30 40 50													
6		1.05 6.81		盛土	にぶい黄																					
7						VG			6.81～33.00m 花崗斑岩 斑晶は径2～10mmの石英と長石からなる。深度10.58m以浅の長石は白濁化している。21.12m以深は所々、アプライトに近い岩相を呈する。 6.81～10.58m：傾斜40～60° の割れ目と低密着割れ目が主体で、一部で、これらに斜交～直交する40～60° 割れ目が分布する。割れ目の一部は風化で薄く砂状化する部分や、軟質な白色粘土を挟むものもある。 7.10m、8.11m：傾斜45～60° で幅0.5～2mmの白色軟質粘土脈を挟む。																	
8				花崗斑岩	にぶい橙	Dg VG	cg	δ	2																	
9						IVg			8.56m：傾斜55° の割れ目沿いに幅2～3mmが淡緑色化し、微細な白雲母が晶出する。 8.89m：傾斜55° の割れ目は幅1mm以下の不連続な白色軟質粘土を伴う。上端側にはマンガン鉱染で黒色化した幅2mmの砂を伴う。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 9.06m：傾斜52° で幅1mmの石英脈が母岩に密着して分布する。石英脈が横断するカリ長石は石英脈を挟んでズレていない。粘土の挟みは見られない。石英脈の周辺岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 9.54～9.61m：傾斜40° と60° の割れ目に挟まれた区間にマンガン汚染が顕著に見られる。 9.77m：傾斜50° の割れ目に酸化汚染が見られる。																	
						VG																				
						IVg																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m) / 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ピット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
11																										

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
				花崗斑岩	にぶい橙	Dg	IVg		2	15, 10m・65° の割れ目は長石斑晶を横断し、15, 28m・55° の割れ目は石英斑晶を横断する。両者ともズレは認められない。また、これらの割れ目を横断する割れ目が見られる。両者とも挟在物は認められず、割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 15, 47m以深では、割れ目沿いに幅1～2mmで風化により褐色化する。																								
16																																		
17							cg			16, 12m：傾斜60° の割れ目沿いに微かな金属鉱物が晶出する。 16, 24～17, 66m：コア全体が著しく軟質化するが、17, 46m以浅では原岩組織と割れ目は残留する。割れ目の一部は、マンガン鉱染を受け、黒褐色化する。 16, 54m：傾斜50° の割れ目と交差する割れ目は止まっている。割れ目に挟在物は見られないが、幅1mm程度が風化で褐色に砂状化する。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。																								
18						Eg			3	17, 05～17, 30m：径5～10mmの大型化した長石斑晶が多い。長石は全て粘土化で白濁化する。 17, 46～17, 66m：径10～20mm前後に細片化する。																								
19						VIg	dg	δ		17, 66～19, 78m：上位に比べて割れ目が少なくなり、傾斜30～60° の割れ目を主体とする。割れ目の一部は薄く砂状化したり、粘土脈を挟むものがある。 18, 10m：傾斜40° の割れ目に幅1～2mmのマンガンを挟む。 18, 21m：傾斜58° の割れ目沿いに幅1～2mmが風化で褐色化し砂状を呈する。割れ目周辺に微細な白雲母が晶出する。 18, 41m：傾斜50° で幅1mmの白色粘土を挟む。																								
						Dg	IVg		2	18, 77m：傾斜55° の割れ目は幅2mmの連続性に乏しい軟質な灰黄色粘土を挟む。この割れ目で止まっている割れ目と横断する割れ目が見られる。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 18, 97m：傾斜58° の割れ目沿いがマンガン鉱染で黒褐色化する。 19, 01～19, 21m：風化残留部でやや硬質である。 19, 23m及び19, 30mの傾斜62° の割れ目沿いは幅2～15mmで砂状～細片状化する。若干の粘土も含む。この間、マンガン汚染により黒色化している。 19, 57～19, 61m：傾斜50°、幅2, 5mm程度で軟質化する。下端側は幅10mmでマンガン汚染が顕著に見られる。 ●19, 78～19, 87m：破砕部																								
						cg				粘土混じり礫状部 (Hj) 上端53°、下端63°とともに直線的でシャープに連続する。径1～3mmの石英粒と径5mm前後の粘土化した花崗斑岩の岩片を含む。やや硬質。淡黄褐色を呈する。幅10～50mmと膨縮する。																								
						Dg	VIg	dg	4	19, 82mに幅1mm以下の灰白色粘土を直線的に挟在する。																								
						Dg	VIg	cg	2	19, 87～20, 59m：傾斜60° の割れ目がほぼ平行に分布し、一部に幅1～2mmの軟質な白色粘土脈を挟む。																								

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(N 値)	(標準貫入 N 値～深度) 図	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 送 水 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
				花崗斑岩	に ふ い 橙	Dg	Vg				25.22～26.84m：一部の割れ目では、割れ目沿いに薄く軟質化するが、概ねやや硬質で割れ目は少ない。一部の割れ目には、幅0.5～1mmの軟質な白色粘土脈を挟む。	CL'																						
26						Cg	IIIg	cg						19 [45]	CM'																			
27						Dg	Vg							15 [25]																				
						IVg	bg	γ 2						8 [9]	CL'																			
						Vg																												
28						IVg					28.42～28.46m：上端65°、下端55°の割れ目に囲まれて径5mm前後に細片化する。下端には幅2mmの風化で褐色化した軟質な粘土脈を伴い、幅5mm前後の淡緑色化が見られる。割れ目沿いに白雲母が晶出する。 28.73～30.20m：やや硬質で、傾斜40～60°の割れ目が主体であるが、割れ目は少ない。風化は弱く、割れ目の面がごく薄く褐色化する程度で、砂状部は29.05mの傾斜60°の割れ目に幅2mmで分布するのみである。緑色化が見られる。粘土脈や粘土化部は分布しない。 29.32～29.33m：傾斜30°、幅10～12mmで径2～5mmのカリ長石、石英が脈状に分布する。 29.45m：傾斜55°と60°の割れ目沿いはマンガン鉱染で径2～3mm程度の斑点状に黒色化する。	CL'																						
				Vg								15 [15]																						
				IVg																														
				Cg	Vg	cg																												
				IIIg																														
29						IVg																												
						IIIg	bg					24 [60]	CM'																					

[illegible]

H24—D1—4

[illegible]

事業・工事名

ボーリング名	H24-D1-4		調査位置	X:277.640 , Y:897.400			北緯	35° 45' 12.77"			
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 5 月 13 日 ~ 2013 年 6 月 10 日		東経	136° 1' 4.38"		
調査業者名			主任技師			現代理人			ボーリング責任者		
孔口標高	6.95 m	角上		方		地盤勾配		使用機種	試験機	ハンマー 落下用具	
総掘削長	70.00 m	度下		向		船置		エンジン		ポンプ	

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(N 値)	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (rpm) 圧 (kN・MPa)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)							
										0 50 100				0 10 20 30 40 50																	
		6							5.60～7.62m：礫混じり粗砂 上位に比べて礫量が減少する。上位よりルーズとなる。礫は径5～10mmの花崗斑岩の半クサリ礫が主体で、一部クサリ礫を含む。 6.00～6.45m：径10mm前後の硬質な礫が主体となり、礫量が多い。礫率は50%程度で上下に比べて締っている。 6.36～6.42m：明赤灰色の軟質な粘土が不規則な形で分布する。浅部ないし深部側への連続性はない。 7.00m以深では風化した半クサリ礫が多くなる。 7.40m以深は礫量が少ないルーズな花崗岩質の粗砂からなる。																						
		7																													
		8							7.62～17.89m：花崗斑岩 径2～10mmの石英、長石の斑晶を5～15%程度含む。 7.62～9.26m：原岩組織と割れ目は残留し、変質粘土化部や粘土脈は殆んど分布しない。傾斜30～60°の割れ目が主体で、一部で傾斜60～80°の割れ目が交差する。風化により割れ目沿いに数mm程度砂状～小細片化する。 8.78m・60°、8.91m・65°の割れ目に幅0.5mmの軟質な白色粘土が断続的に付着する。 9.05～9.20m：褐色化が顕著に見られる。 9.17～9.20m：傾斜50°の消滅しかかった割れ目沿いに風化により褐色化するが、砂状～粘土状などの劣化はない。 9.21～9.43m：緑色変質が顕著である。 9.26～9.38m：全体に風化と変質で軟質化が著しい。9.26～9.32mと9.36～9.38mでは、粘土混じり岩片状を呈し、径5～10mmの緑灰色化した岩片主体で、岩片間には幅1mm程度の軟質なにぶい褐 (上端側) ～灰白色 (下端側) の粘土脈が分布する。9.32～9.34mでは、傾斜45°で幅30mm程度が更に粘土化した礫質粘土で、径3～10mmの緑灰色化した粘土化岩片を多く含む。9.34～9.36m：上端45°、下端50°で直線的に連続する幅5～15mmの軟質なにぶい赤褐色を呈する粘土脈を挟む。 9.38～10.76m：全体にやや軟質で、一部は風化により著しく軟質化する。一部で消滅しかかっているが、大半の割れ目は残留し、傾斜30～70°の割れ目が主体で、一部でこれらに斜交～直交する20～40°の割れ目も分布する。後者の割れ目は前者の割れ目で止まっていることが多い。10.00m以深では、前者の割れ目に幅1～2mmの軟質な灰白～淡黄色粘土を挟み、一部にはマンガンを伴う。いずれの割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 9.43～9.50m：褐色化が顕著に見られる。																						
		9																													

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平応力)	室内試験	掘進 速度 (cm/時)	掘進 速度 (mm)	孔壁保護	コアチューブ ノット ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																						
														(N) 値																																																																					
				花崗斑岩	にぶい橙		IV _E	γ		20.60m: 傾斜70° の割れ目沿いに風化して褐色化が進むが、砂状化などの劣化は伴わない。割れ目沿いはマンガン鉱染で黒褐色化する。	7 [0]																																																																								
21																															Cg	III _E		21.00~21.66m: 割れ目は少ないが、一部で傾斜60° 前後の低密着割れ目を含み、打撃で分離し易い。 21.19m・35°、21.44m・50° で幅1mmの石英脈が母岩に密着して分布する。	18 [36]																																																
22																																																										cg	2	22.36~22.40m: 径15mmの大型の長石斑晶が2個見られる。 22.72m・45° ~22.78m・50° の間は、風化で砂状化が進む。粘土化は伴わない。22.78mの割れ目に沿って褐色化が見られる。	10 [10]	CL'																					
23																																																																																			
24				Dg		24.15~24.40m: 径10~20mmの大型の石英、カリ長石、長石の斑晶が多い。 24.59m、25.09m、25.61m: 傾斜40~45° の割れ目沿いに幅10~20mmが緑泥石化により淡緑灰色化し、径0.5~1mmの白雲母を伴う。	9 [0]																																																																												

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平 載重)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	掘 進 速 度 (mm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コ ア チ ュー ン ／ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)	
														(N) 値	(N 値～深度) 図															
				花崗斑岩			Dg	IVg	cg	δ	2	CL'			0	10	20	30	40	50										
26																														
				明褐灰			Eg	Vg				D'																		
27																														
								Vg	cg		2	D'																		
							Eg	δ			4	D'																		
							Vg	dg			3	D'																		
28																														
											4	D'																		
							Cg	Vg	cg		2	CL'																		
29																														
				灰褐			Dg	IVg																						
							Cg	IIIg	bg																					
							Bg	IIIg	bg																					

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟 形状	コア 形状	風割れ 目の 状態	変質化	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平位置)	室内試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コア チューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)					
														(N 値)	(N 値～深度) 図																
31						Bg	IIIg	bg		30, 20～31.03m：低密着割れ目も多いが、概ね3cm以上の割れ目間隔である。割れ目、低密着割れ目は傾斜30～50°が主体で、それらに沿って薄く砂状化する部分もある。	12 (12)	CL'																			
						IVg																									
32							Cg	Vg	γ	31.03～32.30m：傾斜60～70°の割れ目、低密着割れ目が主体で、一部でこれらに斜交～直交する40～50°の割れ目、低密着割れ目も分布する。割れ目沿いに風化し、薄く砂状化する部分もあるが、粘土脈は殆んど挟まない。 31.25～31.40m間はやや湾曲した傾斜80～90°で、31.60～31.61mでは傾斜50°で、幅5～20mm程度のカリ長石の濃集部の脈を伴う 31.37～31.51m：1～1.5cm間隔で傾斜60～70°の割れ目、低密着割れ目が平行に分布する。 31.75～32.30m：傾斜85～90°の割れ目がやや波打って連続する。割れ目の一部に幅1～2mmの軟質な灰白色粘土が付着する。	17 (17)	CL'																			
33				花崗斑岩	灰褐色		IVg	bg	2	32.13m：傾斜60°、幅5～8mmで径1～3mmの鉄を含むマンガン脈を挟む。角礫化し残っている部分があり、岩片は移動や回転をしていない。 32.30～33.10m：一部で硬さ「B」の硬質岩片を含む。傾斜30～50°の割れ目と、これらに斜交～直交する60～80°の割れ目が主体である。32.86mの傾斜80°の割れ目の上端側は、割れ目沿いの砂状化はないが、下端側の一部では、割れ目沿いの一部が風化で薄く砂状化する。32.68mに傾斜60°で、32.76mに傾斜30°で幅5～15mmのカリ長石の濃集した脈を挟む。粘土化部や粘土脈は全区間を通じて殆んど分布しない。33.00～33.10mの細かい割れ目に幅0.5mm以下のフィルム状の粘土が付着する。 33.10～33.65m：割れ目の面は一部酸化褐色化するが、砂状化や粘土は挟まない。 33.24m：傾斜75°で幅1～2mmの石英脈が母岩に密着して連続する。 33.29～33.96m：傾斜45～60°で幅2～5mm程度のカリ長石の脈を3条挟む。	18 (18)	CM'																			
																															Dg
34						Bg	IIIg	bg	γ	33.65～37.15m：34.64m以浅はやや硬質主体、それ以深は硬質である。割れ目は傾斜30～50°が主体であるが、一部でこれらに斜交～直交する50～60°の割れ目も分布する。また、これらの2系統の割れ目と交差する70～90°の割れ目が35.42m付近、36.50m付近などに分布する。34.64m以浅では一部の割れ目沿いが薄く砂状化するが、それ以深では砂状化しないものが主体である。33.75mに傾斜35°で幅20mm程度の珪化した脈を挟む。 34.00m：傾斜60°で幅1～5mmの硬質な白色鉱物脈が直線的にシャープに連続する。下端側34.22m付近まで風化で軟質化する。 34.57m・45°～34.63m・65°間は細かい割れ目が発達し、全体に硬さ「D」に軟質化する。粘土化はないが若干砂状化する。マンガン鉱染を受け黒褐色化する。	19 (19)	CL'																			
						IVg																									
						Bg		bg				CM'																			

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平応力)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
														(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風化状態	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → R Q D cm └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
														(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
41						Bg	bg	γ		40.00~40.68m: 傾斜40~50° の割れ目がほぼ平行に分布する。風化で割れ目の一部が薄く砂状化する。幅1mm以下の軟質な灰白色粘土脈を挟むが、分布は少ない。 40.24m・40° ~40.28m・45° の割れ目に囲まれて、やや軟質化する。上端側はマンガン鉱染により黒褐色化する。全体に砂状~粘土化は伴わない。	CL'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

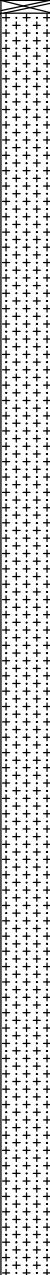
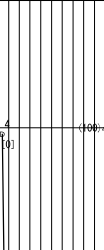
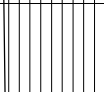
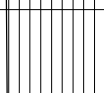
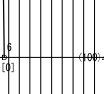
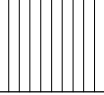
標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	風	変	記	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩	孔内水位 (m)／測定月日	(N) 値	(N 値～深度) 図	標準貫入	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	割	目	事		級															
(m)	(m)	(m)	図	区	分	化	形	れ	目			区															
51																											
52																											
53																											
54																											

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)								
												最大コア長 R Q D [%]			(N 値) (N 値 ~ 深度) 図																				
56				花崗斑岩	明褐色	Dg				3	55.07m: 傾斜55° で幅1mmの暗灰色粘土を挟む。	0 50 100			0 10 20 30 40 50																				
								Vg	cg		2	55.41m以深では割れ目沿いに砂状化することが多く、一部の割れ目に幅1mm程度の軟質～やや硬質な白色粘土が付着するが、粘土脈としては連続しない。 55.41m: 傾斜55° の割れ目で、上端側の20° の割れ目、下端側の80° の割れ目が止まっている。割れ目には挟在物が認められない。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 55.80m: 傾斜60° で幅1mm以下の暗灰色粘土と幅0～3mmの不連続な方解石脈を挟む。 56.18m・50° ～56.23m・50° の割れ目に囲まれてやや軟質化する。	4 100	CL																					
57							Bg	IVg	bg		3	56.54～56.57m: 変質部 上端60° で直線的にシャープであるが、浅部側延長部で70～90° で大きく湾曲、下端60° で1箇所で屈曲してシャープに連続する。径1mm前後の石英粒と径5～10mmの粘土化した岩片を多く含む。軟質な白色の粘土質礫状態で全体の色調は灰白～明褐色で斑模様を呈する。幅10～15mmで、浅部側の56.52m付近で挟在する粘土脈は2つに分岐する。 56.57～57.63m: 傾斜50～60° とこれと斜交～直交する20～60° の割れ目が主体である。割れ目には砂、粘土など挟在物はない。一部で割れ目と同傾斜の低密着割れ目も分布する。	12 100																						
						灰褐色	Cg	Vg	cg			57.63～57.75m: 傾斜50～60° の割れ目、低密着割れ目が5～10mm間隔で平行に分布し軟質化する。 57.75～58.37m: 割れ目は少ないが、主に58.00～58.15m間に傾斜40～50° の低密着割れ目が多い。砂、粘土の挟在物はない。57.90～58.37m間に傾斜80～90° の割れ目が連続し、他の割れ目との交差部の一部は径3～5mmに細片化する。	6 100	CM																					
58								IVg	bg		2	58.37～58.85m: 傾斜20～30° の割れ目と80～90° の割れ目が交差し、交差部の一部はごく薄く砂状化したり、径5mm前後に細片化する。粘土は挟まない。	6 100																						
									Vg	cg		58.85～58.96m: 傾斜50° の割れ目が主体である。 58.85m: 傾斜50° の割れ目は直線的でシャープに連続し、面には条線が見られる。割れ目沿いに径5mmのやや扁平化した燧岩片と岩片間を埋める明瞭灰色の軟質粘土からなる粘土混じり岩片状部が幅10mmで見られるが不連続で、周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 58.96～59.47m: 傾斜50～70° の割れ目が主体である。割れ目の挟在物はない。 59.16m: 傾斜45° の割れ目の下端側幅約30mmは細粒花崗岩様を呈するが、花崗斑岩との境界は漸移的である。 59.47～60.06m: 傾斜30～50° の割れ目、低密着割れ目に幅1mm前後の軟質な白色粘土脈を多く挟む。網目状に石英脈を挟む。	6 100																						
59							Cg						7 100																						
							Bg	IVg	bg																										
							Eg	Vfg	dg																										
							Dg				3			CL																					
								Vg	cg																										
						Cg																													

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入)試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(L/分)	排水量(L/分)																																		
											最大コア長 R Q D [%]			(N値)	(N値～深度)図	(N値)	(N値)																																														
66			花崗斑岩	灰褐	Bg	IVg	bg		2	65.06～66.65m: 傾斜30～60° とこれらに斜交～直交する40～80° の割れ目が主体で、割れ目は直線的にシャープではなく波打ちながら不規則に連続するものが多い。砂状部や粘土部などは挟まないが、割れ目沿いに径5mm前後に細片化することがある。65.09m・50°、65.31m・60° の各割れ目沿いに、各々幅5～20mm、幅5mmが緑灰色化し、径0.5mm以下の微小な黄鉄鉱が少量晶出する。	CM'																																																				
67				花崗斑岩	Cg	VIg	dg		3	66.50～66.65m: 傾斜55～60° の割れ目がほぼ平行に5～20mm間隔で分布する。粘土は挟まない。 66.64m: 傾斜65° の割れ目沿いに幅5mmで緑泥石化により淡緑灰色化し、幅0.5mmの黄鉄鉱脈を伴う。 66.65～66.85m: 変質部主として変質により著しく軟質化する。上端は傾斜65° の割れ目で直線的でシャープに上位の岩盤と接するが、下端は漸移的である。径5～20mmの硬さ「D」～粘土化した岩片と粘土化した基質からなる。基質中には所々に幅1～2mmの軟質な粘土脈が分布する。 66.85～67.88m: 割れ目は一部が消滅、一部は傾斜60～70° が主体で残留する。同傾斜の低密着割れ目も多く分布する。割れ目の一部に幅1～3mmの軟質な白～暗緑灰色の粘土脈が分布する。	CL'																																																				
68					花崗斑岩	Dg					2	67.88m: 傾斜65° の割れ目は、交差する60～70° の低密着割れ目を多数止めているように見える。割れ目には挟在物が認められるが、割れ目の凹凸が著しい。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 67.88～67.98m: 上端65°、下端55° の割れ目で囲まれ、変質と風化で著しく軟質化する。せん断面は分布しない。 67.98～70.00m: 傾斜50～70° の割れ目、低密着割れ目が主体で、割れ目の一部は砂状化～径5mm前後に細片化するが、全体に粘土化は殆んどしていない。69.80m以深には、幅1mm以下の軟質な白色粘土脈が少量分布する。また、68.32m、68.57m、68.84mには傾斜40～70° で幅1～3mmの軟質な暗緑灰色粘土を挟む。																																																			
69			花崗斑岩			Cg	VIg	dg		2	69.52m・70°、69.75m・70° の割れ目は、交差する多数の割れ目を止めている。割れ目には挟在物が認められない。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。																																																				
				明褐灰		Bg					2																																																				
				明褐灰	Dg					2																																																					
42.55	70.00																																																														

H27—B—3

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図 (N) 値				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)		
(m)	(m)	(m)									0 50 100			0 10 20 30 40 50																
6										5.27～10.05m：砂礫 径2～170mm程度の花崗岩類。砂岩の 角～亜角礫を含む粗粒砂からなる。																				
										5.60～7.07m：砂を挟む。中粒砂主体 で塊状。ラミナなどの堆積構造は分 布しない。径2～3mmの石英粒を少量（ 5%未満）含む。																				
7										6.50m以深は締まりが良い。																				
8										8.01～8.37m：砂を挟む。																				
9										9.21～9.66m：腐食した鉄棒を含むモ ルタル（一部に花崗斑岩細骨材少量含 む）。																				
										9.80m付近にモルタルを含む。																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(N 値)	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
	-0.05	10.05		凝土 灰質砂																												
11				花崗斑岩 明褐灰		Dg	cg δ		2	10.05～180.00m：花崗斑岩 径1～3mmの石英、長石を斑晶とする 花崗斑岩。長石は白濁化することが多い。 10.05～12.96m：CL 硬さ「C」主体で上端側の10.05～11.20mと中央部の11.82～12.00mは風化が進んで硬さ「D」である。 硬さ「C」の区間の一部で割れ目に挟在物を含まない部分があるが、多くは風化により砂や変質粘土を脈状に挟む。長石の多くは白濁化している。 10.70～10.80m：硬さ「C」の硬質岩片が残留する。																						
						Cg	bg γ				11.20～11.82m：硬さ「C」主体で挟在物も少ない。一部で密着度の低い割れ目を含む。 11.40～11.55m：割れ目が交差し岩片化するが、劣化は伴わない。																					
12						Dg		δ	3	11.82～12.00m：上下位よりも軟質化する。11.97～12.00mは粘土化が進む。																						
							Cg	v γ		2	12.00～12.96m：硬さ「C」主体であるが、割れ目沿いに幅1mm程度で薄く砂状化することが多い。また、各割れ目は弱くマンガン鉱染を受け、面の一部は黒褐色化する。																					
13							Eg			3	12.96～14.62m：D、CL 上端側と下端側はD級、中央部はCL級が中石的に分布する。 D級は硬さ「E」で原岩組織や割れ目は残留しているが、全体に硬質な砂状化が進み、所々、灰白色の粘土を径5mm前後の斑点状～幅1～3mmの脈状に含む。																					
14							Cg		δ	2	13.64～14.30m：硬さ「C」の岩片主体で20～40°の密着度の低い割れ目が同方向に1～2cm間隔で分布する。																					
							Eg		3	14.22m：43°で幅1mmの軟質黄褐色粘土を挟む割れ目は、交差する80°で幅1mmの石英脈を止めている。割れ目周辺の岩壁に原岩組織は認められ、系統的な割れ目も存在しない。																						
						Dg			2	14.30～14.62m：上端17°で幅1～5mmの軟質赤灰色粘土を挟む割れ目。下端50°の割れ目で囲まれ著しく軟質化しているが、一部に硬さ「D」も残留する。原岩組織や割れ目はわずかに残留する。所々に幅1～2mmの軟質灰白色粘土を脈状に含む。 14.62～20.04m：CL 20～40°の割れ目が主体で、割れ目沿いに風化で砂状化が拡大する部分も含む。16.49m以浅は硬さ「D」主体、16.49m以深は硬さ「C」主体である。																						

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ビ ット	給 回 転 数 (rpm) ／ 圧 (MPa)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)
16				明褐灰		Dg	Vg	cg	δ	2														
						Eg	Vg	dg	ε	3	15.33~15.43m: 風化による砂状化と熱水変質による粘土化で軟質化著しい。上下端とも35°前後の割れ目である。													
				花崗斑岩		Dg	Vg			2	15.73~15.80m: 80°の割れ目沿いに薄くマンガン鉱染を受ける。													
											16.31m: 50°の割れ目沿いに幅5~15mmでやや硬質な白色シルト~粘土を挟む。													
											16.49m: 35°の割れ目から下位は硬さ「C」主体。一部に密着度の低い割れ目を含む。													
											16.76~16.87m: 径10~20mmの岩片状を呈する。岩片間は幅1~2mm程度で砂状化する。													
						IVg				3	17.13~17.31m: 割れ目の一部に幅1~2mmの軟質灰白色粘土を挟む。													
											17.40~19.00m: 密着度の低い風化割れ目を含む。ハンマーの打撃で割れ目の一部は分離、細片化する。割れ目化し、開口しているものも多い。													
				にぶい橙				cg	δ		17.85~18.00m: 割れ目が交差、一部で径20~30mmに岩片化する。粘土や砂は挟まない。													
						Cg					18.05~18.47m: 珪化変質により石英量が多くなり硬化する。													
											18.43~20.04m: 一部の割れ目沿いや岩芯がマンガン鉱染を受け、黒褐色化するが劣化は伴わない。													
				明褐灰			Vg			2	18.90m: 50°の割れ目に幅1~5mmの淡黄褐色砂を挟む。													
											19.59m: 40°と80°の割れ目が交差し、80°の割れ目は40°の割れ目に止められる。80°の割れ目は19.65mでは幅10mmで砂状化するが、下位に向かつて割れ目は増じいき、砂の挟在物も分布しなくなる。40°の割れ目の細粒部は局所的である。割れ目周辺の岩壁に原岩組織は認められ、系統的な割れ目も存在しない。													

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ス ト	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																														
													(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)																																																																								
21					明 褐 灰	Bg	IVg	bg	γ	20.04～20.93m : CM 一部に密着度の低い割れ目を含むが、 岩片は堅硬。長石の一部は白濁化するが、未変質で残留するものが多い。 割れ目に挟在物は殆んど分布しない。	CL																																																																													
22					花 崗 斑 岩	Dg	Vg	cg	δ	20.93～26.70m : CL 45° 前後の割れ目が主体。一部で70～90° の高角度割れ目と交差する。 割れ目沿いに薄く砂状化するが、部分的に砂状化が拡大する部分も含む。 また、所々、幅1～2mmの軟質な白色粘土脈を挟む。22.69m以浅は硬さ「D」、22.69～23.71mは硬さ「C」、23.71m以深は硬さ「D」が主体で、硬さ「C」主体の区間では割れ目に挟在物が分布しないことが多い。 21.14～21.24m : 上端42°、下端49° の割れ目の間が全体的に風化し、砂状化が進む。酸化、マンガン鉱染が見られる。 21.55～21.65m : 風化による砂状部と硬さ「C」ないし「D」の岩片で砂礫状を呈する。 粘土は殆んど伴わない。 21.70～22.40m : 高角度割れ目を主体に、幅1mm以下でごく薄くマンガン鉱染や幅1～3mmの軟質な白色粘土脈が分布する。 22.03～22.63m : 70～90° で湾曲して連続する割れ目沿いに幅5～10mmで砂状化し、幅1～2mmの軟質粘土脈を伴う。 22.10～22.45m : 一部に硬さ「C」の岩片を伴う。高角度割れ目沿いが風化する。 22.50～22.64m : 上端60° で幅2～3mmの褐色粘土脈、下端45° で幅1mmの褐色砂に囲まれて軟質化が著しく、一部で幅0.5mmの白色粘土脈を網状に伴う。 22.91～23.49m : 40° 前後の割れ目が同方向に分布し、これらに直交～60° 斜交する60～80° の割れ目を止めることがある。40° の割れ目の細粒部は、局所的で系統性に乏しい。割れ目周辺の岩壁に劣化が認められない。 23.45～23.71m : 80° で幅1～3mmの軟質白色粘土脈を挟む。	CL																																																																													
23					明 褐 灰	Cg	IVg	bg	γ	23.71～24.53m : 軟質化し、硬さ「D」主体。 23.71～23.95m : 80～90° の高角度割れ目はマンガン鉱染を伴う。	CL																																																																													
24						Dg	Vg	cg	δ	24.06～24.22m : 硬さ「C」主体。 24.37m : 45° で幅2mmの石英脈を挟む。	CL																																																																													
							Cg	IVg	γ	24.53～26.70m : 硬さ「C」主体。上位よりも割れ目がやや少なくなる。 24.60～24.92m : 80～90° の割れ目に幅1～5mmのマンガン鉱染で黒褐色砂を挟む。	CL																																																																													

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアの形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																														
														(N) 値	(N 値 ~ 深度) 図																																									
				花崗斑岩	明褐灰	IVg	Cg	cg	γ	2	25.00~25.81m及び25.09~25.28m: 85~90°の割れ目に幅1~2mmで一部マンガン鉱染で黒褐色化した砂を挟む。一部で風化により軟質化し、硬さ「D」の部分も認められる。	OL'			0 10 20 30 40 50																																									
26																																																								
				花崗斑岩	明褐灰	灰白	Eg	Vg	dg	δ	4	●26.70~26.90m: 破砕部 26.70m: 粘土状部 (Ho-1) 傾斜43°で上下端ともに直線的に連続。石英粒、岩片を含まない。軟質。淡黄色を呈する。幅1mm以下。 26.70~26.71m: 粘土混じり礫状部 (Hj) 上端43°、下端43°とともに直線的に連続。径2~3mmの石英粒、径5~10mmの粘土化~硬さ「D」岩片を20~30%含む。軟質。灰白色を呈する。幅10mm。 26.71m: 粘土状部 (Ho-1) 傾斜43°で上下端ともに直線的に連続。軟質。灰白色を呈する。幅1mm。 26.71~26.90m: 粘土混じり礫状部 (Hj) 上端43°で直線的に、下端54°でやや湾曲して連続。径2~3mmの石英粒、径5~10mmの粘土化~硬さ「D」岩片を20~30%含む。軟質。下端は幅1~2mmの粘土脈を伴う。灰白色を呈する。幅150~170mm。 26.90~27.57m: D 27.00m以浅は砂礫状、27.00m以深はバラけた礫状を呈するが、27.00m以深も本来は砂状の基質と岩片で形成されていたと推定される。 27.57~28.12m: OL 硬さ「C」の岩片主体である。割れ目沿いに薄く砂や粘土を挟むことが多い。 27.98m: 37°の割れ目に幅10mmの白色シルトを挟む。 ●28.12~28.14m: 破砕部 28.12m: 粘土状部 (Ho-1) 傾斜43°で上下端ともに直線的に連続。径1mmの石英粒をごくわずか (5%以下) 含む。軟質。淡黄色を呈する。幅1~3mm。 28.12~28.14m: 礫質砂状部 (Hb) 上端43°で直線的に、下端45~55°で波打って連続。粘土化と砂状化の著しい径3~5mmの岩片からなる。にぶい黄褐色を呈する。幅5~7mm。 28.14~29.10m: CL 硬さ「C」主体で、28.85m以深は風化し硬さ「D」と軟質化する。割れ目は直上位の破砕部のHo-1の粘土と同方向に近い40~60°で分布する。 ●29.10~29.12m: 破砕部 29.10~29.11m: 粘土状部 (Ho-1) 上端49°で直線的に、下端50°で波打って連続。径1mmの石英粒をごくわずか (5%以下) 含む。軟質。上端側は灰白色、中央部~下端側は灰黄褐色で礫状を呈する。幅5~10mm。 29.11~29.12m: 礫質粘土状部 (Hb) 上端50°、下端45~55°でいずれも波打って連続。径1~2mmの石英粒、径3~5mmの粘土化した岩片を20%程度含む。やや硬質。オリーブ色帯びた灰白色を呈する。幅7~11mm。 29.12~30.56m: CL 30.02m以浅は硬さ「D」、以深は硬さ「C」主体。 29.15~29.60m、30.30~30.56m: 割れ目沿いや岩芯の一部が弱くマンガン鉱染を受ける。 29.47~29.59m: 網目状の割れ目に白色粘土、マンガン鉱染が見られる。	D'																																											
27																																																								
				花崗斑岩	明褐灰	Cg	Vg	cg	γ	2		OL'																																												
28																																																								
				花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3		OL'																																												
29																																																								

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)	
— 36			花崗斑岩	灰褐	Cg	IVg		γ		35.31m：60° の割れ目沿いに幅3～5mmが砂状化する。 35.47m：5° の割れ目で90° の割れ目が止められる。5° の割れ目に細粒部は認められない。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	CM'																
				にぶい褐	Bg	IIIg	bg	β	2	35.94～37.30m：CH 堅硬。割れ目に挟在物は分布しない。 36.07～36.32m：割れ目沿いや岩芯の一部でマンガン鉱染を受けるが、劣化は伴わない。密着度の低い割れ目が区間内に数本分布する。	CH'																
— 37				Cg	IVg		γ		37.03m：57° の割れ目沿いの一部で幅3mm前後が砂～細片化する。57° の割れ目を横断する潜在割れ目が37.05 m、37.08mに見られる。57° の割れ目の砂～細片化部は直線性に乏しく、割れ目周辺の原岩組織は認められ、系統的な割れ目も存在しない。 37.30～37.55m：CM 直上位に比べ岩片がやや軟質化する。 37.55～37.69m：CL 上下端をマンガン脈に囲まれ軟質化が進む。マンガンは砂状を呈する。																		
				Dg	Vg	δ			37.69～37.81m：D 50～60° の割れ目沿いに風化で砂状化が進む。幅1mm以下の白色粘土脈も伴う。 37.81～38.50m：CL																		
				Eg		ε	3																				
— 38				Cg		cg	γ	2		38.21m以深は50° 前後の割れ目沿いに風化、砂状化進む。また、少量の幅1～2mmの白色～褐色軟質粘土脈も伴う。		CL'															
					灰褐			δ	3																		
				Bg	IVg	bg			38.50～39.14m：CM 一部でゆ着割れ目を含むが、密着度は高く、ハンマーの強打でも分離・細片化しない。			CM'															
— 39									γ	2	39.14～40.79m：CL 密着度の低い割れ目を多く含む。ハンマーの打撃で大半は分離・細片化する。割れ目には砂や粘土を幅1～3mmで挟むことが多い。		CL'														
				Cg		cg																					

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	風 割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
														(N) 値	(N 値～深度) 図																	
41					灰褐					40.14～40.26m : 50～60° の割れ目に幅1～2mmの軟質粘土脈を挟む。 40.42m以深は岩片自身の軟質化が進み、割れ目沿いの砂状化も拡大する。 40.72m : 50° の割れ目に幅1mmの軟質灰白色粘土を挟む。 40.79～41.83m : CM 一部の割れ目を除き、割れ目に挟在物は分布しない。	0 50 100																					
																													Cg	IVg	γ	CL'
Dg	Vg	δ			2																											
Cg	IVg	bg	γ							41.30m以深は密着度の低い割れ目が多い。一部では開口化する。 41.30m : 60° の割れ目沿いに径2～4mmの石英が多く晶出している。	0 50 100																					
Eg	VIg	dg	ε							41.83～41.95m : D 上端60°、下端55° の割れ目に囲まれ砂状化する。割れ目と原岩組織は不明瞭である。 41.95～42.78m : CL 割れ目は直下の破碎部の上端境界と同方向の40～50° の割れ目が主体。割れ目の多くに粘土脈や砂の薄層を挟む。長石の一部が白濁化している。 42.36～42.40m : 上下端とも40° の割れ目に囲まれて風化・砂状化する。	0 50 100																					
Cg	IVg	cg	γ	3																												
Eg	VIg	dg	δ	4						42.78～42.85m : D 風化で著しく軟質化するが、原岩組織や割れ目の一部は残留する。 ●42.85～42.91m : 破碎部 42.85～42.87m : 粘土混じり礫状部 (Hj)	0 50 100																					
Dg	Vg	cg		3						上端45° で直線的に、下端41° で波打って連続。径1～2mmの石英粒、径5mmの粘土化した岩片主体。やや硬質。上端の幅1～2mmは風化で明黄褐色を呈し、明褐灰色の粘土をフィルム状に伴う。全体としては灰白色を呈する。幅15～25mm。 42.87～42.91m : 粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端41°、下端66° でいずれも波打って連続。下端は不明瞭な部分もある。径5～10mmの粘土化～硬さ「D」岩片からなり、岩片間の一部は粘土～幅1mmの白色軟質粘土脈が分布している。明褐灰色を呈する。幅20～30mm。 42.91～43.00m : D 硬質な砂礫状を呈する。原岩組織と割れ目は消滅する。白色粘土を脈状に伴う。 43.00～43.17m : CL 割れ目沿いに砂状化する。白色粘土を細脈状に伴う。 43.17～45.60m : CM 硬さ「C」を主体とするが、一部に硬さ「B」の堅硬な柱状コアも含む。割れ目の一部に幅1～2mmの粘土、砂の薄層を挟みながら、挟まない割れ目が主体。面は薄く褐色化するものが多いが、劣化はない。一部で中着割れ目を含むが、密着度は高くハンマーの強打でも分離しないものが主体。	0 50 100																					
Cg	IVg	bg	γ	2																												

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)
													(N 値)	(N 値～深度) 図											
46						Cg	IVg	bg	γ	2	CM'														
							Dg	Vg	cg	δ															
47						Bg	IVg	bg	γ	2	CM'														
							Cg	Vg	cg																
48						Bg	IVg	bg	β																
49						Cg	Vg	cg	δ	3	CL'														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)								
														(N 値 ~ 深度) 図																							
51				明 掲 灰			C _g	δ	3	50.00~50.42m : 70° 前後の風化した微細な割れ目が数条波打ちながら連続する。一部はハンマーの強打で分離する。	0 50 100			(N) 値	0	10	20	30	40	50																	
			D _g							50.56~51.16m : 硬さ「D」主体で、30~50° の割れ目が多く、割れ目沿いに幅1~3mmで薄く砂状化することが多い。岩片自身も上下位に比べ軟質化する。	4 (0)																				100						
			V _g							51.16m、51.45mの35°、49° の割れ目に幅1~3mmの褐色粘土を挟む。51.16~52.00m : 硬さ「C」主体。51.35~51.64m : 割れ目が交差し、交差部では砂状部が拡大している。また、白色粘土も少量伴う。	4 (0)																				100						
			C _g							花 崗 斑 岩	cg																				γ	2	52.00~52.32m : 径10~20mmの硬さ「D」「C」の岩片と岩片間の硬質な砂状部からなる。	6 (0)	100		
52			D _g																														52.32~52.75m : 白濁化した長石が多いが、硬さ「C」と硬質。一部で硬さ「B」も含む。一部では密着度の低い割れ目も含む。			6 (0)	100
			C _g																														52.75~53.10m : 岩片自身も硬さ「D」と軟質化する。一部で硬さ「C」が残留する。				
53				D _g	53.10~55.62m : 密着度の低い割れ目が多く、一部で開口化する。割れ目の一部は砂状化し、白色粘土を伴うことが多い。橙色を帯びる。	6 (0)	100																														
			に い い 橙	V _g	δ			3	53.40~53.60m : 硬さ「B」に近い。割れ目に挟在物は殆んど分布しない。	6 (0)	100																										
54									C _g			53.79~53.81m : 上端23°、下端39° の割れ目の間が砂状~細片状を呈する。53.85~54.31m : 挟在物を伴う割れ目は少ない。	5 (0)	100																							
							cg		54.35~54.59m : 割れ目沿いや岩芯の一部が弱くマンガン鉱染を受け、黒褐色化する。	5 (0)	100																										

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コ ア長 cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) ／ 測 定 月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ス ト	給 圧 (kN・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)								
															(N) 値	(N 値～深度) 図																			
56				花崗斑岩	にぶい 橙			cg δ			55.08～55.55m：割れ目沿いに砂状化が進み、砂や粘土を挟むことが多い。 55.08m：25°で幅1mmの淡黄色粘土を挟む。粘土直下に幅10mmの砂状部を伴う。		CL'																						
57						灰黄褐	Eg	Vg		bg γ	3	55.82～56.69m：挟在物を伴わない割れ目が多い。 56.00～56.30m：73～90°で湾曲して延びる高角度割れ目を境として、下半分側は礫状～岩片状を呈する。				D'																			
58						灰褐	Dg	Vg	cg δ	3	●56.69～56.72m：破碎部 56.69～56.72m：粘土混じり岩片状部 (H) 上端30°で波打って、下端31°で直線的に連続。径3～10mmの硬さ「D」主体の岩片と岩片間の一部の砂状～粘土化部からなる。下位のHc-1の粘土の近傍では、それに平行～ほぼ平行な微細割れ目も分布する。浅黄～黄灰色を呈する。幅20mm。 56.72m：粘土状部 (Hc-1) 傾斜31°で上下端ともに直線的に連続。径1mmの石英粒をわずかに (5%以下)含む。軟質。淡黄色を呈する。幅1mm。 56.72～57.29m：D 割れ目沿いに砂状化が拡大し、一部で砂礫状を呈するが、原岩組織や割れ目の一部は残留する。 56.94～56.97m、57.00～57.02m：マンガン鉱染により黒褐色化する。 57.29～58.89m：CL 40～50°の割れ目が主体で、これらに斜交するものも多い割れ目密集部。砂を主体とする割れ目の挟在物が多い。58.51m以深は斑点状～脈状のマンガン鉱染部が点在する。																								
59						橙	Eg	Vg	dg		4	58.68m・10°で幅1～3mm、58.82m・45°で幅7mmの石英脈が分布する。					CL'																		
				灰褐		Cg	Vg	cg γ	3	●58.89～58.98m：破碎部 58.89～58.94m：粘土混じり岩片状部 (H) 上端20°で直線的に、下端25°で波打って連続。20～30°とこれに直交～斜交する割れ目で径3～5mmに細片化し、硬さ「E」主体の岩片と、岩片間の一部に淡黄～灰白色軟質粘土を挟む。褐灰色を呈する。幅40mm。 58.94～58.96m：粘土混じり礫状部 (H) 傾斜25°で上下端ともに波打って連続。径2～4mmの石英粒、径5mmの硬さ「D」岩片からなる。やや硬質。にぶい黄褐色を呈する。幅15mm。 58.96～58.98m：礫混じり粘土状部 (Hc-2) 傾斜25°で上端は波打って連続。下端は直線的に連続。径2～3mmの石英粒、硬質岩片を5～10%含む。軟質。オリーブ色帯びる灰白色を呈する。幅15mm。																									
						Eg		δ	4		58.89～59.69m：CL 59.50m以深は粘土を挟むことが多い。 ●59.69～59.75m：破碎部 59.69m：粘土状部 (Hc-1) 傾斜52°で上下端とも直線的に連続。石英粒、岩片は殆んど含まない。軟質。黄褐色を呈する。幅1mm。 59.69～59.75m：砂混じり岩片状部 (H) 上端52°、下端37°でともに直線的に連続。径5～20mmの硬さ「D」「E」岩片と岩片間の砂状部からなる。粘土は分布しない。にぶい橙色を呈する。幅40～60mm。 59.75～60.00m：CL 挟在物を伴う割れ目は少ない。																								

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)								
														(N) 値	0	10	20	30												40	50						
				花崗斑岩	灰褐色					60.00～61.40m : CM 密着度の低い割れ目やゆる割れ目を多く含む。挟在物を伴う割れ目は少ない。 各割れ目と岩芯の一部は弱くマンガン鉱染を受ける。																											
61									Cg	IV	bg	γ	2																								
													61.19～61.23m : 上端30°、下端33°の割れ目の上下端は波打っている。一部砂状化する。マンガン鉱染が見られる。 61.40～61.67m : CL 割れ目沿いに砂状化が進む。 61.47～61.51m : マンガン鉱染により黒褐色化する。																								
									Dg	V	cg	δ	3																								
62													61.67～62.23m : CM 岩片の一部は堅硬な硬さ「B」も含む。割れ目に挟在物はないが、弱くマンガン鉱染を受ける。劣化は伴わない。																								
													62.23～64.52m : CL 硬さ「D」と「C」が繰り返し分布する。全体に割れ目に砂や粘土脈などの挟在物を挟むことが多い。硬さ「D」の区間は割れ目沿いに砂状化が拡大する部分もある。																								
													62.82～62.93m : 径5～20mmの硬さ「D」の岩片と岩片間は砂状化し、砂礫状を呈する。幅1～2mmの軟質白色粘土脈も伴う。 63.03m : 30°の割れ目沿いに幅約10mmの淡褐色粘土、幅1～2mmの淡黄色粘土を挟む。上端側は幅5～15mmでマンガン鉱染を受ける。 63.04～64.17m : 硬さ「C」区間で、硬さ「B」も多く含む。																								
63													63.60～63.70m : コアチューブ引上げ時の擾乱により角礫状化している。																								
													64.17～64.52m : 割れ目沿いに砂状化することが多く、割れ目が不明瞭になり、消滅しかかっていることも多い。原岩組織は明瞭に残留する。																								
													64.52～66.39m : CM 65.01m以深は硬さ「B」で堅硬となる。全体として割れ目に挟在物は少ない。一部の割れ目沿いでマンガン鉱染を強く受け、黒褐色化するが、劣化は伴わない。 64.66m : 63°の割れ目に幅1～2mmの灰白色粘土を挟む。																								
										64.78～64.84m : 上下端45°の割れ目間及び周辺が明青色を呈する。マンガン鉱染が見られる。一部砂状化する。																											

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟 コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)																											
													(N) 値	(N 値～深度) 図																																						
66				花崗斑岩	にぶい橙	Cg	IV E	bg γ	2	65.19m：38° の割れ目沿いに幅10mmで軟質化が進む。薄い砂状部を挟む。 65.34m：35° の割れ目沿いに幅25mmの硬質な連質部を伴う。緑泥石による淡緑灰色化及びマンガンによる黒褐色化するが、劣化は伴わない。 65.59m：35° の割れ目沿いに幅20mmが砂状化～径5mmの細片化する。 65.61m：35° の割れ目を境として以深は堅硬となる。	CM'		0	10	20	30	40	50																																		
67	68	69								にぶい褐																		Cg	V E	cg δ	3	66.09m：55° の割れ目沿いに砂状化部を挟む。マンガン鉱染も伴う。 66.37～66.40m：割れ目沿いに幅30～40mmが淡緑灰色の緑泥石化する。砂～粘土化部など劣化は伴わない。 66.39～68.06m：CL 割れ目には砂を主体とした挟入物が多い。一部で割れ目沿いの砂状化が拡大する部分もある。密着度の低い褐色化した風化割れ目も多く、ハンマーの軽打で分離・細片化することが多い。 66.80m：51° の割れ目に幅1～2mmの褐色粘土を挟む。 66.98m：63° の割れ目に幅2～3mmの灰白色粘土を挟む。 67.12m：55° の割れ目沿いに幅5mmで白色シルト状部を挟む。割れ目面は褐色化する。 67.30～67.70m：60～90° の高角度割れ目に囲まれて径10mm前後で岩片化する。岩片間の一部は幅2～3mmで砂状化する。 68.06～68.93m：D 強風化で砂状化が拡大。径10～20mmの硬さ「D」「C」の残留岩片とともに砂礫状を呈する。 68.40～68.60m：硬さ「D」の岩片からなる。 68.69m：30° の割れ目沿いに幅15mmで淡緑灰色を呈する硬質な緑泥石化が見られる。上端側に石英も伴う。 68.93～70.10m：CL 30° 前後の割れ目が主体で割れ目沿いに砂状化の砂を挟むことが多い。一部は幅10mm程度に砂状化が拡大している。幅1mm程度の軟質白色粘土脈も伴う。 砂状化が進む部分では硬さ「D」主体である。 69.22m：45° の割れ目に幅1～2mmの褐色粘土を挟む。 69.70m以深は一部の割れ目と岩芯に弱くマンガン鉱染を受ける。	CL'		0	10	20	30	40	50												

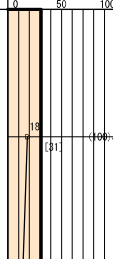
標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化率	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
															(N) 値	0	10	20	30												40	50					
						Cg			γ	2	70.10～71.72m : D 風化と変質で著しく軟質化するが、 原岩組織と割れ目は残留する。所々に硬さ「D」の岩片が残留し、71.30m以深は岩片量が多くなる。 70.17～70.20m : 25° で波打ってマンガ ンが脈状に分布し、黒色を呈する。 下端側は幅10mmで硬化した緑泥石化部を伴う。 70.20～71.30m : 粘土化ないし砂状化部主体。幅1mmの白色粘土脈が網状に分布する部分もある。	0 50 100	CL'			0	10	20	30	40	50																
71						Eg					71.30m以深は硬さ「D」の岩片と岩片間の粘土化～砂状化部からなる。部分的に径1～2mmの石英がマンガ ン鉱染により黒褐色化する。	2 (0)	D'																								
72						Vg	cg				71.72～72.65m : CL 径10～20mmの硬さ「D」の岩片からなり、一部の岩片間では粘土化～砂状化部を伴う。全体に密着度の低い割れ目やゆるぎ割れ目が多く、ハンマ ーの打撃で分離・細片化する。 72.12～72.17m : 30° の割れ目沿いに褐色化し、砂状化も拡大する。	2 (0)																									
						Dg				δ	3	3 (0)	CL'																								
73						Eg	VIg	dg			72.93～73.11m : 陸実質で原岩組織と割れ目は消滅し、細砂礫状を呈する。上記区間以外は原岩組織と割れ目の一部は残留する。また、硬さ「D」の岩片も一部で残留する。 73.18～73.19m : 20° の割れ目沿いに幅10～15mmでマンガ ンが脈状に分布する。 73.38～76.23m : CL 一部で硬さ「C」の岩片も含むが、全体的には軟質化の進んだ硬さ「D」の岩片主体。 密着度の低い割れ目やゆるぎ割れ目が幅10mm前後で密に分布する。 73.38～73.58m : 硬さ「C」で一部の割れ目に軟質な幅1～3mmの灰白色粘土脈を挟む。	5 (0)	D'																								
74						Vg	cg				74.04m : 25° の割れ目沿いに幅約20m mで軟質化が進む。 74.29～74.48m : 20～30° の割れ目沿いに褐色化とマンガ ン鉱染を伴う。 細かい密着度の低い割れ目も密集する。 74.72～74.84m : 硬さ「C」主体であるが、密着度の低い割れ目も多い。 74.90m : 33° の割れ目沿いに幅10mm程度が砂状化する。	5 (0)	CL'																								

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風化状態	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給圧 (kN ／MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)		
														(N 値)	(N 値～深度) 図													
81					明褐灰					80.24～80.31m：幅1mm、長さ10～20mの細脈状にマンガンが密集する。 80.36m以深は硬さ「E」「D」（一部「C」）の岩片と、岩片間の粘土化部からなる。 80.76～81.68m：割れ目や岩芯の一部がマンガン鉱染を受ける。																		
82					明黄褐	vg	cg			81.70～82.40m：岩片間の基質の一部で風化・褐色化が進む。 81.90～84.40m：表面がマンガンで黒色化した径1～2mmの石英粒が点在する。																		
83					明褐灰	Eg		δ	3																			
84					明黄褐					83.30～83.74m：硬さ「C」の硬質岩片が多く残留する。 83.30～83.50m：岩片間の砂状～粘土化部が風化で褐色化する。																		
					灰褐					84.06～84.55m：10～20°の割れ目沿いに風化で褐色化する。硬さ「D」の岩片が主体。 84.55～84.89m：砂状化が拡大する。軟質粘土も伴う。岩片部分を除き、原岩組織は消滅する。																		
						Dg	vg	cg		84.89～85.61m：CL一部に硬さ「C」の岩片も含むが、割れ目沿いに砂状化する。		CL'																

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
— 86			花崗斑岩	にふい褐	Dg	Vg	cg	δ	3		85.28～85.32m：緑泥石化し、淡緑灰色を呈する。径0.5mm以下の微細なセリサイト、黄鉄鉱を伴う。 85.36～85.60m：高角度割れ目沿いの砂状化が進む。 85.61～91.35m：D 硬さ「D」「C」の岩片と岩片間の粘土化～砂状化部からなり、全体として軟質化が著しい。 85.70m：15°の割れ目沿いが褐色を呈し、マンガン鉱染が見られる。	CL'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟	コア 形状	割れ 目の 状態	風化 質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級 区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験					原位 置試験 (孔内水平 載荷)	室内 試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コア チップ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)							
															(N 値 ~ 深度) 図																						
																0	10	20	30	40	50																
96				花崗斑岩	灰褐	Cg		γ			95.50~95.71m：割れ目から分離し、 径10mm前後に細片化する。	2 (0)																									
					明褐灰		Vg				95.94~98.05m：硬さ「D」の岩片状 コア主体。所々に硬さ「C」も含む。 95.96m：60° の割れ目に幅1mmの灰白色軟質粘土を挟む。上端側の幅約5mmにマンガン鉱染部を伴う。																										
97						Dg			3		96.52~97.60m：30~40° と60~70° の割れ目が交差し前者が後者に止められる。60~70° の割れ目に細粒部は認められない。割れ目周辺の岩壁に原岩組織が認められる。	2 (0)																									
					に ぶ い 橙						97.07m：15° で幅2~3mmの石英脈を挟む。劣化は伴わず密着する。																										
98										δ		97.58~97.69m：マンガン鉱染が進み黒褐色化する。 97.69~97.78m：硬さ「C」の岩片中に硬質な幅1~2mmの白色粘土が脈状~径2~3mmの斑点状で分布する。	6 (0)																								
							Cg	IVg				98.02m：30° で幅2~5mmの石英脈を挟む。一部で褐色割れ目化する。 98.05~98.92m：硬さ「C」主体。割れ目の面は褐色化するものが多い。割れ目沿いに軟質化する部分もある。 98.20m：50° の割れ目に幅3~5mmの褐色粘土を挟む。	7 (0)																								
99				灰褐		Dg	Vg	γ	2		98.92~99.50m：硬さ「D」主体。全体に軟質化するが風化、変質は弱い。																										
				褐灰	Eg	Vg	dg	δ ε	3		●99.50~99.68m：破砕部 99.50~99.56m：粘土混じり岩片状部(Hj)	2 (0)																									
				に ぶ い 橙	Dg	Vg		cg	γ	2	上端43° で直線的に、下端38° で波打って連続。上端とほぼ平行な数条の割れ目と、これに直交~60° 斜交する割れ目で径5~10mmの硬さ「E」の岩片に細片化する。岩片間に幅1~3mmの白色軟質粘土が脈状に分布する。一部にマンガン鉱染伴う。明黄褐色を呈する。幅45mm。 99.53mには上端と平行で直線的な幅1mmの灰白色粘土を挟む。 99.56~99.57m：鏝混じり粘土状部(Hc-2) 傾斜38° で上下端とも波打って連続。径1~3mmの一部マンガン鉱染で黒色化した石英粒を10%程度含み、フィルム状の細粒部が挟在している。やや硬質。灰白色を呈する。幅5~10mm。 99.57~99.68m：砂混じり岩片状部(Hj) 上端38° で波打って、下端37° で直線的に連続。上位のHc-2の粘土と平行な数条の割れ目とこれに直交~60° 斜交する割れ目が多く、径5~20mmに岩片化する。岩片間には粘土は殆んど分布せず。砂状部を挟む。マンガン鉱染のため黒色化し、褐灰色を呈する。幅85mm。 99.68~100.50m：CL 硬さ「D」主体。																										

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ノ孔壁保護	コアチューブ ノビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
									105.14m : 67° の割れ目沿いに風化で薄く褐色化するが劣化は伴わない。 105.33~105.52m : 割れ目沿いに弱くマンガン鉱染を受ける。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															</

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
															(0)	(10)	(20)	(30)	(40)												(50)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
											110.11～110.95m : 50～60° とこれに直交～斜交する10～30° の割れ目やゆ着割れ目が多い。ゆ着割れ目は密着度が高い。前者の割れ目は後者の割れ目の一部を止めており、一部は後者の割れ目が前者の割れ目と横断している。50～60° の割れ目には細粒部は認められない。割れ目周辺の岩壁に原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)											
														(N 値)	(N 値 ~ 深度)	(図)	(図)																							
						Dg	Vg	cg	δ	3				0	10	20	30	40	50																					
121				花崗斑岩	褐灰	Bg	Ⅲg	bg	β	120.09~120.10m : 60° で幅10~15mmの緑泥石化で軟質化する。 120.10~125.90m : CH 堅硬、塊状。割れ目に挟在物は分布せず、面もほぼ未風化・新鮮である。 長石の白濁化は殆んど認められない。	CL'																													
122																121.60m : ゆる着割れ目が開口割れ目化する。																								
123																122.36m : 65° の割れ目の一部に黄鉄鉱が晶出する。 122.61m : 60° の割れ目に幅2mmの褐色砂を挟む。	CH'																							
124																123.35~125.06m : 80~90° の割れ目が連続する。 123.63~123.67m : 割れ目沿いに片状化するが、岩片は硬質で、砂や粘土化など劣化は伴わない。																								

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
														(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
							明褐灰																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)						
														(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)																	
—141					緑灰					140.13m : 65° の割れ目沿いの一部が細片化するが、軟質化など劣化はない。	0																								
																																10	(34)	100	CH'
—142					明褐灰					140.39～140.61m : CM 70° の割れ目沿いに一部片状化する。 砂や粘土は挟まない。	10																								
																																16	(48)	100	CH'
—143					花崗斑岩	Bg	bg	β	2	140.61～141.97m : CH 堅硬・塊状。一部でゆ着割れ目が多いが、密着度が高く、周囲と同化し、ハンマーの強打でも分離・細片化しない。	16																								
																																14	(14)	100	CH'
—144					緑灰					141.40～142.00m : 径20mm前後の斑模様状に緑泥石化した淡緑灰色部が分布する。	14																								
																																10	(30)	100	CH'
—144					灰褐					141.97～147.08m : CM 割れ目はやや多いが、岩片は堅硬。白色筋状のゆ着割れ目が多いが、密着度が高い。一部で開口割れ目化する。	10																								
																																14	(14)	100	CH'
—144					灰褐					142.32～142.43m : 50° 程度の割れ目が交差し、径20～50mm程度に岩片化するが、砂や粘土は挟まない。	14																								
																																10	(30)	100	CH'
—144					灰褐					142.70～142.76m : 緑泥石により淡緑灰色を呈する。	10																								
																																10	(30)	100	CH'
—144					灰褐					143.48～144.50m : 径3～5mmの橙色のカリ長石の斑晶が上下位よりも多く晶出する。	10																								
																																10	(30)	100	CH'
—144					灰褐					143.80～144.00m : 割れ目間隔20～70mmで45° のゆ着割れ目沿いに分離し開口割れ目化する。	10																								
																																10	(30)	100	CH'
—144					灰褐					144.08～145.44m : 40～60° のゆ着割れ目が密集する。多くが開口化しやすい。	10																								
																																10	(30)	100	CH'

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 速度 (cm/時)	掘進 速度 (mm/時)	孔径 (mm)	孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
															(N) 値	(N 値 ~ 深度) 図	0	10	20													30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
											155.25m : 70~80° の割れ目で交差する一部のゆ着割れ目が止まっている。70~80° の割れ目に細粒部は認められない。周辺の岩壁に原岩組織が見られ、系統的な割れ目も存在しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

[illegible]

標	標	深	柱	岩	色	硬	割	風	変	記	コア採取率	岩	孔	標準貫入		試験	原	室	掘	掘	孔	給	回	送	送	排					
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	目	状	事	最大コア長	級	内	N値～深度		図	位置試験	内	進	進	径	圧	転	水	水	水					
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	形状	目	状		cm	区	水	(N) 値			試	試	月	時	(mm)	(kN・MPa)	(rpm)	(MPa)	(L/分)	(L/分)					
166										165.32m：70° の割れ目は165.32mで 径8mmの橙色のかり長石を横断する。 また、 交差する割れ目の一部も止めて いる。割れ目に細粒部は認められ ず、 割れ目周辺の岩壁には原岩組織 が見られる。系統的な割れ目も存在 しない。	46																				
										165.80～166.10m：径10～20mmの石英 が多く晶出する。一部は他形の結晶 型を示すため熱水変質で緑泥石と共に 晶出した2次石英である。	100																				
										166.44～166.47m：径10mmの斑状～長 さ20～30mm・幅5mmのレンズ状で石英 が晶出する。	83																				
167										166.65～167.21m：CH 一部で高角度割れ目がやや多いが、 岩片は堅硬で、粘土や砂などの挟在 物は分布しない。	100																				
										167.00m以深は緑泥石化が進み、暗緑 灰色を呈する。	100																				
										167.21～168.22m：CM 白色筋状のゆ着割れ目が交差し岩片 状に砕けているが、岩片は堅硬で、 挟在物は分布しない。	23																				
											34																				
168										168.22～169.66m：CH 堅硬、塊状で、コア長20cm以上の長 柱状コアも含むが、10～20cmの柱状 コアが主体。白色筋状のゆ着割れ目 も含むが、密着度は高く、ハンマー の強打でも分離しない。全体に緑泥 石化し、径2～3mmの暗緑灰色の斑点 状に晶出して点在する。割れ目やゆ 着割れ目沿いに分布するものは少な い。緑泥石化が強い部分は暗緑灰色 を呈する。割れ目に粘土、砂などの 挟在物は分布しないが、一部で緑泥 石化や黄鉄鉱の晶出が認められる。	25																				
											100																				
											69																				
169										169.19～169.41m：緑泥石化が進み、 暗緑灰色化する。軟質化は伴わず堅 硬である。	18																				
											43																				
										169.66～172.69m：CH 堅硬、塊状で割れ目が少ない。一部 に白色筋状のゆ着割れ目が分布する が、密着度が高く、分離しない。 169.67～170.22m：径2～3mmの暗緑灰 色の緑泥石が斑点状に多く晶出する。	100																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
														(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
					灰褐					170.20～170.65m : 60～70° のゆ着割れ目が数本分布するが、密着度が高く、ハンマーの強打でも分離しない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		</

標尺	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	岩色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m) ／測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径(mm) ／孔壁保護	コアチューブノビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)						
															(N 値～深度) 図																					
																0	10	20	30	40	50															
—176											175.15～175.22m：70° 程度の割れ目が交差し片状化するが、岩片は硬質で割れ目面に挟在物は分布しない。																									
											175.45～175.71mは片状化するが、コアチューブ引上げ時の擾乱による可能性が高い。岩片は堅硬で挟在物は分布しない。面の一部は赤褐色化し、断片的に鏝肌も認められる。赤褐色部は褐鉄鉱である可能性がある。割れ目に細粒部は認められず、割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められる。	28																								
											175.55～176.50m：CH 堅硬。上下位に比べ割れ目がやや多いが、コア長10～20cm（Ⅲ）が主体。ゆき割れ目も含むが、大半は密着度が高く、ハンマーの打撃で分離しない。																									
—177											176.50～176.78m：CM 割れ目が交差し短柱状～一部岩片状を呈する。																									
											176.59～176.62m：30° の割れ目沿いに風化（γ）し、軟質化（D）する。砂状～粘土状部は挟まない。	14																								
											176.78～178.15m：CH 堅硬。塊状でコア長20cm以上の棒状コアが主体。一部に含まれるゆき割れ目も密着度が高く、ハンマーの強打でも分離しない。上位に比べ緑泥石化が進み、径2～5mmの暗緑灰色の斑点状～幅0.5mmの細脈状で分布する。細脈状のものは大半が周囲とよく密着し、開口化しない。																									
											177.65m：35° で幅2～3mmの石英脈が分布する。周囲と同化する。	45																								
—178											177.83～178.27m：径5～10mmの大型な橙色のかり長石が晶出し、点在する。	79																								
											178.31～178.39m：上端75°、下端70° の割れ目に囲まれ幅25mmで径5～10mmに細片化する。幅25mmでごく薄く砂状化する部分がある。上端面に緑泥石がフィルム状に付着する。	33																								
—179											178.45m以深はゆき割れ目が多いが、密着度が高く、ハンマーの強打でも分離しない。	71																								
											179.15～180.00m：CM																									
											179.37～179.68m間の一部は15～57° の割れ目が交差し片状化するが、岩片は堅硬で、面は未風化・未変質で挟在物も分布しない。一部でわずかに緑泥石がフィルム状に付着する。ゆき割れ目の多くは開口割れ目化する。	15																								
—120.22	180.00																																			

余白

H27-B-4

ボーリング柱状図

ボーリングNo. 1

事業・工事名

ボーリング名	H27-B-4	調査位置	X:277.520, Y:897.180	北緯	35° 45' 12.76"
発注機関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2015 年 5 月 23 日 ~ 2015 年 7 月 9 日	東経	136° 1' 4.38"
調査業者名		主任技師		現代場人	コ定ア
調査業者名		主任技師		現代場人	コ定ア
孔口標高	6.95 m	角	150° 上 90° 下 45°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 135°
総掘削長	140.00 m	度	0°	地盤勾配	水平 0°
				使用機種	試錐機
				エンジン	ハンマー落下用具
					ポンプ

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色	硬	割れ	風変	記	コア	採取率	岩級	孔内水位	(標準貫入)試験	原位置試験	室内試験	掘進	孔径	回転	送水	送水	排水	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	日	状	事	形	(%)	区	(m)	(N値~深度)図	(孔内水平断面)	試	日	(mm)	(rpm)	(MPa)	(L/分)	(L/分)	
					黒				0.00~13.75m: 盛土 0.00~0.22m: 礫 径5~50mmの角礫からなる。岩種は砂質頁岩。 0.22~3.10m: 礫混じり砂 径2~20mm程度の花崗岩、アブライト、頁岩などの礫(角礫~面円礫)を含む。最大径40mm。基質は褐色味を帯びた粗砂が主体。0.22~1.00m間は比較的細かに富む(概率5~10%)。全体に細く、コアは指圧で容易に砕む。														
1																							
2					盛土																		
					明黄褐																		
3									3.10~6.30m: 砂質礫 礫分が多くなる。礫種は花崗岩類の礫。黒色の砂質頁岩やコンクリート片が混じる。径10~100mmの角礫~面角礫が多い。基質は細砂及び粗砂からなる。 3.30~3.58m: コンクリート片														
4									3.70~4.00m: 基質は消失済み。全体にルーズ。														

[illegible]

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定 月 日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原 位 置 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー ラ ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)
									10.15m : 幾分炭化した長さ100mmの木片を含む。														
									11.03~11.52m : 含有礫は上下位に比べて小さくなる。														
									12.05~12.20m : 花崗斑岩の大礫を含む。														
									12.24m : 木片混じる。														
									12.51~12.63m : 幾分炭化した木片混じる。														
									13.65~13.75m : 木片混じる。13.75m付近に合板を含む。														
		-2.77	13.75						13.75~140.00m : 花崗斑岩堆積物との境界は45°で明瞭。所々、斑晶が少なくアブライト様を呈する部分を含む。														
						Dg			13.75~14.67m : 風化が著しく、割れ目の多くは不鮮明となる。														
						vi	dg	ε	14.24m付近。65°の割れ目に沿ったマンガンの汚染が顕著である。														
						Eg			14.53m付近。頁岩礫を3個含む。上部からの崩壊物である。														
						Dg	vg	cg	δ														
									14.67~15.49m : 風化は若干弱くなり、割れ目のほとんどが認識できるようになるが、コアは、軟質で脆い。割れ目に沿った薄い白色変質脈が見られるものがある。														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記事	コア採取率	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入)試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)					
											最大コア長 cm R Q D L [%]			(N値)	(N値～深度)図																			
16				花崗斑岩	にぶい橙	Dg	Vg	cg	2	15.06m、15.09mにはそれぞれ43°、55°の割れ目沿いに幅1～3mmのマンガンを含む。 15.30m以深は20°程度の低角度の割れ目が優勢、風化により割れ目沿いは劣化する。砂～シルト状の灰白色の細粒物が見られる。コアも軟質である。 15.49～15.62m：礫状コアを呈する。 15.62～15.91m：30°程度の割れ目沿いの劣化が著しく脆弱である。	4 [4]	OL'			0	10	20	30	40	50														
					明黄橙																													
					オリブ黄	Eg	Vg	dg	3	●15.91～16.36m：破砕部 15.91～16.33m：粘土混じり礫状～粘土質礫状部 (Hj) 上端72°でやや湾曲して連続、下端不明瞭。径2～20mmの岩片主体で上部は割れ目が認められ、マンガン汚染を伴う。上端には幅2～6mmの緑灰色粘土が不連続に分布する。オリブ黄色を呈する。 16.33～16.36m：粘土状～礫混じり粘土状部 (Hc-1) 上端不明瞭、下端76°で波打って連続。径2～5mmの石英粒や岩片を10%以下で含む。灰白色を呈する。幅25mm。 16.36～16.52m：上位の破砕部と風化の影響で劣化が著しい。 16.52～17.03m：40～60°の割れ目沿いの劣化が顕著で一部礫～砂状となる。 17.03～17.86m：20°程度の低角度の割れ目が優勢で、割れ目沿いの劣化が見られ、コアも軟質で表面はザラつく。	3 [3]	D'																						
										δ		14 [14]																						
17					黄橙	Dg																												
							Vg																											
18					浅黄橙			cg	2	17.86～18.52m：コア表面のザラつきは幾分少ない。20°程度の低角度の微細な割れ目が非常に多い。	15 [15]	OL'																						
						Cg				18.52～24.55m：30～60°の中角度の割れ目が主体で、割れ目に沿った褐色化が認められる。風化し軟質となった比較的大型の斜長石の斑晶が目立つ。																								
19					淡橙		IVg		γ		9 [9]																							
						Dg	Vg			19.57～19.76m：礫状コアが主体となる。																								
						Cg	IVg																											
						Dg	Vg		ε																									

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) 測定月日	(N) 値	(標準貫入 N 値～深度) 試験 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)		
				花崗斑岩	淡橙	Dg	δ		20.02m付近、傾斜50°で幅10～20mmの極めて小規模な変質部。途中でせん滅する。 20.07m：傾斜30°で幅10～40mmの小規模な変質部。 周辺岩盤にも同様な細粒部が認められており、その分布は不規則で系統性が認められない。また、原岩組織の残留の程度は周囲の岩盤と同様である。 20.23～20.37m：割れ目沿いに一部細粒状となる。 20.55～20.65m、20.87～20.94m：礫状となる。		CL'																
21		Vg				cg			21.18～21.50m：微細な割れ目に沿ってマンガンの汚染が明瞭である。																		
22		IVg				bg			21.50～22.47m：割れ目に沿ってマンガンから褐色汚染へと変わる。																		
23		Vg				cg			23.38～24.55m：コアは軟質となり、表面はザラつく。																		
24		Dg				δ			24.13～24.55m：落下したコアを再採取したものである。																		
	10.41	24.55		コア欠如					24.55～25.48m：コア欠如																		

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
		-11.07 25.48		コア欠如																					
26				淡 橙 花崗斑岩					25.48～27.22m：全体に変質し、長石の白濁化が目立つ。	18 [18]	CL'														
									25.96～26.19m：コアは軟質で表面のザラつきが大きい。																
									26.40～26.47m：割れ目沿いの劣化が明瞭で、コアも周辺より軟質である。	14 [28]															
27									26.96～27.22m：岩質が軟質で脆弱である。																
									27.22m：40° の割れ目は、変質も加わり上端側は明黄褐色を呈し、幅20mmで軟質である。割れ目の面は凹凸があり、面のかみ合わせは良い。軟質部は連続せず、周辺岩盤との境界は一部を除いて漸移的である。軟質部の下端側の岩盤には原岩組織が認められ、軟質部と系統的な割れ目も存在しない。	9 [9]															
28									27.95～28.00m：割れ目が局所的に集中し脆弱となる。割れ目沿いの細粒部の分布は局所的で連続せず、脆弱部の範囲には原岩組織が認められる。28.10m：傾斜60° で幅5～12mmのアブライト細脈を挟む。境界面はゆ着している。																
									28.24m：25° 程度で幅10mmが砂～礫状となる。上下端はシャープである。	15 [15]															
29									29.48～29.91m：微細な割れ目が集中し、かつ、コアは軟質となる。29.59m～29.91mの微細な割れ目はマンガンに汚染される。																
									29.60～29.70m：割れ目が卓越する。割れ目は全体にマンガン汚染により黒色化し、割れ目には細粒部が認められず、割れ目が卓越する区間中に分布する幅2mmの石英脈にずれが認められない。また、割れ目が卓越する区間及び周辺の岩盤には原岩組織が認められる。	1 [1]															
									29.65m：傾斜45° で幅1～3mmの石英脈を挟む。																
									●29.74～29.78m：破碎部粘土混じり礫状部（Hj） 粘土混じり礫状部の白色粘土を一部に伴い、下端67° でマンガン汚染が顕著に見られ、いずれも直線的に連続。径2～20mmの岩片主体で岩片間にマンガン汚染が見られる。上端側は幅10mmで一部変質を伴う。にぶい橙色を呈する。幅23mm。																

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位(m)／測定月日	(N 値) 値	(標準貫入 N 値～深度) 図	試験	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進 速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)					
— 31				花崗斑岩	にぶい橙	Dr	Vg				30, 10～30, 69m：25° 前後の割れ目が見られる。	0 50 100																				
			IVg					30, 62～30, 73m：やや不規則な形状の高角度の割れ目が2条分布し、マンガンが幅3～5mmで挟在する。			15 25 100																					
— 32			Vg					31, 77～31, 93m：25° 前後の微細な割れ目、ほぼ平行に密集する。 31, 87～31, 91m：上端45° で幅3mmの暗緑灰色の粘土～シルトを伴う。下端40°。上下端の間はやや緑色味を帯び軟質である。含まれる細粒部は不連続で、軟質な区間及び周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 32, 05～32, 72m：割れ目沿いの酸化汚染が目立つ 32, 36～32, 39m：20° ～30° 程度の割れ目が平行して密集する。上下端の割れ目はマンガン汚染により黒色化しているが、割れ目に細粒部は認められず、割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 32, 68～32, 73m：30° 程度の割れ目がほぼ平行して密集する。緑泥石の薄い脈が3条分布する。			12 12 100																					
			IVg								1 12 100																					
			Cg																													
			Vg																													
— 33				灰白		IVg	Vg				33, 00～33, 62m：30～50° の割れ目が卓越し、割れ目に沿って明瞭な劣化が見られるものが多い。 33, 00m, 33, 46mの割れ目には幅2～5mm程度で緑色化が見られる。 33, 30m：割れ目には幅1～3mmの灰白色粘土化が見られる。	1 12 100																				
			IVg								1 12 100																					
— 34				にぶい橙		Vg	Dg				34, 11～34, 22m：不規則な微細な割れ目が多い。 34, 22m：傾斜65° で幅8mmの石英脈を挟む。 34, 30～34, 42m：コアチューブ引き上げ時の擾乱により機械割れ目が集中し、隙～岩片状コアとなる。 34, 55m付近、傾斜38° で局所的で連続しない細礫部を伴う。細礫状部は途中でせん滅し、周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 34, 78m, 34, 79m：傾斜50° で幅1mm以下の石英脈を挟む。後者の割れ目には幅1mm以下の灰白色粘土を伴う。	1 12 100																				
			Vg																													
			Cg																													
				IVg																												

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔内水平 載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ ／ ピ ット	給 回 転 数 (rpm) (kN・MPa)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
															(N 値)	(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
36				花崗斑岩 に ぶ い 橙			IVg	cg	γ 2		35.32m：傾斜40° で幅2～3mmの石英脈を挟む。周辺は幅1cm程度で赤味を帯びる。 35.60～35.78m：35° 程度のほぼ平行した割れ目が密集し脆弱となる。割れ目沿いに白～灰黄色の粘土脈が見られる所が多い。 35.72m付近は礫状であるが、挟在する細粒部は局所的に分布し、連続性に乏しく、35.70～35.72m間及び周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 35.78～39.40m：割れ目沿いの酸化及びマンガン汚染が目立つ。 36.14～36.35m：割れ目がやや卓越する。 36.25～37.20m：傾斜70° 以上の高角度割れ目が見られる。	0 50 100	OL'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟 形状	割れ目の 状態	風化 質	変質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級 区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値～深度) 図					原位 位置試験 (孔内水平載重)	室内 試験	掘進 月日	掘進 速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				花崗斑岩	浅黄	VE		γ 2		40.64～40.93m：不規則な割れ目が卓越し、割れ目沿いの変質による劣化が明瞭である。灰白～黄褐色の砂～細礫状となる所が多い。 40.93～41.00m：割れ目に沿って劣化し、細礫状となる。 41.00～41.20m：低角度と高角度の割れ目が交差し、亀甲状となる。割れ目沿いに劣化が見られるものが多い。 41.37～41.47m：ほぼ平行な40°前後の割れ目が密集し、割れ目沿いの劣化が明瞭で脆弱である。 41.80～41.91m：割れ目沿いの劣化が顕著で非常に脆弱である。変質し灰白色粘土が網目状に分布する。 42.12m：傾斜40°で幅2mmの黄褐色粘土を挟む。 42.12～42.25m：割れ目沿いの劣化が顕著で、一部硬質な砂状となる。粘土や鏡眼は見られない。 42.35m：25°の割れ目に幅2～3mmのマンガンを挟む。 42.38～42.46m：局所的に硬質な砂に岩片が混じる。褐色汚染も明瞭である。 43.05m：傾斜32°で幅10mmが劣化する。上端は幅1～2mmの石英脈。下端は幅2mmの灰白色粘土を伴う。灰白色粘土は分岐し、直線性に乏しい。 43.06～43.15m：コアチューブ引き上げ時の擾乱により岩片状を呈する。当該区間及び周辺岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 43.54～43.65m：変質及び風化で脆弱となる。43.63mには幅15mm程度の白色の変質脈を伴い、粘土化はしていないが軟質である。 43.80～44.21m：20～30°の割れ目が卓越し、コアも軟質で表面はザラつく。 44.46m：42°の割れ目に沿って褐色汚染が顕著である。周辺には絹雲母と黄鉄鉱が散在し、幅5mm程度で緑色化する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

[illegible]

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／ 孔壁保護	コアチューブ ／ ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
51						IV E			50.09m : 15~70° の湾曲した開口割れ目に幅5mmのマンガンを挟む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
									Eg																						VI E	IV E	CG	V E	IV E	Dg	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E	CG	Dg	V E

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
													(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コ	岩	孔	(標準貫入) 試験		原	室	掘	掘	孔	給	回	送	送	排
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	れ	目	状	事	ア	級	内	(N 値 ~ 深度) 図		位	内	進	進	径	圧	転	水	水	水
(m)	(m)	(m)	図	分	調	状	形	目	状	化		採	区	水	N 値		置	試	月	時	(mm)	(kN・	数	圧	量	量
												取	分	位			験	験	日		／	rpm	(MPa)	(MPa)	(L／分)	(L／分)
												率		測			験	験			孔	(				
												(%)		定			(孔内水平載荷)				壁	(				
												最大		日							保	MPa)	(			
												コ									護	cm)	(			
												ア										MPa)	(			
												長										MPa)	(			
												cm										MPa)	(			
												R										MPa)	(			
												Q										MPa)	(			
												D										MPa)	(			
												[%]										MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			
																						MPa)	(			

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア割れ目の形状	風化質	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)					
														(N 値)	(N 値～深度) 図																
						Bg					0 50 100				0 10 20 30 40 50																
						Cg	Vg	cg		2																					
						Eg	Vfg	dg		4																					
						Dg				3																					
66										●65.59～65.72m：破砕部 粘土混じり砂～礫状部 (Hj) 上端65°で直線的に連続、下端30°で不明瞭。径2～30mmの岩片主体で、一部砂状化する。灰色を呈する。幅10mm。65.65mには傾斜65°で幅2～3mの灰白色粘土を部分的に挟む。 65.72～65.85m：網目状に微細な割れ目が発達し、所々、灰白色粘土を伴う。 65.85～66.30m：傾斜20～80°までの様々な角度の割れ目が分布し、やや脆弱であるが、褐色汚染は見られない。 66.30～67.28m：割れ目沿いに褐色汚染が見られる。特に66.80～66.95mの60～70°の高角度の割れ目沿いは顕著である。	3 (0)	100																			
						Cg	Vg	cg		2																					
67										66.97～67.28m：割れ目が交差し、細かい亀甲状となる。	3 (0)	100																			
						Dg				3																					
						Eg	Vfg	dg	γ	4																					
						Dg				3																					
68										67.28～67.75m：変質部で、軟質でやや赤味を帯びた灰白色を呈する。割れ目は不明瞭となる。粘土化が進む。健岩部との境界は明瞭であるが湾曲している。上端側は低角度の割れ目で壊される。原岩組織は不明瞭で含まれる岩片に定向配列などは見られない。 67.85～68.70m：傾斜30～50°程度の割れ目が主体で、特に、68.23～68.64m間は0.5～3cm間隔で発達する。割れ目には所々、灰白色粘土やマンガンを伴う。 68.07～68.97m：コアは軟質で表面がザラつく。	3 (0)	100	GL																		
						Cg																									
							Vg	cg																							
						Dg					2 (0)	100																			
										68.70m：30°で幅8mmの黄褐色粘土を挟む。割れ目の周辺は幅5～10mm程度で緑色化が顕著である。 68.70～68.97m：傾斜70～90°の割れ目が多い。 68.97～69.08m：細粒～砂状を呈するが、粘土は挟まない。 69.28～69.33m：割れ目沿いに劣化し、細粒状となる。																					
69						Eg	IVfg	dg		2																					
						Cg	Vg	cg			3 (0)	100																			
						Dg																									

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コ	岩	孔	(標準貫入) 試験					室	掘	掘	孔	コ	給	回	送	送	排																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	れ	目	状	事	ア	級	内	(N 値 ~ 深度) 図					内	進	進	径	コ	回	送	送	水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
(m)	(m)	(m)	図	分	調	状	形	目	状	化		0	分	(m)	N 値					試	月	時	(mm)	ア	転	水	水	量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
				花崗斑岩	淡橙	γ	2				70.06m付近、傾斜60° で幅20~30mmが局部的に脆弱となる。割れ目沿いの細粒部は連続性に乏しく、細粒部の下端側にある脆弱部も不連続で、脆弱部及び周辺岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 70.06m：傾斜55° で幅3~10mmの灰白色粘土を挟む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)	
				花崗斑岩	Bg	bg				75.05～75.29m：20～40° の低角度の割れ目がほぼ平行して卓越する。																
76					Cg	Vg																				
	46.97	76.25			Dg						75.97～76.25m：割れ目沿いに劣化が見られ、やや脆弱となる。															
				アブライト	IVg	cg				76.17m：傾斜51° で幅1～3mmの明褐色粘土を挟む。上端側は一部灰白色粘土が網目状に分布し、変質が進む。76.25～77.80m：アブライト径1～2mmの石英、長石、黒雲母を2～3%含む。上下端の境界はゆる着して不明瞭。 76.61m：傾斜54° で幅1～3mmの明褐色粘土を挟む。																
77					Cg						76.80m：傾斜45° で幅1～6mmの砂混じり灰白色粘土を挟む。 76.90m：傾斜50° で幅1～3mmのマンガンを挟む。	CL'														
					Vg						77.19m：傾斜50° で幅5mm程度の黄褐色粘土を挟む。															
				淡 緑	Dg				γ 2	77.48～77.67m：20° 程度の低角度割れ目沿いに劣化が見られ、コアは軟質でゼラつく。77.55～77.60m間はマンガンが濃集する。																
78	48.06	77.80			IVg	bg																				
					Vg						77.96～78.08m：割れ目沿いに劣化し、黄褐色の砂状の挟在物を伴う。															
				花崗斑岩	IVg	cg				78.21～78.51m：多方向の割れ目が見られ、やや脆弱である。 78.29m：傾斜24° で幅10mm程度が砂～細片状を呈する。																
					Vg		bg				78.47～78.71m：割れ目沿いにマンガン汚染が目立つ。															
79					Bg	IVg																				
					Cg	Vg																				
					Bg	IVg	cg																			
					Vg						79.45～79.57m：短い筋状のマンガン汚染が多数見られる。高角度のものが多く、この筋上に割れ目として認識できるものは少ない。	CM'														
					IVg	bg																				
					Bg																					

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験					原 位 置 試 験 (孔内水平載重)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保護	コア チ ュー ン ／ビ ット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	形	目	状					態	化	質	(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(m)	(m)	(m)	図	分														(m)	(N)												値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
														(m)	(m)	(m)	(m)	(m)												(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験 (N値～深度)図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)					
													(N)	値																
106									105.08～105.80m：柱状コアが主体で岩質も堅硬である。		CH'																			
107								2	106.31～106.38m：局所的に傾斜10～45°の割れ目が密集し、割れ目沿いの劣化もわずかに見られる。 106.58～106.92m：斑状の褐色汚染が見られる。 106.87m：30°で幅3mmの汚染されて褐色となった砂～シルトを挟む。		CH'																			
108								γ	107.47～108.34m：堅硬な柱状コアが主体で、割れ目やコア表面にマンガンと褐色汚染が見られるが、挟在物はほとんど見られない。		CH'																			
109								4	●108.44～108.71m：破砕部 108.44～108.63m：粘土混じり礫状部（Hj） 上端52°で直線的に、下端45°で不明瞭に連続。径2～10mmの粘土化した岩片主体で、全体に軟質で灰白色を呈し、弱い織状構造が見られる。 108.63～108.67m：粘土質礫状部（Hb） 上端45°で不明瞭に、下端57°で漸移的に連続。径10mm以下の粘土化した岩片主体で、軟質。上位より変質し灰白色を呈する。幅30mm。 108.67～108.71m：礫質粘土状部（Hb） 上端57°で漸移的に、下端62°で波打って連続。褐色汚染が明瞭で、褐色の軟質な基質に径10mm以下の岩片を含む。織状構造が見られる。幅35mm。 108.71～109.79m：傾斜40～60°の割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化も見られ、やや脆弱である。 108.71～108.90m：直交する2方向の割れ目が明瞭で、格子状となる。 108.90～109.03m：砂礫状を呈し、一部高角度割れ目に流入する。 109.41m：傾斜48°で幅0.5mmの灰白色粘土とマンガンを挟む。下端側幅1.5cm程度は珪化し、にぶい橙色に変色して原岩組織も不明瞭となる。 109.76～109.79m：傾斜50°の割れ目の間が幅3cm程度で変質し、灰白色を呈する。下端側の健岩部との境界は明瞭である。 109.79～110.78m：微細な割れ目が密集する所もあるが、コアは硬く、割れ目の多くは密着する。 109.79～110.38m：傾斜80°程度の割れ目が複数分布する。		CL'																			

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューン／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
														(N 値 ~ 深度) 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
111				花崗斑岩	に少し黄橙	Ⅴ _g Bg Ⅳ _g Cg Ⅴ _g Bg Ⅳ _g Cg Ⅴ _g Ⅳ _g Bg Ⅲ _g Ⅳ _g Dg Ⅴ _g cg Bg Ⅳ _g bg Ⅲ _g Cg Ⅴ _g cg Bg Ⅳ _g bg	Ⅴ _g Bg Ⅳ _g Cg Ⅴ _g Bg Ⅳ _g Cg Ⅴ _g Ⅳ _g Bg Ⅲ _g Ⅳ _g Dg Ⅴ _g cg Bg Ⅳ _g bg Ⅲ _g Cg Ⅴ _g cg Bg Ⅳ _g bg	111.22～111.59m：傾斜80～90° 程度の割れ目が多数分布する。 111.57m付近、局所的に割れ目面が鮮やかな青緑色に変色する。	γ 2	CL' 10 [10] 100 CM' 16 [16] 100 CH' 11 [21] 100 CM' 11 [11] 100 CM' 15 [26] 100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ピット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
													(N 値)	(N 値 ~ 深度)	(図)	(図)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
116						IV _g	bg		115.40～115.54m : 115.46m付近の2条の潜在割れ目を中心に褐色汚染が明瞭である。黄鉄鉱を中心に褐色化が顕著に見られる。	22 [57]	CM'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
																															III _g	cg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g	Bg	bg	III _g	II _g

[illegible]

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級	岩区分	孔内水位 (m) 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平截意)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給圧 (kN ・ MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)	
							Cg	bg			130.02 ~ 130.42m : 80° の高角度の割れ目が見られ、割れ目沿いに劣化し、一部礫状となる。					0	0	10	20	30	40	50											
								cg								9																	
131							IVg				130.84m付近、交差する割れ目に挟まれた区間が局所的に劣化し、礫状となる。					100																	
							IIg																										
							IIIg				131.54 ~ 131.61m : コアの半分が劣化し礫状となる。					30																	
							bg									100																	
132							IVg																										
							IIg				132.14 ~ 132.67m : 堅硬な柱状コアからなる。																						
							IIIg				132.31m : 傾斜25° で幅1 ~ 2mmの石英脈を挟む。					26																	
							Bg				132.67m : 傾斜82° の割れ目が分布する。					100																	
133							IVg	cg			132.87m : 45° で幅3mmのマンガンを挟む。					26																	
							IIIg				133.24 ~ 133.29m : 傾斜40 ~ 50° の割れ目間が礫状となり、礫には褐色の細粒物が付着する。					26																	
																100																	
134							bg				133.90m : 傾斜72° の割れ目沿いに褐色化が顕著に見られる。 134.02 ~ 134.50m : 強い褐色汚染がコア全体に及ぶ。					26																	
							IVg																										
							IIIg				134.50 ~ 134.74m : コアはやや青味を帯びる。風化の影響は少ない。					14																	
											134.78m付近、黄鉄鉱が見られ、その周辺には褐色汚染が狭い範囲に見られる。					100																	

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)																																				
															(N) 値	0	10	20	30												40	50																																		
—136				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	Ⅱg	bg	γ 2	135.28～135.60m：傾斜25° 前後の2～3条の割れ目が2～10cm程度の間隔で平行に分布する。岩質は硬い。	0	50	100	CH'																																																				
			Ⅳg																														cg																																	
			Ⅲg																														bg																																	
			Ⅳg																																																															
							Cg	Bg			Ⅴg	cg	Ⅳg	136.00～136.22m：傾斜90° の割れ目が複数見られ、低角度の割れ目と交差し、割れ目がやや発達する。割れ目にはマンガンに汚染された挟在物が見られるものがある。 136.04m：38° の割れ目に沿って幅1cm程度が緑色を帯びた緑泥石化による変質部が見られ、その中に小さな絹雲母が散在する。幅1mm以下の灰白色粘土を挟む。 136.10m：傾斜60° で幅2mmのマンガンを挟む。周辺は幅1cm程度で珪化し脱色する。 136.21～136.22m：傾斜25° 程度の2条に分岐した割れ目に幅1～3mmのマンガンを挟む。 136.61m：幅5～15mmで局所的に傾斜30～40° の割れ目が密集し、マンガンの汚染が見られる。 137.02～138.59m：堅硬な柱状コアからなる。	9	[4]	100	CM'																																																
							Ⅲg																																	bg																										
							Ⅳg																																																											
—137												Ⅱg	bg			138.01～138.16m：微細でほぼ平行した50° 程度の割れ目が非常に多い。 幅2～3mmの灰黄色粘土を挟む。 138.28～138.29m：幅10mmで平行した60° 程度の割れ目が密集する。	24	[54]	100	CH'																																														
							Ⅲg																																																											
							Ⅳg																																																											
							Cg	cg			Ⅴg	cg	Ⅳg		139.50～139.90m：傾斜70° 程度の微細な割れ目が多い。																								9	[0]	100	CM'																								
					bg	Ⅲg	Bg	Ⅳg	cg	Ⅴg	cg	CL'																																																						
—138																																																																		
—139																																																																		
																			</																																															

余白

H24—D1—5

[illegible]

事業・工事名

ボーリング名	H24-D1-5	調査位置	X:269.000, Y:904.800	北緯	35° 45' 12.79"						
発注機関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2013 年 5 月 23 日 ~ 2013 年 6 月 11 日	東経	136° 1' 3.93"						
調査業者名		主任技師		現代場人	ボーリング責任者						
孔口標高	7.03 m	角上	180° 90°	方	北 0° 90° 東 180° 西	地盤勾配	鉛直	水平 0°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘削長	54.00 m	度下	180° 90°	向	北 0° 90° 東 180° 西	地盤勾配	鉛直	水平 0°	使用機種	エンジン	ポンプ

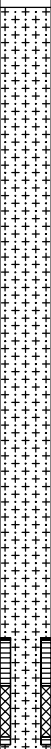
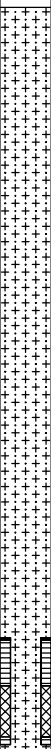
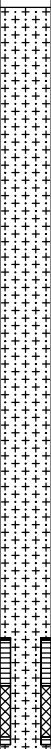
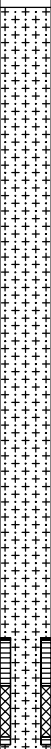
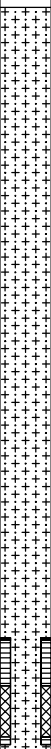
[illegible]

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟 形状	割れ目の 状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	給圧 (kN・MPa) ／ビット	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
													(N) 値	0	10	20	30											40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
16				花崗斑岩	明褐灰	褐灰	Bg	Ⅱε	γ	16.18～16.72m：上位より若干風化が進み、割れ目沿いの一部やコア表面の一部が砂状化する。傾斜50～60°の割れ目が主体である。粘土脈は挟まない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平応力)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ノ孔壁保護	コアチューンノビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							Ⅳg bg		25.30～25.32m：傾斜45°で幅10mm程度が砂状～径5mmに細片化する。	0 10 13 100	CM'																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図		原位試験 (孔内水平応力)	室内試験	掘進 月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)							
														(N) 値																			
31							Bg	IV	bg	30, 20～30, 35m：傾斜30～40° の割れ目が5～20mm間隔で平行に分布し、風化で砂状化を伴い、軟質化する。粘土化や粘土脈は分布しない。	CM'			0	50	100																	
								γ	V																						cg		
									IV																						bg		
									Bg																							III	
							Dg	V	cg	30, 57～30, 77m：傾斜20～40° の割れ目が分布するが、割れ目は少ない。割れ目に挟在物は分布しない。																							
								δ	IV																				cg				
																														Dg	V		
																															Cg	V	
							Cg			30, 77～31, 57m：風化でやや軟質化する。傾斜30～50° の割れ目と一部でこれらに斜交～直交する30～50° の割れ目も分布する。また、同傾斜の低密着割れ目も31, 40～31, 57mに多く分布する。割れ目沿いに薄く砂状化することが多いが、粘土化部や粘土脈の分布は少ない。																							
																												2	Bg				
																															Cg		
																																	Cg
32							Bg			31, 06m：傾斜50° で幅1～2mmの風化して軟質な黄褐色粘土脈を挟む。																							
																														Cg			
33								IV	cg	31, 42m・35°、31, 52m・45° の各割れ目の下端側は幅12mm、幅30mmで砂状化する。																							
								γ	Bg																								
							Bg			31, 44m：傾斜40° の割れ目の下端側幅10～20mmがマンガン鉱染で黒褐色化する。																							
34										31, 57～32, 68m：傾斜30～50° の割れ目を主体とする。																							
										32, 14m：傾斜50° の割れ目沿いに幅2～4mmが砂状化～径2～3mmに細片化するが、粘土化部や粘土脈は分布しない。																							
										32, 68～32, 76m：上下端を傾斜45° の割れ目で囲まれ、風化で砂状化する。上端は一部で幅4mmの軟質な明黄褐色粘土を伴うが、粘土は連続しない。																							
																											γ	Bg					
										32, 76～33, 96m：割れ目が多く、一部で砂状化部を挟む。傾斜40～70° の割れ目が主体で、一部これに斜交～直交する10～40° の割れ目も分布する。また、同傾斜の低密着割れ目も33, 40～33, 60mに多く分布する。																							
										33, 80m：傾斜50° の割れ目は、交差する傾斜25° の割れ目を止めている。割れ目に挟在物は認められない。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。																							
										33, 86m：傾斜25° で幅0, 5mmの石英脈が母岩に密着して連続する。																							
										33, 96m：傾斜55° の割れ目の上端側は幅10～20mmで弱くマンガン鉱染を受け、下端側はやや軟質化する。																							
										33, 96～35, 08m：風化で、多くの割れ目沿いは砂状化し、幅1mm前後の軟質な白～明黄褐色の粘土脈を挟むことが多い。一部の割れ目は消滅しかかり、不明瞭であるが、大半は明瞭に残留する。傾斜20～40° の割れ目が主体で、これらに斜交する40～70° の割れ目も分布する。35, 05mに傾斜50° で幅4mmの軟質な明赤灰色の粘土脈を挟む。																							

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風割れ目の状態	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 月 日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) ／孔壁保護	コア チップ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)																																						
														(N 値 ~ 深度) 図																																																					
41				花崗斑岩	に び い 橙	Cg Vg Eg Dg	cg dg cg cg	γ	2	40.12m：傾斜57° の割れ目は、交差する傾斜40° の割れ目を止めている。割れ目に挟在物は認められない。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。 40.23m：傾斜54° で幅0.5~1mmの石英脈が母岩に密着して連続する。	0 50 100	CL'	()	0	10	20	30	40	50																																																
42																															明楊灰	Dg	Vg	cg	δ	3	40.73~40.85m：上端55°、下端60° の割れ目に囲まれて砂状化~マンガン汚染を伴う塊状化を呈する。割れ目方向に幅2~3mmの軟質な灰白~灰赤色の粘土脈を伴う。 40.85~41.08m：傾斜50~60° の割れ目が10~30mm間隔で平行に分布する。割れ目沿いに風化が進み、全体が軟質化する。一部でマンガン鉱染を伴う。 41.08~41.49m：傾斜10~30° の割れ目と一部で同傾斜の低密着割れ目が分布する。両者とも挟在物は挟まない。 41.49~42.23m：傾斜10~30° の割れ目や低密着割れ目が主体で、一部でこれらに斜交~直交する50~70° のものが分布する。交差部のうち、42.15m付近では径5~10mmに細片化する。	0 50 100	CL'	()	0	10	20	30	40	50																					
43				橙	Cg Vg Dg	cg cg cg	cg	γ	2	42.05m以深では幅1mm以下の軟質な白色粘土脈を挟む。 42.23~42.74m：幅1mm前後の石英脈が割れ目と平行して多数分布する。コア自身も一部粒化し硬質化する。傾斜50~60° の割れ目が平行に分布し、マンガン汚染が目立つ。 42.52m：傾斜55° の割れ目の一部が幅2~4mmで砂状、ないし、径2~3mmに細片化する。粘土は挟まないが、マンガン鉱染で一部黒褐色化する。 42.74~43.25m：風化で割れ目の一部は消滅ないし消滅しかかっている。残留する割れ目は傾斜50~80° が主体である。42.85mに傾斜40°、43.21mに傾斜30° で幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続する。 43.03m：傾斜64° で幅2~4mmの灰白色粘土を挟む。 43.03~43.15m：微細な割れ目にマンガンを伴う。 43.25~43.09m：風化と変質で著しく軟質化するが、部分的に硬さ「D」の岩片が残留する。原岩組織は残留するが、割れ目はほぼ消滅する。所々、幅1~3mmの軟質な灰白色粘土を脈状、ないし、網状に含む。 43.58~43.76m：マンガン汚染が顕著で、一部、径2~30mmに岩片化する。 43.80m：傾斜60° の割れ目は、上端側に分布する複数の粘土脈を止めている。割れ目には幅0.5mm以下の不連続な灰白色粘土を挟む。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められる。	0 50 100	CL'	()	0	10	20	30	40	50																																																
44																															に び い 橙	Eg Vg Dg	cg cg cg	cg	δ	3	44.30~44.94m：硬さ「D」の岩片を多く含む。	0 50 100	D'	()	0	10	20	30	40	50																					

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率		岩級	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入)試験		原位置試験 (孔内水平動態)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径 (mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L／分)	排水量 (L／分)						
												最大コア長	R Q D			(N値)	(N値～深度)図																	
(m)	(m)	(m)	図	区分							事	0	50	100		0	10	20	30	40	50													
46				明褐色	Eg	Vrg	dg		4		45.09～45.82m：風化で軟質化する。傾斜30～50°の割れ目が主体で、割れ目沿いに砂状化する。粘土脈は少ない。	0	50	100	D'																			
47				明褐色	Eg	Vrg	dg		2	δ	45.82～45.89m：上端58°，下端55°の直線的でシャープな割れ目に囲まれ、灰白～灰黄色粘土と径5～10mmの一部粘土化、一部硬さ「D」の花崗斑岩の岩片からなる粘土混じり岩片状の変質部。一部、マンガン汚染が顕著で幅2～15mmの岩片を25%程度含む	0	50	100	OL'																			
48				明褐色	Eg	Vrg	dg		3		47.20m：傾斜50°の割れ目は幅4～7mmで径2mmの石英粒と軟質な白色粘土を挟む。	0	50	100	D'																			
49				明褐色	Eg	Vrg	dg		4		47.47～47.89m：破砕部 47.47～47.48m：粘土状部 (Hc-1) 傾斜65°で直線的にシャープに連続。径1～2mmの石英粒を少量含む。軟質。灰褐色を呈する。幅3～6mm。 47.48～47.66m：粘土質礫状部 (Hb) 上端65°で直線的にシャープに連続。下端は不明瞭で漸移的である。径2～3mmの石英粒と径5～10mmの大半が粘土化した花崗斑岩の岩片を含む。軟質。灰黄色を呈する。石英粒と岩片の多くはマンガン鉱染で黒褐色化する。幅67mm (68°)。 47.66～47.86m：粘土混じり岩片状部 (Hj) 上端は不明瞭で漸移的に、下端63°で直線的にシャープに連続。径10～40mmの一部粘土化、一部硬さ「E」、ないし、「D」の岩片主体で、岩片間の基質は灰黄～灰白色に粘土化する。石英粒と岩片の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。全体は灰黄～灰白色を呈する。幅90mm (63°)。 47.86～47.89m：粘土質礫状部 (Hb) 上端63°，下端60°とともに直線的にシャープに連続。径2～10mmの石英粒を多く含む。軟質。灰白色を呈する。幅15mm (60°)。 47.89～48.30m：風化で割れ目の一部は消滅、ないし、消滅しかかっているが、傾斜50～60°の割れ目と低密着割れ目が残留し、一部で砂状化～白色、ないし、淡黄色のやや硬質な粘土脈を挟む。また、弱くマンガン鉱染を受け、黒褐色化する。 48.30～48.61m：傾斜40°前後の割れ目が主体で、一部でこれらに斜交～直交する20～30°も分布し、両者が交差する48.40～48.45mでは径5～10mmの岩片に細片化する。割れ目沿いの砂状化は殆どなく、粘土脈も分布しない。	0	50	100	CM'																			
				明褐色	Eg	Vrg	dg				49.38～52.75m：傾斜50～60°とこれらに斜交～直交する20～50°の割れ目が主体で、同傾斜の低密着割れ目も一部に分布する。	0	50	100																				

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	コア形状	風化質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm／時)	孔径(mm) ／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L／分)	排 水 量 (L／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
													(N) 値	0	10	20	30												40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									